

『ビバ☆就活体験記』

柏原康馬

『ビバ☆就活体験記』

二〇〇八年 九月二六日 金ゼミ幹事 谷本直毅 金(キム)ゼミ諸君ごきげんよう。先日のゼミ旅行は大変面白かった。特に三(み)木森(きもり)のはしゃぎっぷりは秀逸だったぞ。酒に酔っても服を脱がなくなった辺りはかなり成長したものだ。大学三年たる中堅学部生としての自覚が伺える。彼にはこのまま良い方向への成長を期待したい。裸の付き合いが大切なのだと机上で豪語し、まず下半身から恥じらいもなく脱ぎ捨てる男っぷりは称賛に値しない。空気が淀む。あと、若干臭いからよく洗え。ゼミ旅行を企画してくれた田中さんと山井さん、本当にありがとうございました。ラフティングがしたいという俺の意見を拾い上げてくれて感謝しています。二人は楽しかったでしょうか。俺たち阿呆な男組はめちゃくちゃ楽しかったです。キム先生は見事に水着を忘れてきたようですが、「下着で充分」ということで、純白のブリーフ一枚をウェットスーツの中に忍ばせて保津川下りを楽しんでおられました。この分だとキム先生は川に入らないのだろうと私は思っていたのです。もちろん、キム先生もそのつもりだったと思います。だから三木森は大悪党なのです。「先生、今のタイミングで川に落ちるとオイシイですよ」と悪魔の如くささやき続けた大悪魔は、終いには先生を川に突き落としてしまいましたね。先生の清らかな薄い髪が川のせせらぎと化していく光景を、俺は静かに見つめていました。あれ以来、とろろ昆布が滑らかに喉を通ってくれません。どうやら人生初めてのコンプレックスのようです。三木森よ、やっぱり成長のベクトルを微調整しておけ。社会に出た後のお前が心配になってきた。無礼講とは無礼を働けという意味ではないから、そこらへんのところをよく理解しとけ。お前が大切に持ち歩いているプロテインカタログにでも記しておくといい。損にはならないはずだ。さて、そろそろ本題に入ろうと思う。単刀直入に言おう。『就職活動体験記』なるものを、俺たち三年生メンバーで書きませんか？ 媒体はもちろんこの大学ノートです。金ゼミでの時間を謳歌している俺たちも、来年には四年生になります。先輩方の卒業があります。今年は大変らしいと巷で噂の就活があります。これと同時に、俺たちは可愛い後輩たちを迎えることになるのです。今の先輩方に可愛がられている俺たち同様、今度は俺たちが新入りメンバーをもみくちゃに可愛がってやる番なのです。だからこそ、今後の金ゼミに語り継がれるであろう、伝説的就活体験記を、みんなで書いていこうではありませんか。みんなで情報を共有することは、俺たち自身が就活を有利に進めることにもつながるはずです。賛成反対の多数決は取りません。これは俺一人でも続けていくつもりです。でも、みなさんも参加してくれることだと、俺は信じています。信じているのです。信じていいよな？ ノリの良いみなさんなら大丈夫です。それでは、みなさんのご参加を、心よりお待ちしております。 九月二七日 田中麻美(あさみ) この前のゼミ旅行、お疲れさまでした。みんな、楽しんでもらえたでしょうか。楽しんでくれたら、私としてもうれしいです。キム先生が教えてくださった日焼け止めクリームは、効果抜群ですね。何でも知っているキム先生は素敵です。本当にありがとうございました。前のページで谷本君が言っていた『就職活動体験記』なのですが、私も参加したいと思います。なんだか楽しそうですし、確かに自分たちのためにもなると思います。インターネットの掲示板にある書き込みを見ても、イマイチ信用することができない私にしてみれば、とても心強い日記になると思います。

私からも、みなさんが参加してくれることをお願いします。 谷本君、参加してくれる皆さん、がんばりましょうね。（追加） 山井里(り)央(お) 旅行お疲れでしたぁ〜。麻美の言う通り、キム先生が教えてくれた日焼け止めはマジすごいです。ラフティングとか、日傘させないからヤバめかと思ったけど、全然白いまんまだもん。キム先生最高です！この日記だけど、うちも参加するね。でも、うち、みんなみたいに頭良くないから、いいトコ行けないと思うの。でも、書ける範囲で書いてくね。みんなで就活がんばろぉー！（追加） 二条院 旅行ありがとう。すごく楽しかったです。就活体験記だが、谷本にしてはなかなか冴えた提案だ。俺も参加する。以上。

第一章 「説明会と、学園祭と、木工用ボンド」

第一章 「説明会と、学園祭と、木工用ボンド」 九月二十九日 谷本直毅 今日、初めて学内説明会とやらに行ってきました。三木森らしきツイストパーマを見かけたんだが、まさかお前じゃないよな？ お前だったら、何で俺に連絡してくれなかったんだ。一人で企業ブースを回るのは、ちょっと勇気がいるもんだ。まあ、途中から慣れたがな。俺のこの適応力をもってすれば、ガラパゴスでも生き延びられるだろうよ。このたくましさは企業は見抜いてほしいもんだね。来ていた企業はなかなかよかったぞ。結構有名なところばかりだった。俺が知らない企業は二、三個だったかな。最初に説明を聞いたのは、テレビ旭だった。要はテレビを作ってるんだろ、と思って話を聞いていたんだが、そのイメージで大枠はあってると思う。というか、あんまり興味がなかったから詳細は覚えてない。だったら日記に書くな！ とは言わないでくれ。一番最初に書きたかったんだから、しょうがないだろ。人事の人は、六本木に本社があることをやたら自慢してたかな。俺は六本木に行ったことがないからよく分かんが、テレビ番組とかで六本木がお洒落だということぐらいは知っている。だから、仕事帰りにコンパとかデートするにはいいのかもしれない。要は、お洒落さん向けってことだろう。学生の一人が、「テレビ局ってどれくらい忙しいんですか？」という質問をしていた。人事曰く、仕事が楽しいから忙しいとは感じない、のだそうだ。言葉を濁すのも甚だしい、と思ったが、俺は何も言わなかったさ。でもその人は結婚指輪をはめてたから、家庭と両立できるかはその人次第なのだろう。次に見たのは二新食品だ。下宿生は結構お世話になってるんじゃないかな。カップヌードルとか作ってる会社だからさ。個人的主観も交えて端的に述べると、かなり面白そうな企業だ。文系の人間でも、商品企画の時にたらふく試食ができるらしいぞ。食費がフワフワ浮いてお空に飛んでいきそうだ。山井さんみたいにスタイルを気にしまくる人はちょっと厳しいかもしれん。でも、営業とかに行けば、動くことも多いだろうから、問題ないと思う。説明してくれている人も、男だったが、メタボではなかったよ。あと、この企業が待ち時間にスクリーンで流していたコマーシャルが、めちゃくちゃ格好よかった。何やら、ワールド・イズ・フリー、がテーマらしい。俺たちみたいに世界をひっくり返してやろうと思ってる若者にはぴったりなテーマだと思わんかね諸君。スタイリッシュなアニメーションを使っているところがまた憎いんだなこれが。三つ目に見たのは、ビー・アンド・シー、という、コマーシャルでよく見る外資系消費財メーカーだった。ここはすごいぞ。冗談抜きですごい。何がすごいって、社内公用語が英語なのだそうだ。英語ができなきゃ入れんよ、きっと。周りの学生がヒソヒソ話していたんだが、ここの企業のマーケティングがヤバいらしい。何がやばいのかよく分かんが、やばいらしい。たぶん、いい意味でのヤバイだと思うが、確認は取れてませんのであしからず。そういえば、なんとかっていう雑誌の、働きやすい企業ランキングで一位をかざってるらしいぞ。人事の人が女性だったのだが、白桃のようにピチピチ輝いていた。だから、女子にも働きやすい職場なんだと思う。でもその人は、男女平等という言葉の意味を取り違えないでほしいとも言っていた。たぶん、女子に向けて。男の人と平等に扱ってもらおうというのは、それなりに厳しくて、泣いてしまうこともあるのだそうだ。そういう叱咤激励に耐えうる人じゃなきゃやっていけないよ、みたいなことを言っていた

から、俺の中ではかなり印象が良かった。意識の高い人材が集まっていそうな素晴らしい企業だと思う。俺が最後に見たのは、デルタ、というベンチャー企業だった。会場をふらふら歩いていると、学生が一人もいないブースがあったから、今日最後の記念にと思って立ち寄ってみたのだ。感想としては、まあ、悪くない、といった感じでしょうか。携帯電話で遊ぶゲームを開発している企業なのだそう。文系の人間はほとんど営業だが、ゲームの企画やイベントの企画なんかもできるそうだから、まあまあ面白そうだな。今日の報告はこれくらいです。ここからは就活自体には関係ありませんが、前のページでこの日記への参加を宣言してくれた、田中さん、山井さん、二条院、ありがとう。この大学ノートも賑やかなものになりそうでなにより。べつに参加の宣言をせずとも書きこんでくれてかまわんから、他の奴らもちょくちょく顔を出してくれたらうれしいぞ。どうせ阿呆なお前らだから、既にこのノートを手にして、目を通してははずだ。落ちていた飴でも躊躇なくねぶりそうなお前らだから、放置ノートなんぞ開かずにはおれんのだろう。まあ、何でもいから情報を書いていけ。腹が減ったから帰る。それでは。（追加） 二条院 日付は変わったが、べつにたいしたことではないのでここに書く。ビー・アンド・シーについてもっと詳しいことを教えてくれ。以上。（追加） 田中麻美 おはようございます。日付が変わったっていうことは、さっきまでこの部屋に二条院君がいたってことかな。どこかですれ違ったかもしれませんね。実は私も、昨日の学内説明会に参加していました。確かにツイストパーマいたよね。（笑）私が見た企業は、ほとんど谷本君とかぶってるから、代わりに二条院君の質問に返事するね。ビー・アンド・シーは、谷本君が書いていた通り、外資系の企業です。マーケティングがものすごく上手な企業で、この部門の人たちは世界中のトップ企業から引き抜きがかかるくらい優秀なのだそうです。マーケティングとか営業とか、部門ごとに採用してるらしいから、それぞれ難易度は異なるらしいよ。私も詳しいことは分かんないから、今度会った時にでも、パンフレット渡すね。あと、十月中に私たちの大学向けのセミナーを開いてくれるらしいよ。だから、インターネットでプレエントリーしておいた方がいいかも。私ができるのはこれくらいです。役に立ったかな？（追加） 笠井一（はじめ） 谷本、人を阿呆呼ばわりするでない、この阿呆が。お前にいいことを教えてやろう。テレビを作っているのは電機メーカーだ。番組を作っているのがテレビ局だ。だからテレビ局にテレビは作れない。メーカー志望として一言言いたくなかったので足跡を残した。じゃあな。（追加） 二条院 田中さんありがとうございます。早速パソコン室でプレエントリーしてきました。まだ大学は始まっていないと思うのですが、田中さんは何をされているのでしょうか。サークルでしょうか。俺は図書館で勉強をしていました。涼しいから、なかなか快適ですぞ。ついでに、家庭教師として試験問題も作っていました。パソコンで問題を作ると、どこか機械的でよそよそしくなってしまうから、私は手書きで作るのです。その方が人間っぽくて生徒の方もやる気が出るのです。ところで笠井。経済学部である俺たちは所詮文系人間だ。メーカーはテレビを作るが、テレビを作るのは理系の人間だ。この命題からわかる真理を考えても見ろ。だから、お前が偉そうに吠えるでない。以上。（追加） 山井里央 結構書かれてるからびっくりだよ～。その命題からわかること？ なんだろ？ メーカーは理系の人間ってことかな？ あれ、メーカーが人間になっちゃった。（笑） メーカーが歩いたら、ちょっと面白いかも。（笑） あのさあ、笠井君も、二条院君も、喧嘩っぽいのはやめようよ～。もっと楽しい感じがいいと思います。就活は楽し

んだもん勝ちって先輩言ってたよ。だから、楽しもうね。（追加） 笠井 確かに山井の言う通りだ。言葉の端々にトゲがあったこと、謝ります。谷本、ごめん。しかしだ、二条院。メーカーは決して理系だけの企業ではないぞ。ここだけは譲れないから反論しておく。文系は文系の能力を活かして活躍しているんだ。これ以上はまた喧嘩っぽくなるからやめておく。口頭での議論なら二四時間受け付けているから、かかってこい。飛ぶ鳥跡を濁さず。さらば。（追加） 二条院 俺の前文「ところで笠井」以降は良くなかった。俺もこれは楽しい日記にしたいから、詫びます。すまぬ。そして、後輩に無様な書面を見せつけた己自身よ、憐れなり。 ところで笠井、待っておれ。 以上。（追加） 田中麻美 二条院君。私はサークルの用事で学校に来了ました。もうすぐ学園祭があるので、出し物の練習をしていたのです。私たちの部室にクーラーはありません。だから、ものすごく暑かったです。でも、すごく楽しかったよ。学園祭本番は、みんなで見に来てくれたらうれしいなあ。家庭教師のアルバイトをしているなんて、なんだか素敵です。二条院君は頭がいいから、その生徒さんはラッキーだと思います。手書きで問題を作る姿勢も、心がこもっていて、感心してしまいます。私だったらすぐにパソコン使っちゃうなあ。ちょっと反省です。 今日もう遅いので帰ります。バイバイ。 十月一日 谷本直毅 なんだかよく分からんが、この体験記が賑わっていることは結構結構。笠井と二条院の結末は書いてくれなくてよろしい。お前ら二人とも携帯番号知ってるんだから、いちいち日記上で喧嘩をするな。山井さんがいなければ、今頃ここは不毛な大地と化していたぞ。 ところで、今週末にも学内説明会が開かれますね。どこが主催で開いてくれているのかは知らんが、ありがたいことだ。しかし、こんなありがたいことにもかかわらず、俺は今週末は用事があっていけません。べつにいやらしい予定が入っているわけではないから説明すると、ちょっくら台湾に行ってくる。どうだ、羨ましいだろう。いろいろ食べてくるつもりだから、阿呆面さげて、ヨダレでもたらししておれ。俺はお腹がぼんぼんになるまで台湾を食いつくしてくるつもりだ。夜店の屋台がすごいらしい。同行する俺の友達は、ガイドさん並に予定を立てるのがうまいから、無駄な時間を一秒も過ごさず楽しむことができるだろうよ。心配しなくても、お土産なんぞ買ってこんから期待するな。期待するから落胆が生まれる。田中さんと山井さんのお願いだったら聞きますので、俺に直接メールください。ということで、今週末の報告は頼んだぞ。（追加） 二条院 田中さん。やはりサークルだったのですね。俺には田中さんがサークルで後輩たちと和気あいあいと活動している姿が鮮明に浮かんできます。もし暑さで二進も三進もいかぬようでしたらば、俺が扇風機でも持って参上いたしますぞ。たまたま我が家には、誰も使用しておらん扇風機があるので。新品同様箱に入れて保管してありますから、ピカピカです。タイマーなんかもついております。お腹を壊さなくても済みますよ。アイス食べ過ぎにご用心。田中さんの日記を読解したところ、学園祭で、何やら発表会らしきものを開くらしいですね。いったい何をするのでしょうか。あと、場所はどこなのでしょう。もしその日予定が空いていたら、見に行こうかな、なんて思ってます。でも俺は、なかなか多忙なので、スケジュールを空けられる保証はできませんぞ。三木森のように、授業にも出席せんと、どこぞをほつつき歩いておる阿呆とは違うのです。俺のスケジュール帳は、余白を見つけるのが難しいくらい埋まっておるので。 手書きの試験問題のこと、褒めてくれてありがとう。最近パソコンだのメールだの、何でも手を抜く事ばかり覚え

てしまいがちな中坊に、手作業の素晴らしさを教えてやっておるのです。この前、中坊が、「漢字なんて変換できるから、覚える意味ないじゃん」なんぞとぬかしておりましたので、説教をしてやりました。書かねば覚えられんし、使わねば忘れてしまいますからな。携帯で変換できても、頭の中で変換できなくなったら、お終いお終い。漢字の切れ目はアジアの切れ目。あやつが欧米で暮らすには少々鼻が低すぎます。練習大変そうなので、もしよかったら差し入れでもしますがいかがか？　ところで谷本。鳳梨ケーキを買ってこい。以上。十月四日　中林洋平

よう。一昨日までアメリカ旅行してた中林だよん。お前ら面白そうなもん書いてるじゃん。ということで、俺も参加するね。この日記をここまで読んでみた感想なんだけど、就活以外のことでもバンバン書き込んでいいんだな。なんか、こういう適当な感じが金ゼミのいいところだと思う。やっぱお前ら最高だ。今日の学内説明会行ってきたから報告するぜい。西日本電力と二(ふた)井積(いつみ)友(とも)銀行と二分(にぶん)食研と二井積友カードに行ってきました。じゃあ、まず、西日本電力からにしようかな。なんか、電力自由化、って言葉を覚えて帰ってくれ、みたいなことを言ってました。新規参入とかができるようになったらいいです。東日本電力との違いをよく学生に聞かれるらしいのですが、人事の人は、「人」っていう風におっしゃってました。電力という目には見えないものを扱っているから、なかなか他社との違いは出せないみたいなんです。細かいところで言うと、停電時間が短かったり、二酸化炭素発生率が低かったりするそうです。海外進出について質問している学生がいました。それに対する答えとしては、資源のみを売ることなら考えられるそうです。というのも、地政学的な問題もあって、海外でインフラを整備するのは、リスクが高いという判断をしているからだそうです。全体的な雰囲気としては、人事のおっちゃんが気さくで面白い人だったので、よさげな印象を受けました。話を聞いている学生の数も結構多かったように思います。次は、二井積友銀行ね。とにかくでかいという印象を受けました。人の数もビジネスの規模も。海外で働くチャンスも全然あるみたいだから、なんかやたらと格好よかったです。やっぱイメージだけで企業を選ぶのは良くないよ。マジで良くない。俺の中での銀行の仕事って、お金数えてるくらいのイメージしかなかったもん。あと、髪型が七三でメガネのガリ勉ね。でも、このイメージ全然間違ってるわ。もっとスマートでダイナミックな印象を受けました。みんなも一度話を聞いてみるといいぞ。　今世界を賑わしている金融業界だったから、リーマンショックとかその辺の話も聞いてみたけど、テレビで言ってることと大して変わらなかったから、ここに書くのはよしておく。長くなるからさ。でも、俺は噂で二井積友銀行は、アメリカの投資銀行シルバースックスとなにやらひっそりむつつりやっているらしいという話を聞いていたから、直接聞いてみた。実に簡潔に話してくれたぞ。どうやら、シルバースックスから正式なオファーは来ていないらしい。だから、マスコミが言っているように、手を取り合うなんて事は今のところないそうだ。あと、外資は給料もらい過ぎ、なんてことも冗談っぽく言ってたぞ。結構オープンな人だったな。　次、二分食研。ここは人事の人がめっちゃくちゃ元気よかった。爽やか好青年って感じ。だから、印象よし。業務用食品をたくさん扱っている企業らしい。どの部署からでも商品のアイディアを出すことができるそうだ。もちろん、試食あり。海外拠点はアジアとアメリカの二か所しかなくて、南の地域には進出してないんだってさ。ビキニがお似合いの里央には向いてないかもね。(笑)　ここのプレゼンは、プロジェクターを忘れたらしく、小さなパソコン画面だったのでほとんど見えなかった。いちゃもんつけるとし

たらこれくらいかな。来月あたりに単独セミナー開くそうだから、興味があったら行ってみそ。

最後、二井積友カードね。ここは、教室の前を歩いてたら声かけられて、そのまま一對一の会話形式で説明してくれました。だから、すごく分かりやすかったです。ただ、説明してくれたのが一年目の人だったから、詳しい話は聞けなかった所が若干残念。でも、綺麗だったから許す。

(笑) 「すべての支払いをカードに」っていうのがスローガンらしいよ。俺は無理だと思うけど。アメリカみたいに、身の丈以上の買い物をする文化ならカードも普及するんだろうけど、貯金星人を多数抱える日本ではちょっと難しいでしょ。正直。セキュリティ・ナンバーワンで賠償額も少ないらしいよ。俺は、セキュリティとか仕組みが分からない複雑なことにはなるべく手を出さないようにしてるから、そこらへんを分かりやすくしてほしいよね。でも、わかりやすくすると簡単にハッキングされちゃうから難しいところだ。結論としては、俺はカードは使わない、ってところかな。ああ、でも、旅行の時はカードだったなあ。まあ、いっか。雑談の中で、デビットカードとクレジットカードの違いがようやく分かりました。結構気になってたんだよね。なんかスッキリしたわ。こんな所でいかがでしょうか。就活日記っぽくなったんじゃないか？薄情な谷本とは違って、俺はちゃんとみんなにお土産買って来たから、今度俺に会った時は歓迎の意を込めてハグしてくれ。次のゼミの時にでも食べような。キム先生のは、お前らよりちょっと高級だけど、文句言うなよ。ほんなら、次のゼミに。バイチャ。十月六日 谷本直毅 金ゼミの男前よありがとう。そしてお帰り。いつもはノリのいいお前がどうしてゼミ旅行に来なかったのか疑問だったのだよ俺は。俺たちが触れてはいけない理由があるのかなと思ってさ。でもなんてこたあない。海外旅行してただけなのか。なんだか気を使ってしまったぞ。気の使用料を返してくれ。ところで皆さん。今日、角(すみ)先輩から聞いたんだが、このゼミは毎年学園祭に出店しているそう。んで、当然のごとく、今年も出店するらしい。「出店の手続きなんかは当の昔に終わっておるさ」なんぞと角先輩は胸を張っておられたが、俺たち何も聞いてない。一応俺は幹事だぞ。運営委員会には、クレープ屋をやると言って用紙を提出したらしいが、クレープ屋という看板を掲げて焼鳥焼いてもかまわんから、他にやりたいことがある人は意見募集中だよ。かまわんというのは先輩方の認識で、運営委員会の認識ではないから気を付けろ。たぶん怒られるぞ。そして、クレープだと思って並んだ子供たちが泣き始める。出店の準備等は先輩らがやるから心配しなくてもいいそうだ。でも、暇なやつは手伝ってやろう。そして何かおごってもらおう。学祭当日はできれば手伝って欲しいと言ってたぞ。客引きは一人でも多い方がいいし、女子がいた方が間抜けな男どもが寄ってくるからイイのだそうだ。四年のお姉様方だけでも十分な気がするが、若さが欲しいとかぬかしてました。あと、間違いなくコスプレさせられるから覚悟しておけ。野郎どもの誰か一人はメイドさんになるだろうよ。太股辺りをきれいにしておけ。特に、二条院。気を付けろ。ところで二条院。お前がこの前書いていた、何とかケーキというのは、何て読むんだ。むつかしい漢字を書くときは、ふり仮名くらい打っておけ。世の中の八十パーセントの人は読めんだろうよ。八割の人が読めんなら、そりゃもう漢字じゃない。単なる線の集合体だ。線を集めて何が楽しい。美術館にでも飾っとけ。というわけで、お前の言っている何とかケーキは無視した。恨むなら自分を恨めよ。読めないものは仕方ない。ちなみに、俺も台湾のお土産としてパイナップルケーキを買ってきました。山井さんのリクエストもあった

しね。ちゃんと全員分あるから心配するな。キム先生は二個だが文句言うなよ。先生はああ見えて甘いものが好きなんだ。何も塩昆布ばかり食ってるわけじゃない。先生は最近塩分を控えてらっしゃるんだぞ。あの年でメタボじゃないことはすごいことだ。色男とお土産のタイミングがかぶったのは何とも腹立たしいが、せっかくの機会だしお土産の食べ比べでもしたらいい。たぶんアメリカも食いもんだろう。チョコレートあたりじゃないか。まあ何にしても、お土産が多くて困ることはない。今週のゼミは、お茶しながら進めよう。たまには息抜きも必要だ。毎回議論が白熱しすぎて大変だからな。人知れず眠るテクを身につけた三木森には分かるまい。では、学園祭の件よろしく。バイバイチャ。（追加） 山井里央 谷本君、お土産ありがとです。ゼミが楽しみい〜。 学園祭の話だけど、たぶん、うちはオーケーだよ。バンバン手伝える感じ。コスプレも変なのじゃなきゃいいよお。（笑） 麻美はすっごく忙しそうだから、微妙かもしれない。でも、参加したい、みたいなことは言ってたよ。たぶん当日くらいは来れそうなかんじかなあ。 とにかくみんな、学祭もがんばろうね〜。 十月十一日 谷本直毅 セミナー行ってきた。書く。 小日本印刷は少々遅刻したので全部の話はわかりません。でも、本とかパッケージの印刷だけじゃなく、家の壁紙とか木目調の印刷とか案外幅広くやってみたいだ。事業自体もウェブの領域に踏み込んだりして幅を広げてるらしい。事務系の募集人数も二百人弱位を予定してるみたいだから、応募しといて損はないかも。なんだか引っかけりそうな予感。営業の転勤も他社と比べて少ないそうだから、彼女と別れる回数も少なくて済みそうだ。ところで中林よ、なんかあったのか？ さっきから詳しいこと書けんくてすまん。というのも、人事の人とは別に、俺たちの大学の先輩社員がOB訪問的説明に来ていたんだが、その人のパンツスーツがムッチリパツパツでやたら破廉恥だったのだ。だからそのことしか覚えておらんのだよ。その魅惑の琴線がいつ弾けるかということに意識が行き過ぎた。あんなスーツをこしらえた職人はまさに職人だ。尊敬に値する。お前らの中から魅惑のスーツ職人が誕生することを俺は切に願うよ。 次はシャプーを見てきた。結構歳のいってるおじさまが話しておられたから、ちいとばかし緊張感があった。全体の印象としては、理系の企業だなあと考えたよ。経済学部人としてパンフレット見たけど、全然惹かれなかった。まあ、まだ薄っぺらいパンフだったから仕方ないかもしれんがね。OB訪問でもすればやる気が出る可能性は大いにあると思う。やっぱ文系は文系の人の話を聞かには駄目ですな。プレゼンの内容はソーラーパネルの話が多かった。世界の四分の一がシャプー製なのだそう。こいつはすげえな。ソーラーパネル向かって適当に指させば、四回に一回はシャプー製なんだぞ。すげえよ。求める人材像は「スマート」「しなやか」「タフ」を兼ね備えた学生で、いろんな分野に詳しくなりたいという学習意欲のある人材がお好きなようだ。残念ながら二条院は落選だな。お前にはしなやかさの欠片も感じられん。せいぜいストレッチにでも邁進せい。 イズビーという得体のしれぬ企業の話も聞いた。ブースの回転率を重視していたらしく、話を聞く時間がすごく短かった。眼鏡をかけた坊ちゃん刈りの社員がやたら早口でしゃべくり倒しておられたよ。よくもまあそんなに速く舌が回るもんだと、俺は感心したもんだ。でも、口調が速すぎて結局何も覚えてません。プレゼンのボリュームがあるならもっと一コマに時間をかければいいのに。完全に作戦ミスだぞありゃ。そのくせ業界としてはコンサル会社らしいから、目も当てられんとはこのことだ。ただ、会社自体はまだ若いから、早いうちから活躍できそうな印象は受けたぞ。コンサルは外資というイメージを払しょくするには至らんかったが。

今日の最後は佐藤忠商事だ。俺が憧れる総合商社だよ。とにかく繊維が強いらしい。ここは有名な海外ブランドのほとんどと提携しておるから、規模の威力まで持っておる。こりゃあちょっと敵なしだ。あと、サトウ忠と言われるだけあって、砂糖も無敵らしい。川上から川下まで全部請け負ってるんだと。ここの社風としては風通しがよくて、若いうちから大きな仕事を任せてもらえるのだそうだ。あと、新人海外派遣制度というのがあって、入社後四年以内に百パーセント海外を経験させてもらえるらしい。なんて魅力的な制度なのだろう。ちなみに、サトウ忠のエントリーの仕方はちょっと変わってて、普通のエントリーの他に配属先決めエントリーというのがあるそうだ。これで内定もらうとその時点で配属先は決定らしい。でも、一般採用の方が有利に感じた。やりたいことが決まってる奴にとってはいい方式なんだろうがな。今日はこんな所です。そういえば、この前のゼミは最高だったな。キム先生が気を利かせて紅茶を買ってきてくれたあたり、さすがさすが。あんないい先生は他におらんよ。俺はこのゼミの幹事であることを誇りに思う。キム先生もパイナップルケーキをおいしそうに頬張られておられて何よりだった。二条院がやたら喜んでいたのはなにゆえか。まあ、中林のお土産がチョコレートだったのは予想通りだったがな。裏の裏を突いたつもりか知らんが、裏の裏は表だぞ間抜け。お前は超絶色男の癖に、そういうおっちょこちょいな所があるから、野蛮な輩どもから僻(ひが)まれんで済むのだ。世の中うまいこと出来ておる。ただ、キム先生へのお土産がゴディバだったのはいかなものか。もっとアメリカ色に染まったもんを選んでこいよ。お前のセンスを見せてみる。食べ比べ的には、甘さと口溶け加減でお前に完敗だよ、好色一代色男。だが、紅茶との相性は俺の勝ちだな。パイナップルケーキの美味しさを引き立てる、見事なまでの組み合わせだった。むしろパイナップルケーキが紅茶の美味しさを引き出していたのかもしれない。まあ、どっちでもいいか。

豚キムチ定食が食べたいので帰ります。バイチャイチャ。(追加) 笠井 日にち変わってるけどここに書く。谷本、シャプーのパンフレットくれ。あと、学園祭当日、俺は参加できません。すまん。演劇部の公演があるのだ。後片付けくらいなら参加できるはず。今は本番に向けて猛稽古中だから、そっとしておいてくれ。学祭当日はぜひ見に来てほしいな。俺の迫真の演技を見れば、お前らもきっと、俺に一目置くようになる。平伏せ平伏せ。頭が高い頭が高い。ちなみにこれだけは言うておくが、三木森だけは連れてくるなよ。百パーセントの確率で野次を飛ばすだろうし、あやつの声のすさまじくデカイこと迷惑千万。雰囲気ぶち壊しも甚だしい。演出の泣き顔が目につかぶ。今年の春にあった新入生歓迎公演における恨み、忘れておらんぞ。あの阿呆はいちいち規格外なのだ。たかがくしゃみ一つに、なぜ舞台の音響が敗北せねばならんのか。おかげで一番グッとくるセリフが、観客の誰にも聞こえておらんかったそうだ。皆の鼓膜がハクション大魔王に侵されておっただらしい。花粉症ならマスクくらいつける。そしてお前は、芸術を鑑賞する権利を剥奪されればいい。うちの団員が泣いて喜ぶぞ。とにもかくにも、シャプーの件よろしく。アンド、打ち上げ絶対行きます。雀の千声おそろしや。ばいばい。十月十五日

谷本直毅 業界研究会という名の学生団体が三菱商事を招いていたので中林と一緒にやってきた。話を聞くだけなのにすごく緊張した。やっぱ就活は恋愛と同じだなこりゃ。プレゼンの内容はまあ普通といった感じ。商社のビジネスモデルとかありきたりなやつね。期待値が高かった分物足りなかったのかもしれない。社員の方が二人来ていたが、一人は新卒採用を仕切ってるエ

ライ人だったから、一番前の席に座っていた俺の判断力はピカイチだ。顔覚えてもらおうと思って瞬き多めにしといた。違和感だろうが何だろうが印象に残れば構わんよ。その人の話の中に「信・義・智」というのがあった。スクリーンにもでかでかと映し出されてたから、多分大事なんだろう。三綱領というらしいぞ。俺は瞬きするのに必死だったからあんまし覚えてません。でも、漢字見りゃ意味くらいはだいたいわかるよな。もう一人の社員さんは我が大学の先輩で、二年目の人だった。この人はずっと車の部品の話をしていたんだが、俺はあくびをこらえるのに必死だったよ。一番前の席に陣取っているのを若干後悔した。ほんと、筆舌尽くしがたい程グダグダだったぞ。あとからこの先輩に聞いた話では、前日まで韓国に行っていたらしく、レジューメは帰りの飛行機の中でビール飲みながら作ったんだそうだ。遣っ付け作業にも程がある。母校をもっと大事にしろ。セミナーの後は場所を移して質問会を開いてくれた。めちゃくちゃ忙しいはずなのに時間を作ってくれる辺りは三菱商事の懐の深さが伺える。社員さん二人に加えて内定者の方も来てたから、かなりフランクな感じで会話ができただ。学生も俺を含めて五人しかいなかったから、ほぼ雑談だな。グダグダ社員の人にプレゼンの文句を言ったら、「言い訳はしないが、文句を言うのは簡単だ。だったら次はお前がプレゼンすればいい」と一蹴されてしまったよ。先輩、世の中ではそれを逆切れというのです。この人とはプライベートな話ばかりしてたから、後半は敬語使えてたか自信がない。世に咲く少女のスカートの中で活躍していそうな、水玉水色ネクタイがどうしても気になったから、「それは今年の流行ですか？」と聞いたら、「彼女からのプレゼントだよ」と、どす黒い声で返されてしまった。やっちゃった、と焦ったんだろうな。「勝負パンツですか？」と切り返してしまった俺の何と可愛らしいことよ。勝負ネクタイだよ馬鹿もの、と会話を続けてくれたから首の皮一枚は残っているはずだ。関係ないが、北京ダックはうまいよな。その後はほとんど内定者の人と話してた。俺たちとおなじ経済学部の上野先輩だ。この人がまた面白い人で、最高に楽しかったぞ。人事の人がとなりにもかかわらず、「決め手は金だな」とチャリンチャリン言ってた辺り、あの人は絶対大物になる。せっかくだから去年の就活がどんなんだったか聞いてみた。かなりためになる話が聞けたから、ここにも書いておいてやるよ。まずは商社について。この人は五大の筆記全部通ったそうだ。自分が通ったくらいだから筆記は勉強せんでもなんとかなるとか言ってた。しかし、たぶん無勉じゃなんとかならんから、適度に勉強することをお勧めする。やっというて損はないからな。商社では商事と積商から内定をもらったらしい。他の三つは全部面接時間に目が覚めたんだと。寝坊もたいがいと身を滅ぼすぞ。商事は筆記で半分以上さよならで、そのあと三次面接まであるらしい。上野先輩いわく、大切なのは、「自分を信じてやり抜いた経験があるか」なんだと。面接の時は常に学生二人だったと言っていました。途中で作文書くとも言ってたな。この人は一次面接の時に写真持っていくのを忘れて、こりゃ落ちたな、と思いながら受けていたそうだ。大股開いて相槌だけ打っていたら通ったんだと。先輩いわく、「俺の股ぐらに惚れたんだろう」なんぞと抜かしておりました。あなたは自分のどこを信じておられるのか。やっばこの人大物だ。帰りに、待合室にあったジュースを貰って帰ったらしい。くだらんところでちゃっかりしておる。積商は五大の中で一番筆記が難しいんだと。四次面接まであって、こちらもちゃんと頷いてれば通るとか言っていました。ちなみに諸君。なわきゃないから気を付けろ。そんなんだったら全員内定もらえるわ。面接を通るコツは、長々としゃべらないことらしい。しゃ

べりすぎるとボロが出るし、わかりにくくなるから端的に答えろとおっしゃってました。あと、一分と指定されたなら必ず一分で話をまとめること。これが意外に大切なんだと。面接官から小難しい話を振られて応えられない時は、正直にわかりませんと言いましょ。先輩は、「わかりません。勉強してきます」で押し通したそう。人間正直が一番一番。自己分析も絶対にやった方がいいと言っていました。面接でしゃべる内容の質が全然よくなるそう。この人は、モチベーション曲線とか、自分の行動原理とか、自分の生い立ちにまでさかのぼって分析したそう。ちゃんとやることはやっておられるのだよ。上野先輩のアドバイスは積極的に参考にしてもよいと思う。かなり適当っぽいけど、たくさん内定ゲットしておられるからな。商社の他にも、メガ三つで三色コンプリート、ハンダイ、京天堂だ。かなりすごいぞ。 帰り際に、人事の人に一番気になる質問を試してみた。「面接で何を見ているのですか」という質問だ。人事の人は少し考えた後、「素を見せてほしい」と言っておられたよ。素を見せてくれんと会社にあってるかどうか判断ができませんからそう。面接に来た多くの学生が、結局何が言いたいのか分からない印象を残していくから残念だ、ともおっしゃっていた。あと、来年の採用人数についても聞いてみたが、まだ分からんと言われた。リーメンショックなんかがあったから増えることはないってさ。俺の予想だと、たぶん減るぞ。売り手市場のお祭り騒ぎはもう終わったのだ。俺たちの就活は寒くなりそうな予感。押しくらまんじゅうでもして乗り切ろう。臀部(でんぶ)をきれいに磨いとけ。

ところで、最近山井さんの雰囲気が変わった理由がようやく分かりました。化粧品を変えたのですね。女性はちょっとしたことで印象が変わるから、なんだか羨ましいし、素敵だと思います。そもそも山井さんはスピンからして美人であるから、化粧するのがもったいない。紫外線対策くらいで十分ですぞ。それほど化粧品一つにこだわらなくても大丈夫だと思います。だから、許してやってください。本人はひどく反省しておるようです。種類がたくさんありすぎて、どれがどれだかわからなくなったというのが本人談。異国の地での化粧品選び、さぞかし難航したはず。あやつがあなたのためにフィメルに交じって宝探しをしている健気な姿を想像しただけで、俺は視界が滲んできます。間違いは誰にだってあるのです。弘法も筆の誤りというではありませんか。許してやってください。俺からもお願いします。 ところでところで。業務連絡。「クレープの中身は何にする？」 だそう。俺はあんこがいいと言っておいた。各々良き案があれば、積極的に発信するように。ここに書いてもいいし、角先輩の耳穴に直通でもいい。でわ。 チャイチャイチャ。 十月十六日 山井里央 おはよー。って言ってもお昼過ぎてるんだけどね。(笑) 午前中にアマーバエージェントのセミナー行ってきたから報告するね。わたし的にはグループワークがあるって書いてあったから行ったんだけど、それらしきイベントがなくってすごく残念でした。隣の人と自己紹介みたいな感じで将来の目標を話し合ったりしたのがそれにあたるのかなあ。なんか消化不良って感じです。全然関係ないけど、うちの隣は今年のリーメンブラザーズ内定者でした。超ビックリ。やっぱし内定取り消されちゃって、今年から来年にかけて二回目の就活だそうです。今年の外銀はめっちゃくちゃ厳しいらしいよお。コンサルに路線変更しようかなって言ってた。どちらにしても外資に行きたいそうです。私は日本の企業しか頭になかったから、これを機会に今度外資の説明会でも行こうかなって思ってます。うちの大学でも説明会してくれるらしいから、興味がある人一緒に行こうね。 セミナーの話に戻るけど、企業の

雰囲気はすごくよかったよ。若々しくて、ヤル気に満ち溢れてる感じ。インターネットメディアとかインターネット広告に力を入れてるみたい。芸能人のブログが結構有名かも。二十一世紀を代表する企業になることを目標にしてるんだって。打倒アメリカの巨人です！ 面接では、「思考特性、行動特性、価値観」を見るそうです。変化に対応できる柔軟な人が欲しいなあとも言ってました。若い人多そうなので、個人的には元気の良さも必要かなと思います。金ゼミのパワーなら問題ないよね。セミナーが終わってから、営業の女性社員さんとお話したの。ネイルが超オシャレな社員さんで、毎月の楽しみは、次どんなネイルにするか考えることなんだって。めっちゃ素敵。社員さん同士も仲が良くて、週末はいつでも一緒にいるって言ってたよ。だから、オンオフの切り替えが、あんまないんだって。仕事が楽しいから忙しくても全然気にならないって言葉がすごく印象的でした。やっぱり女の子が活躍できる職場がいいなって改めて思った。だから、アマーバエージェントの印象はすごくいいの。麻美も今度行ってみなよ。お勧めだよ。谷本君。なんか、谷本君にまで心配してもらってるみたいでごめんね。うち、そんなに怒ってないから大丈夫だよ。お互い忙しくって、なかなか連絡取り合えなかったことが、事を複雑にしちゃってるみたい。うちは学祭の手伝いしてるし、向こうは普段から忙しそうにしてるしね。でも、今うちは楽しいから全然気にしてないよお。学祭最高おー！ ちなみに私は、コーヒーゼリーを提案しました。クリームに包まれたら絶対おいしいよ。ちょっとだけホロ苦いところがまたいいの。どう？ ヨダレ出てきた？ じゃあうちは、これからクレープの企画会議に参加してくるね。バイバイ。自称弱小サッカーサークルのエースさんへ。今度、ランチでもおごってよね。（追加）自称弱小サッカーサークルのエース もう夜です。なんかお互い忙しくってごめん。お土産間違えてごめんなさい。里央が楽しみにしてるのはわかってたんだけど、種類ありすぎて、どれか分からなかったから、「えいっ」って選んじゃいました。反省します。今度ランチ食べような。もちろんおごるよ。俺も里央の顔見てゆっくり話したかったところです。最近デートしてないもんね。（笑）これからバイトです。頑張ってきてまーす。バイバイ。十月二十日 田中麻美 久しぶりです。最近顔出せなくてごめんなさい。今月末まではこんな状況が続いちゃうかもしれません。サークルを言い訳にするつもりはないんだけど、でもやっぱり学祭は成功させたいです。私も時間があったらクレープ屋さん手伝うね。中身はナタデココがいいと思います。二条院君。扇風機の返事できなくてごめんね。最近はずいぶん涼しくなってきたから、もう大丈夫です。優しい心遣いありがとう。すごくうれしかったよ。学祭当日はぜひ見に来てほしいなあ。暇そうな三木森君でも誘って来てよ。（笑） なんだか楽しくなりそうです。私たちのサークルは、手話を使った人形劇をするの。私は手話担当だから、覚えるのに必死だよ。人形の動きと合わせるのも結構大変です。場所は後日配布されるパンフレットで確認してみて。その方が分かりやすいと思う。久々に日記読んだんだけど、里央ちゃんがラブラブで羨ましいです。（笑） 学祭成功に全力を注ぐ田中麻美でした。またね。（追加）二条院 田中さんこそ忙しい中ありがとう。充実した毎日を送っているようでなにより。学祭ももう来週末に迫ってきたので、今が佳境というところですね。そろそろ扇風機もしまい時ですね。秋の香りがしてきます。スケージュール的には当日なんとか行けそうです。クレープ屋次第ですが、こちらより田中さんの発表会の方が優先順位上ですので問題ありません。ちなみに俺はタコワサとスルメを提案しました。当日三木森を連れていくのは構いませんが、あいつを同行させ

るとろくなことがありませんぞ。あいつの声量はほとんど公害です。法に抵触せんか本気で心配な今日この頃。あやつはいろんな意味で目立ちます。インタビューアが活発なことで有名な、あの歩道橋上でも、三木森はよく声をかけられるのですが、希望溢れる若者の将来に対する夢や目標を質問してきたインタビューアに向かって、やつは、「宇宙を凹ませる！」と即答し、インタビューアを凹ませておりました。哀れなり、国营放送。哀れなり、空き缶にされたコスモス。

とにもかくにも俺は当日絶対行きますから頑張ってください。応援しております。ところで弱小エース。なにが、俺も山井さんの顔見てゆっくり話したかったところ、だ。イチャイチャするのもたいがいと虫が湧くぞ。山井さんの控えめな文章に対して、なんだお前のその甘ったるい一言は。べっこう飴でも舐めておれ。そして琥珀に魅せられろ。それにしてもだ、弱小エース。ちょっと時間ないか？ お前のゴディバ級の甘さを見込んでのことだからよろしく。

以上。（追加）　ゴディバ　秋の香りとはどのような香りなのでしょうか？　ゴディバです。

タコワサとスルメを何の躊躇もなく提案してしまう二条院に嫉妬せずにはいられないね。アボガドを提案した俺はなんて普通なんだろう。もっと面白い人間になりたいよ。甘い甘いと不評の前文だけど、里央へのメッセージだからお前には関係ない。スルーしてくれ。何でかわかんないけど、こういう日記とか手書きの文章だとあーゆう正直な気持ちが書けちまうからなんか不思議。メールだと無理なの。絵文字使うとなんか軽々しくとられるみたいで逆効果だし。携帯だとあんまり考えずに打てちまうから駄目なのかもね。なかなか難しいよ。何の用事か知らないけど、学祭周辺は予定空けてるから大丈夫よ。久々に授業にも出ようかと思ってるし。見かけたら声かけてつかまえてくれ。でも、夜はバイトだから勘弁して。あと、俺からもお願い。来月、ビー・アンド・シーのインターン行くんだろ？　里央も興味あるみたいだから一緒に連れて行ってやってくれ。もうプレントリーとかは済ませてあるって。知り合いがいた方が心強いだろうから、よろしく。　あさみんへ。俺も里央と一緒に観に行くからね～。（追加）　二条院　助かる

助かる。感謝するぞ弱小エース。そして、ビー・アンド・シーの件、承った。　だが、一言いいか？　前から言っておるが、貴様には山井さんという玲瓏(れいろう)たる彼女がおるわけだ。にもかかわらず田中さんのことを「あさみん」と呼ぶのはいかがなものか。少し軽すぎやせんか。気になったので書く。　以上。　十月二三日　谷本直毅　仲睦まじき金ゼミ諸君オイス。二(ふた)井(い)物産のセミナー行ってきた。　学生五十人くらいの質問会みたいなセミナーだったのだが、二井物産の雰囲気みたいなものを少しは感じる事ができたような気がする。なんか、ココと二菱商事は独特な雰囲気を持ってるよな。五大全部回ってないからまだ正確なことは言えんが、少なくとも他の企業とはなんか違う。言葉ではうまいこと言えんからこころにしておく。いろんな質問が飛び交ったから、印象に残った話だけ書きます。二井物産に必要なものは「人間力」だそう。商品を持たない分、人間の魅力が武器であり財産であると語っておられたよ。これはほかの商社の人も言ってたから、なかなかタフな世界なんだろう。人間力ほど一朝一夕で身につかんものはないからな。あとは自分で考え行動できることが大切だとも言うておられた。人間力に関連して、目力の大切さにも触れてました。特に水産関係とかロシア関係のビジネスをする時は知識云々よりも、対峙した時の真剣な眼差しで取引が決まったりするそう。目は口ほどにものを言うとはよく言ったもの。取引先は、こいつが信頼に値する人間かどうかの解を目

力に求めてくるのだ。なんだかその理屈はわかるような気がする。過去の不祥事についても二井物産は隠したりしないと宣言してた。取引するときには当然リスクについても言及し、双方納得の上でビジネスを結ぶんだと。まあ、当然といえば当然なんだろうが、これができてる企業は意外と少ないのかもね。二井物産が強い分野は、化学薬品、エネルギー、鉄鉱など。取引が多い国はブラジルとかオーストラリアなどなど、だってさ。ブラジルに至っては社長とブラジル大統領が友人だから、部門によってはほとんどのシェアを握ってるらしい。人脈ってホント大事なよな。新人の配属は入社後の面談の後、育成環境なんかを考慮して決めていくんだと。で、二部署二業務を経験させるそうです。改めて思ったが、やっぱ商社行きてえよ。セミナー終わってから社員さんと話してたんだが、何かオーラというか雰囲気があるよな。まだ若いのに、この人できるな、って感じてしまうのは、ネームバリューだけによるもんじゃないぞありゃ。本当にできる人たちの集団なんだろうと思った。一言で言うと、カッコイイ。さて、俺の方向性がだんだん見えてきたところで、先の見えないクレープ屋の話をしよう。メニューは定番のチョコバナナとかフルーツ系の他に、コーヒーゼリー、アボガド、あんこ、そしてまさかのタコワサ、で決定だそう。たぶんタコワサはタコワサに負けました。インパクトで負けたのでしょうか。世の中は不条理です。アボガドは、なんだかんだうまいからまだいいが、問題はタコちゃんだ。責任とれよ二条院。予算を均等に配分したらタコワサ部門での大赤字は避けられんぞ。まして財布のひもを握っておるのはあの先輩たちだ。タコワサを大量に作り置きして、余ったタコワサを肴に打ちあがろうとしておるぞ。魂胆が見え見えで、火の車が見え見えだ。誰か消火器買ってこい。ちなみに打ち上げは、居酒屋烏丸(とりまる)ですが、おそらくばらしの段階から缶で飲み始めるでしょう。だから騒ぎたい奴は後片付けに参加したらいい。一次会はタコワサパーティーだ。今日はこんな所で。さらば。十月二五日 谷本直毅 学内セミナー行ってきた。週末だということに企業も御苦労なことだ。まずは黒報堂。大手広告会社だ。シーエムを作る会社というイメージで話を聞いていたのだが、どうやらそれだけじゃないらしい。簡単に言うとブランディングって感じかな。企業の内部にまで入り込んで広告戦略を練るらしい。業界的には景気に大きく左右される業界だから、今年は業績なかなか厳しいと言ってました。正直ですね。「生活者発想」と「パートナー主義」を掲げてクライアントの期待を超えていくというのが基本的な姿勢なんだと。エンゲージメント・リングというのを大切にされていて、選択、共有、絆を感じる、ことで、自分ごと、にしてもらい心を動かすという考え方らしい。職種ごとにキャッチフレーズみたいなのがあって面白かった。営業(信頼を咲かす)は企業にアプローチをかけて課題を探し、最初から最後までプロデュースする。制作(想いを咲かす)はクリエイティブってやつで、キャッチコピー考えたりするやたらカッコイイ職種だ。ストラテジックプランニング(物語を咲かす)は俗に言うマーケティングで、データと独創的なアイデアで勝負する頭脳派集団。カスタマーマーケティング(体験を咲かす)は顧客の立場で商品を見つめなおし、生活者との接点を追求していく職種。コーポレートコミュニケーション(話題を咲かす)は企業や商品にイメージの付加価値をつける職種。とまあこんな感じ。話聞き終わった後に社員さんに聞いたんだが、プロジェクトのチームを組んだ時にリーダーとなるのは営業だそう。企業と一番密にコミュニケーションとってるから、戦略の相違が出たときなんかは営業の意見が優先されやすいんだってよ。ただし営業は仕事取ってこないと駄目だから体力勝負だし相当ポジティブじゃないとやってい

けないと言っていました。結論から言おう。広告業界ってなんか面白そう。俺には商社と同じくらい魅力的に映りました。ブランディングとか前から興味あったから、今後注目していこうかなと思ってます。あんま関係ないけど、個人情報を書いた出席シートの受け取りを拒否しているのには何か訳があるのかな。説明会参加による選考の有利不利を排除しているのだろうか。ちょっと気になった。次は豊名通商。自動車に強い総合商社だ。人事の人がうちの大学のOBだったから質問しやすかった。ここは入社してしまえば首を切られることがないんだと。これがいいことなのか悪いことなのかは人によって受け止め方が違うだろうね、と人事の方はおっしゃられていた。俺もそう思います。商社の中では海外駐在率がナンバーワン。あと、五年経てば他の本部に異動できるんだって。これは結構珍しいそう。人材的には、根性があって挑戦好きな学生はカモンカモンだそうです。今後の会社の方針としては、金属分野への依存からの脱却を掲げました。もっと総合商社っぽくあろうとしてるみたい。それがリスクヘッジにもなるしね。挑戦好きにはたまらんのじゃないかな。お次は朝井新聞。この辺から俺の眠気が厄介さんになってきた。だからメモ帳に記した字が読めません。パンフレットが新聞みたくなっていたのがおもしろかった。人事の人もフランクで、新聞業界はお堅い人ばかりというイメージが必ずしも正しくないということが分かりました。採用は東京で一括採用なんだと。別の新聞社は東京と大阪それぞれで本社を設けて採用してるところもあるらしい。俺はそんなのどっちでもいいから気にせんけどな。あとは職種をメモっていたようなのだが、ガチで読めん。すまん。最後は大日証券。ここで俺の眠気がピークに達しました。健やかな寝顔を晒してしまってすいません人事の人。そして質問している最中に別の証券会社と名前を間違えてごめんなさい。どうか僕を弾かないでください。しかし、時すでに遅し。なんかワクチン債という珍しい債券を扱ってたから聞いてみた。これを買うと購入金の一部がワクチンへの寄付になり後進国への医療援助に一役買うことができるのだそう。これの収益構造が気になったから聞いたんだが、なんてこたあない、ワクチン債を扱うことで国から援助金が出ているのだそう。どうりでボランティア的ビジネスが成立するわけだ。ここで報告終了。ところで来週末はついに学祭ですね。今週は怒涛の一週間になるだろうから各自心得ておくように。明後日は衣裳の洗濯祭りになるでしょう。アメフト部の皆さん、洗濯機お借りします。全員照る照る坊主作っとけ。新規衣装も若干買うそうだから楽しみにしておれ二条院。あと、完成した看板なんかも見ておくといい。先輩らの力作だ。俺は金ゼミの底力を見た気がするよ。やっぱ美術部がおると出来が違うわ。洗濯祭りの後は、クレープの試食会を行うから、暇なやつはおいでおいで。場所はここです。メニュー決定後に試食会を行うあたり、先輩方の計画的無計画が丸見えだ。このずさんさがいつか身を滅ぼすから気を付けろ。みんなが気になるマネーのことですが、心配ないそうです。基本的な資金は、歴代金ゼミ先輩方が当大学の懸賞論文で獲得した賞金を基にしているそうで、俺たちはカンパ程度で済みそうです。来年のために俺たちも論文頑張らにゃ。ほいじゃみなさん、忙しいですが身体だけは気をつけて。バイ。(追加) 中林洋平 グッドモーニング。草野球のついでに寄ってみました。べつに書くことはありません。学祭近付いてきたからなんかワクワクするね。小学校の遠足って感じ。お菓子は一〇五円までよ、みたいな。アボガドクレープ絶対うまいから怖がらないで。脳で味わうんじゃない。舌で味わうんだ。お腹すいてりゃ何でもうまい！ここまでクレープ屋になにも貢献

できてない俺だけど、明日からは手伝うね。ついでに俺のユニホームも洗っていいかな？ 合い言葉は節水です。手伝うって言ってもなにすればいいのかよく分かんないからあれだけど、とりあえず俺は徹夜とかには強いから任せといて。ハードワークに定評のある中林でした。じゃ、みんな、がんばろー。 十月二七日 山井里央 洗濯と試食会、お疲れ様でしたあー。ミッキーが来てくれるなんて、ちょっと意外だったよ。毎日自宅と部室の往復だけなんて、どんだけ暇なの〜。(笑) 今週は金ゼミのために一肌脱いでください。ミッキーなら即戦力だから活躍してね。力仕事は全部任せたよ〜。麻美と笠井君も糖分補給に来てくれてありがとう。顔出してくれただけでも私は嬉しいぞお〜。当日のローテーション表なんかは明日渡します。クレープ屋はほとんど先輩たちがやってくれるから、私たちの仕事は宣伝とお勘定くらいで済みそうです。でも、前日の作業と後片付けは、手が空いてる人全員で協力しようね。今日はこれくらいです。また明日〜。 十月三〇日 谷本直毅 業務連絡。決戦は明日なり！ ついに明日は準備日だ。チャチャッと終わらせて後はまったりしようではないか。今までのところ、試食がメインの俺たちだが、心配するな。明日は絶対こき使われる。二条院辺りはパシリだろうから覚悟しておけ。俺、ウーロン茶な。メニューの話だが、タコワサに違和感を感じなくなってきたのは俺だけか？ 自分の舌がどんどん馬鹿になっていく気がして怖いのだよ最近。コーヒーゼリーとあんこは安定感抜群だな。単体でもうまいのにクリームに包まれるとなおうまいから間違いない。ちなみに、あのコーヒーゼリーは、四年のお姉さま方の手作りなんだぞ。知ってたか？ 市販のゼリーよりだいぶ苦くしてあるそう。でも、あの苦さがうまいんだなこれが。アボガドはもはや病みつきになりつつあるぞ。あのモッタリした食感がなぜだか二口目を誘発してくるから侮れん。なんと、お姉さま方の一番人気はアボガドだ。俺はコーヒーゼリーだと思うんだけど。うまいことに変わりはないからまあいいけど。 明後日からの三日

第二章 『自己分析と、他己分析と、ジャイアンムービー』

第二章 『自己分析と、他己分析と、ジャイアンムービー』 十一月六日 山井里央 二条院君と、ビー・アンド・シーのインターン行ってきましたあ。前半は会社説明があって、コンシューマー・イズ・ボス、っていう考え方を大切にしているなんていうことを教えてくれました。あとはそれぞれの職種の説明だったから、興味ある人はパンフレットあげるよー。二、三個余分に貰ってきたんだあ。(笑) 後半はグループワークでした。近くにいる人たちと六人くらいのグループになって、ケースワークを基にそれぞれの職種を担当する形で進めていく感じだったの。うち、グループワークするの初めてだったから、超緊張したよお〜。うちの担当職種はファイナンスだったんだけど、数字ばっかであんまよく分からなかったー。でも、議論にはちょこちょこ口はさめたから、参加しました感はあるよ。グループワークの反省点としては、ケースの中で売上アップの戦略を練らなきゃ駄目だったのに、シェアアップと勘違いして考え始めちゃった点かなあ。資料の読み込みはちゃんとしなきゃ駄目だって改めて思いました。あと、外資のグループワークは、とにかく発言しまくらなきゃ評価が低くなっちゃうっていう噂を聞きました。席隣だった院生の方が言ってたの。本当かどうかは分かんないけど、覚えておいて損はないかも。二条院君は違うグループだったから分かんないけど、うち個人の感想としては、楽しくできましたって感じです。グループワークの練習にもなったし、一石二鳥かな。報告終わり〜す。またねー。 十一月七日 谷本直毅 積友商事の学内セミナー行ってきました。人事の人が大学OBで、懐かしい懐かしいと連呼してた。何やら今年は業界研究会に呼ばれなかったようで、積商さんの方からわざわざお越しくくださったそう。ありがたやありがたや。確かに業研の奴ら、商社からは三菱商事引っ張ってきてたもんな。学生は意外とシビアなのです。時間は三十分くらいですぐ終わった。大半の時間は、商社はなぜ仲介という形でビジネスを成立させることができるのかということを中心に語っておられたよ。カントリーリスクや信用リスクなんかのリスクテイクに、ロジスティック管理。この二つを大きな理由として説明してた。あとは、全社員の五分の一くらいの方が海外に行っているとも言ってたし、川下の分野を比較的多く扱ってるとも言っておりました。積商のいいところとして、風通しのよさと、若いからこそできる多彩なビジネス、というものを挙げてた。信用と確実の大切さにも触れておったよ。要はアクティブかつ長期ビジョンで考えられる人間を求めているってことだろう。どこの世界でも求める人間像ってのは大して変わらんのだな。セミナーの後には今年の内定者と雑談できるようになった。経済学部の人も何人かいたぞ。それにしても、壇上にいた内定者の幾人かがとてもチャライのはなにゆえか。商社は外見とかそういう細かいことは気にしないと聞いてはいたが、この噂はどうやら本当らしいぞ。三菱商事の上野先輩同様、英語が全然できない人もいたから驚きだ。俺もなんだか励まされた気がする。中には、「何ヶ国語話せる？」という面接官の問いに、「大坂弁と東京弁の二つですかね」と答えたつわものもいるそう。ホントかうソかは知らないぞ。内定者の皆さんが口々に語っておられたのは、自己分析の大切さでした。俺たちもそろそろ始めた方がいいのかな？ でも、何をすればいいのかよく分からんというのが現状だ。自己分析の達人よ。情報求む！ (追加) 田中麻美 谷本君、報告お疲れ様。私も、自己分析は大事だよ、ってい

う話はよく聞くんだけど、何から始めればいいのか分かりません。アウトラインみたいなのがあれば、すごくやりやすいのにね。話変わっちゃうけど、男の子って一日どれくらいメールするんですか？ よかったら教えてください。（追加） 二条院 麻美さんへ。俺は一日三十通くらいします。人脈を保つのもなかなか骨がいます。多くの知り合いを持つというのもなかなか疲れますな。ちなみに、俺が見ている中坊は、一日百通程度するそうです。ここまで来ると、恐れるべきは腱(けん)鞘炎(しょうえん)。俺が教えている間にもブルブル携帯を鳴らすものだから腹が立ちます。しかしやつの返信速度の速いこと速いこと。俺は己の教え子を、指先の魔術師、と呼んでおります。参考になったでしょうか？ ところで、麻美さんはメール等よくする人ですか？

俺は男の割に真面目に返信する方だとよく言われます。たまに相談なんかされたりすることもあります。頼りにしておるぞ、と言われることもしばしば。俺は自分ではそうでもないと思っておるのですが、人から言われるものなのでよく分かりません。赤外線通信、便利すな。以上です。（追加） 中林洋平 どこの銀河に電波飛ばしてるのか知らないけど、お前から返事きたこと一度もないぞ、二条院。ちなみに俺は、平均したら三通四通ってところだと思う。あんましメールしないんだよね。ほとんど電話。たいていの男子はこんな感じだと思うよ。少なくとも俺の周りは俺と大差ないかな。他の奴らはどうなんだろう？ 俺もちょっと気になる～。それにしても、こんな質問をしたってことは、あれなのかな？ 詳しい話、今度聞かせてよ。応援してるから。（笑） あと、自己分析の方は情報集めとくね。（追加） 笠井 俺はお前が一人で飯食ってるところしか見たことないぞ二条院。 あさみんの質問に答えると、俺は一日平均一通もいかないと思う。劇団員くらいしか連絡取りあわないし、毎日会うからメールする必要ないんだよね。メールより電話って感覚もよくわかる。中林じゃないけど、男はこんなもんだと思うぞ。（追加） 谷本直毅 日付またいでみんな活発だな。いいことだ。俺も、一日一通いかない。こんなもんだよな、男って。（追加） 二条院 高校の頃からの付き合いとかがあるのだ、愚民ども。ところで中林。今度飯でもどうだ？ 以上。（追加） 田中麻美 みんな、

ありがとうございました。参考になりました。たぶん、中林君が想像してるのとは違うと思うから、期待に応えられないかもです。二条院君の質問に答えると、私はたくさんはメールしないけど、普通位にメールする人だと思います。アルバイトしてると、結構時間に追われたりしちゃうんです。でも、みんなよりは多いかな。人から頼りにされる二条院君は素敵です。私も人から信頼される人になりたいです。今日はもう帰るね。バイバイ。（追加） 二条院 麻美さんはたくさんの後輩から慕われているではありませんか。もちろん、俺たちも頼りにしておりますぞ。ところで、麻美さんはどのようなアルバイトをされているのでしょうか。最近転職も考えておるので、もしよかったら参考程度に教えてくださいと助かります。 あと、中林。やっぱいい。 十一月十五日 田中麻美 学内企業研究セミナー行ってきましたー。途中から、里央、中林君、谷本君、とも合流できて、なんか楽しかったです。帰りに、ご飯食べながらいろいろ話聞いてくれてありがとう。なんだかスッキリした気がします。まわった企業は、ディー・ケイ・ツー、本日放送、エムビーアイコンサルティング、の三つです。まず、ディー・ケイ・ツーから書くね。 ディー・ケイ・ツーは、業界三番手の広告会社です。「全員経営」を哲学に、コミュニケーション全般に関するビジネスを展開していて、クライアントの課題解決に日々奔走しているそうです。職種はこの前谷本君が書いてくれた黒報堂と内容的には大差ないから省略するね

。ディー・ケイ・ツールの強みはアニメ分野で、ドラえもんとかワンピースなどを担当しているそうです。もっと凄いのは、この広告会社はアニメ制作会社を持っていて、自分たちで直接アニメを作ってしまう点です。もちろん制作会社の社員さんもディー・ケイ・ツールの人で、広告会社に入社したのにまったく違う仕事をしている人もいます。なんか、すごいよね。求める人物像は、タフなハートとタフな頭を持った学生で、変化や不確実なものへの挑戦を惜しまない人だそうです。天通や黒報堂っていう強力なライバルがいるから、この二社との違いを出すのに注力しているみたいです。オンリーワンっていう感じで、素敵な印象だなあ。 次に見たのは本日放送です。人が多くて立ち見だったよ。民放じゃないけどやっぱり人気あるみたいです。本日放送の特徴は、視聴者のための番組作りができるところなんだって。民放だとどうしてもスポンサーや視聴率を気にしがちになってしまうそうです。でも、最近の視聴率は本日放送が上位を占めてたような気がするから、ちょっと皮肉です。私たち視聴者の目がシビアになってきたのかもしれない。そもそもテレビ自体あんまり見なくなってきたような気もするし。本日放送は、インターネットとの融合も試みていて、十二月から有料で、オンライン上で一部コンテンツを配信するらしいよ。私の意見を言わせてもらおうと、本日放送だけでそういう取り組みをしても、うまくいかないと思うの。だって無料動画サイトの方がコスト的にも便利だし、知名度もあるしね。アップルがやったように、放送業界全部を巻き込まないと駄目だと思うなあ。なんて、ちょっと偉そうなこと言ってごめんなさい。(笑) 最後に回ったのはエムビーアイコンサルティングです。途中からしか聞けなかったから、詳しいことは分かんないけど、パンフレットならあるから欲しい人は言ってください。エムビーアイコンサルティングの特徴は、バックにエムビーアイっていう大企業があるから、そこで実験的なコンサル業務ができる点にあるみたいです。内定者の人も来てたんだけど、とにかく底抜けに明るい感じの人でした。資格を取るのが趣味なんだって。なんか、高尚な趣味で頭が下がっちゃいました。(笑) 報告はこんな所です。 二条院君。なんだか誉められてるみたいで、嬉しいやら恥ずかしいやらです。ありがとう。アルバイトは、イタリアン料理のお店で働いてます。チェーン店だから、二条院君も食べたことがあるかもしれないね。新しくアルバイト始めるなら、ちょっとだけアドバイスしてもいいかな? 面接の時に、そのお店で働いてる人たちがどんな人なのか、しっかり見ておいた方がいいかも。人間関係とか結構大事だと思うから。お節介なこと書いちゃいました。 じゃあね。バイバイ。(追加)

二条院 就活情報掲載ありがとうございます。麻美さんの報告はわかりやすくありがたい。後の後輩たちにも良き影響を与えることでしょう。イタリアン料理のお店とはお洒落ですな。麻美さんに接客される民衆はさぞかし幸福な満腹を堪能することでしょう。それにしてもそのアドバイスは少し気になりますな。何か人間関係でいざこざでもあったのでしょうか? 俺でよければ相談乗りますぞ。 以上です。(追加) 谷本直毅 ディー・ケイ・ツー追加情報。人事の人と雑談したんだけど、ここはほんとフラットな会社で、社長のことも、さん付けで名前呼んでるんだって。だから、若いうちから活躍してる人もちらほらいて、二年目にして一人で大きなクライアントさん抱えてる人もいます。俺個人の意見としては、若いうちから自由に活躍するならここがいいと思う。またもや広告業界に対する印象がよくなった。商社と広告が俺の中での双璧だ。それにしても、ここの人事の人も自己分析は入念にしとけと言っておったよ。そろ

そろ本腰を入れて取り組もうではないか諸君。依然として情報求む！　ところで二条院。　もっと遠まわしに聞けよ。乙女の心はガラスだぞ。　十一月二十日　中林洋平　双目(そうもく)と豊名通商のグループワーク行ってきたよん。谷本が明日行くらしいから、詳しい内容は書かないね。べつに書いても影響ないと思うけど、谷本は嫌なんだって。だから、俺なりの反省点だけ書いておくよ。グループワークは、二つとも、商社のビジネスをモデルにしたチーム対抗戦だった。勝敗は最終的な利益の総額で決まるの。双目の方は、戦略を立てずに交渉を始めたところが反省点かな。優勝したチームはかなりうまいこと動いてたからね。豊名通商の方は、詳しいこと言えないけど、安い分野ばかり買ってたのが反省点。もっとリスクを取りながらハイリターンを狙わないと上位は取れないね。あとは、ルールを完全に把握してなかった点かな。里央じゃないけど、資料の読み込みはホント大事だね。谷本も明日頑張れよ。　自己分析の件だけど、とりあえず俺なりに情報集めてみました。言うまでもないけど、一番大事なのは学生時代に頑張ってきたことをちゃんと語れるようにしておくことらしい。あとは、自分が将来どうなりたいのか考えて、何で自分はそう思うのかってことを自分自身に問いかけ続ける。その中で、過去の自分の体験とか経験を振り返りながら、自分の「行動原理」を見つけ出せばベストだって。いきなり将来の夢を考えるのが難しい人は、自分が楽しいと感じるのはどういうときなのか、自分がつまらないと感じるのはどういうときなのか、っていうことから始めるといいそうです。志望企業とか業界が決まってるなら、その企業で自分の能力をどう生かせるのかってことも考えておくべきらしいよ。先輩いわく、自分を売り込んでなんぼらしいです。こんな感じでよかったかな？

十一月二日　笠井　ピーソニックとエスニーのパネルディスカッション行ってきたんだが、どうしよう。　確かに二つとも最高の企業なんだ。電機メーカーで働きたいと思ってる俺にしてみれば、これ以上ない二社と言える。グローバルだし、風通しがいいし、個性を大切にしてくれるし、何より社員の人たちがとても格好いい。日本を代表する企業だから働くことに誇りを持つことだってできるだろう。面接だって、学生時代に自分が主体性を発揮して夢中で取り組んだことを中心に聞いてくれるそうだから、俺という個人をしっかり評価してくれそうな印象も受けた。でも、だが、しかし。学祭の後に残ったこの空虚な気持はなんだろう。内定欲しくてたまらん二社を前にしても心が落ち着かないこの感覚は何なのだ。己とは何ぞ。　十一月二日

田中麻美　笠井君。私なんかじゃアドバイスも何にもできないけど、自分自身と対話し続けることが大事なんじゃないかって思います。笠井君も、自己分析一緒にやろうよ。中林君。自己分析についての情報を集めてきてくれてありがとう。私が聞いたところによると、ただ頭で考えるだけじゃなくて実際に手を動かしながらノートに書き出してみると効果的だそうです。だから、ちょっとだけ書いてみるね。私が楽しいと思う瞬間は、友達とおしゃべりをしたり、学祭みたいにみんなで協力しながら一つのものに向かって進んでいる、そんな瞬間です。だから私はチームを組みながら働ける環境にいたいし、自分のコミュニケーション力が試されるような仕事に就きたいです。つまらないなあっていう瞬間は、正直なところあんまり浮かんできません。目の前に何かあったらそれに向かって一生懸命になっちゃうタイプだからかなあ。もしかしたら、立ち止まって考えることがあんまり得意じゃないのかもしれないかも。もっと客観的に考えられるようにならなきゃ駄目だなあ。ちょっと発見です。(笑)　話が変わるんだけど、二条院君が私のこと心配してくれているみたいです。心配かけてごめんなさい。大丈夫です。私は元気です。(笑)

）でも、少し困ったことがあるというのも本音です。あんまり経験したことがないことなので、私だけではどうすればいいのかわかりません。この前、里央たちに相談した時には、セクハラだって訴えればいい、と言われてましたが、メールがたくさん送られてくるだけでセクハラというのは、私の中でどうかなって思っちゃうんです。今のバイトはかなり気に入っているので、できればやめたくありません。どうするべきか、正直、悩んでいます。もし、いい案があったら教えてください。なんだか悩み相談みたいになっちゃいました。ごめんなさい。（追加）

二条院 麻美さん。相談に乗りますとも乗りますとも。良き案を呈するつもりですが、何分情報不足が否めません。もしよければ、もう少し事の詳細を教えてください。以上です。十一月二十五日

谷本直毅 六か月遅れの五月病大根は無視して、九紅の商社体感セミナー行ってきました。内容は、書面での情報をもとにした投資ゲームって感じかな。バリューチェーンをいかに構築できるか、みたいなやつ。俺なりに過去の反省点を振り返りながら臨めたせいか、俺たちのグループは二位という成績を得ることができた。やっぱ二、三步先読みしながら戦略立てるのはめちゃくちゃ大事だな。他のチームが俺たちの予想通りのアクションを起こした時の痛快さって知らないぞこれ。今日から俺は先読みの達人だ。セミナーの終りがけに九紅のビジネスについて少しだけ紹介してくれました。なにやら、電力事業とか穀物分野が得意らしいぞ。んで、今後は水事業にも力を入れていくそう。発電時にそのエネルギーを利用して、海水を真水に変えるんだと。効率的だな。あと、紙・パルプの分野がめちゃくちゃ強いらしい。既にバリューチェーンを構築してるから他者は寄せ付けないそう。ペーパーレスの世の中になった時どう対処していくのか見ものだな。一寸先は闇だ闇。マンホールに落ちるなよ二条院。ところで皆さん、マンホールのふたはなぜ丸いのでしょうか？ 九紅は独自の収益指標を持っていて、その指標に照らし合わせながら新規ビジネスを開拓するかどうかの判断をしているらしい。過去の失敗を教訓にしているそう。 「正・新・和」をモットーに、公正明朗、経済社会の発展に寄与する会社だとおっしゃってました。毎回言ってるような気がするが、俺はやっぱ商社に行きたい。世界中を飛び回って人の役に立つ仕事がしたいのだ。その中で幅広い人脈づくりもできればいいと思う。やっぱいろんな文化の価値観に触れてみたいからな。じゃなきゃ俺自身本当の意味での成長は出来んと思ってる。俺が就職に期待することは自分を成長させてくれる企業であるかどうかだ。それは英語力とか分かりやすい能力でもいいし、交渉力とかコミュニケーション力とか目には見えにくい能力であってもいい。できれば両方だ。俺が今の大学を選んだのだから、この大学なら自分自身を成長させられると判断したからにはほかならない。もちろん偏差値とか自分の学力に適してるかどうか、つまり、浪人しないかどうかっていうことも大切だった。でもやっぱりこの大学なら自分を高めてくれる人間が多だろうと判断できたから、俺は今こうして就活体験を記しているわけだ。だから俺は自分を高めてくれる企業に入りたい。そういう意味で商社がベストなんだ今のところ。実際に働いている社員さんの話を聞いていくうちに、いや、むしろ、話して下さる社員さんの雰囲気に触れれば触れるほど、やっぱ俺商社行ってえ、って思うのだよ。集団としての力量もさることながら、一人一人個人としての力量、まあ、人間力ってやつかな、これがすごいと思うんだ。はあ、何か俺、ただ憧れてるだけなのかもしれんよ。憧れすぎていろんなフィルター介しながら就活してるのかもしれないと思ってきた。俺のコアって何だろう。成長は間違い

ないと思うんだけどな。何だろな。個性的でありたいというのも一つかもしれんな。まあ、個性的というとなあれだが、要は埋もれたくないってやつだ。自分にしかできない仕事を持ちたいもんだね、いつか。自己分析とは底なし沼なり。ラーメン食ってくる。（追加） 田中麻美 自己分析ってほんとに底がないよね。ここまでで終わり、みたいな境界がないから難しく感じちゃうのかも。でも、行きたい業界が決まってる谷本君がちょっと羨ましいです。私はどの業界に行きたいんだろう。なんだか最近授業に集中できません。 二条院君。相談にのってくれるみたいで、ありがとうございます。もっと詳しい情報を話せるといいんだけど、正直なところ、これ以上詳しい情報がないんです。メールがたくさん送られてくるだけなの。「今何してる？」とか、「今度遊びに行こうよ」みたいな内容のメールです。だから、全然セクハラじゃないの。私をもっと社交的な人だったら全然気にしなかったのかもしれませんが。だから最近、私が悪いだけなのかもって思い始めました。そう思い始めたから、この前、思い切ってそのバイト先の先輩とご飯食べに行ったんです。先輩が何度も誘ってくれてたし、私ももっと社交的にならないと駄目だなあって思ってたから。バイト終わりだったから、お酒も少し飲みました。私、お酒飲むとすごく楽しくなるんだけど、その時は全然楽しくなれなかったの。なんだか先輩に悪いことしたみたいで少しへこみました。でも先輩は、全然そんなことないって、メールで励ましてくれたんです。楽しくなれなかったのは自分のせいだって。だから、今度お詫びにご飯作ってあげるって誘われました。先輩はペロンチーノが得意だそうで、どうしても私に食べてもらいたいのだそうです。最近は前にもましてメールの量が増えました。先輩は私への善意でご自宅に誘ってくれているにもかかわらず、なんだかあまり乗り気でない自分がいたりします。社交的になりたいんだけど、社交的になれなくて悩んでいます。今こうやってノートを書いているうちにも、先輩からメールが届きました。「たかの爪二本でも大丈夫？」だそうです。先輩はバイト中にもかかわらず私のことを心配してくれているようです。本当に申し訳なくて、自分のことが嫌いになりそうです。（追加） 二条院 なるほどなるほど。ペロンチーノの得意な野卑から大量メールが送られてくるわけですね。しかし、まず最初に言っておかねばならんのは、麻美さんはすでに十分社交的であるという事実です。サークルで学内を駆け回り、ゼミにて活発に議論を交わし、空き時間をバイトで埋め尽くす貴女を社交的と言わずなんという。さもなくば、俺たちなんぞは米粒です。後輩から慕われ、俺たちや先輩からも頼りにされる麻美さんは模範的な社交的女子ですぞ。もっと自信を持ちなされ。それにしても、不味い酒を飲ませたお詫びにペロンチーノをご馳走したいと自宅へ招待するその猿はなかなか律儀なやつですね。手作りというところがなかなか好感。ちなみに俺は肉じゃが作れます。日本人なら和食です。今度作って差し上げようか？しかし大量メールとなるとなかなか厄介ですね。腱鞘炎も心配ですし。湿布なんかは我が家の押し入れに大量にありますから、欲しければ言ってください。風呂敷に包んでもっていきます。そのほか有効な手立てと言え、メールアドレスを変更してはいかがでしょう。ペロンチーノ職人ごときが麻美さんのアドレスを知っていること自体不愉快極まりない。身の程をわきましろ身の程を。俺が教えておる中坊曰く、「メアドの切れ目は縁の切れ目」だそう。明確な意思表示になりますぞ。それにしても、鷹の爪二本集めて何をなさるのか？ 猛禽(もうきん)保護団体から抗議文が届いたりせんのですか。その男、野鳥の会の敵である！俺はその辺のことが心配です。ここまでアドバイスになりましたでしょうか。 以上です。（追加） 中林洋平 あさみん。

俺はその誘い断った方がいいと思うな。家に行くのはよくないよ。俺も、あさみんは、十分社交的でアクティブだと思うから、今何か不快感を感じてるなら、それはあさみんが悪いんじゃないくて、そのメールが原因だと思うよ。あさみんは、何でも一回自分の中で受け止めてから考える癖があるから、自分の感覚を信じて最初から拒絶することも学ばなきゃ駄目だよ。あさみんは素直すぎるから、なんかちょっと心配です。そして二条院。なんかいろいろ間違ってるぞ。（追加） 谷本直毅 俺も行かない方がいいと思う。その人と直接会ったことないから分かんが、なんかこう、下心の気配がプンプンしてきます。メールはゼミとか俺たちのせいにして、断ったり、無視すればいい。もっと俺たちを有効活用してくれてかまわんよ。俺たちは常にあさみんの味方です。ところで二条院。ペロンチーノ言うな。すこぶる卑猥だ。ペペロンチーノに謝れ。そしてパスタに土下座しろ。ついでに言うと、お前のアドバイスもどうかと思うぞ。アドレス変えたらなんか気まずいだろう。あさみんはまだその料理店でバイト続けたがってるわけで、そういうところも踏まえてアドバイスしてあげんと。相談の猛者が聞いて呆れる。とにかく、あさみん。何かあったらまた俺たちに相談してください。それでは。十一月二七日 谷本直毅

佐藤忠のセミナー行ってきた。前に一回見ていたから雰囲気はなんとなく掴んでいたんだが、やっぱりその時と印象変わらずと言ったところかな。とてもアクティブで素敵だ。プラン、ドゥー、チェック、アクト、の四拍子を大切にしている、自由闊達、風通しがいい企業だそうだな。なにやら、「一対一では負けない戦う集団」というのを目指してるらしい。完全に体育会系のノリだな。コミュニケーション力とかトラブル対応力が大切なんだと。なにより誇りとプライドを持って働いてほしいとおっしゃってました。うん、カッコイイ。地域的にはアジア、中でも中国、そして北米に強いそうです。今後はロシアとかインドにも積極的に進出していきたくて説明してた。若い社員に大きな仕事を任せて失敗から学ばせる、なんてことも多々あるみたい。あと、入社してから配属された最初の部署は三、四年くらい担当して、その後はカンパニー内で移動することが多いそうです。ちなみに、佐藤忠はカンパニー制をとってます。スピード重視なんだろうね。ところで最近、五月病的病にかかっておる笠井の頭がモシャモシャなのはなにゆえか。芸術家にでもなるおつもりか。下手なことは言わんからやめておけ。芸術家がモシャモシャだというのは、そりゃ偏見だ。形から入る姿勢は否定せんが、お前の芸術的センスは否定してやる。悩んでるんだったら言ってみろ。きっと楽になる。（追加） 笠井 髪がモシャモシャなのは否定せんが、俺は別に芸術家になりたいわけじゃない。迷ってんだよ。人生という名の迷路に。俺は自分が何をしたいのかよく分からんくなってきた。メーカーの人の話を聞いても全然ワクワクせんのだ。今までなら社名を聞いただけでも心躍ったというのにどういう心変わりだこの野郎。ただ単にメーカーに興味がなくなっただけかと思ひ、他の業界の話も聞いたんだがてんで駄目。てんで駄目だが、ユニーククロージングの説明に来てたオービーの人は絶世美人だった。おかげで内容覚えちゃいない。就活にかこつけて瞳の奥まで見つめてやったぞ。それにしても最近では劇団の稽古にまで支障が出てきた。これぞまさしく就活ドツボ。俺の生活はすっかり就活色に染め上げられてしまったみたい。はようこのトンネルから抜け出したいものだ。十二月一日 山井里央 久々にノート書くよ～。里央だよ～。麻美にはちょくちょく連絡してたんだけど、実はうち、今、ビー・アンド・シーの選考受けてるんだあ。秋選考っていうらしいんだ

けど、予想外に順調です。時間できたから報告するね。 ビー・アンド・シーは、まず、正式エントリーするとき、性格テストとへんてこな図形問題を解かなきゃだめなの。サクセス・ドライバーズ・アセスメント、リーズニング・スクリーン・テスト、っていう名前の独自テストです。パソコンで受けるんだけど、全然テストって感じじゃないから心配なしだよ。ただ、図形の方は対策問題集みたいのがあるらしいから、やっというて損はないかもです。うちはそんなのあること知らなかったから、何もしないで受けちゃいました。こんな私でも通ったから、本当に心配ないと思うよ。それで、このテストを通過すると、次は筆記試験です。うちは十五日に受けたよー。内容は、たぶん、SPIってやつです。試験官によると、ビー・アンド・シー独自の問題らしいんだけど、あんましそんな感じじゃありませんでした。SPIやっとならば大丈夫です。図形問題もあったけど、全然気にする必要ないと思う。普通に落ち着いてやれば解けちゃうよ。だって、うちでも出来たんだもん。 筆記に合格すると、次の選考の予約する時に、エントリーシートみたいなのがダウンロードできるようになります。サプリメントデータシート？ みたいな名前だったと思う。そこに志望動機とかを書き込むの。そうだ。書き忘れてたけど、ビー・アンド・シーは職種別採用だから、筆記の時に志望職種を五つくらい書いて、それぞれの職種から合格通知が届くんだよ〜。ちなみにうちは、マーケティングと営業から合格もらいました。超嬉しかったよー。だからエントリーシートはマーケティング用と営業用の二つ用意して次のステップに進んだんだよ。 次のステップからは職種別に行われるんだけど、うちの場合は両方ともグループディスカッションと面接でした。面接は、個人です。昨日受けてきたんだよ〜。ホカホカの情報お送りしてまーす。(笑) ケースワークは、セミナー行っというてよかった、って感じでした。自分なりに口を挟めたと思う。一グループ十人くらいいたから、しゃべれない人はホントに一言もしゃべれてなくて、ちょっとかわいそうでした。うちも、話し振ってあげる余裕なんてなかったから、後味はあんましよくないなあ。殺気立ってる人もいたから、正直、怖かったです。(涙) この後に面接があって、グループワークの感想とかを聞かれました。私の場合はデータシートに沿っての質問ばかりだったから、困ったりするような質問は無かったよ〜。最後は、「何か聞きたいことある？」と言われて、私から質問して終わりました。すごく雰囲気良かったから、通ってるといいなあ〜。結果は十二月上旬にわかるから、もうすぐです。毎日ドキドキだよ。今は何をしても落ち着かないの〜。二条院君も受けてるのかなあ？ 笠井君。うちは、舞台上で演技してる笠井君が一番かっこいいと思うよ。なんか、うまいこと言えないけど、演劇だけは嫌いになって欲しくないなって思います。 今日はこちらでお終い。ドキドキ里央でした。 (追加) 二条院 山井さん。俺も受けましたぞビー・アンド・シー。しかし、性格診断で落ちました。俺には向いておらんかったようです。性格が向いておらんのだから仕方ない。入社してもストレスたまるだけならこっちから願い下げ願い下げ。山井さんは英語ができるから受かるかもしれませぬ。俺も留学してればなんとかなったかもしれませぬ。されどもはやそんな時間もない。健闘を祈ります。 以上。

第二章 『自己分析と、他己分析と、ジャイアンムービー』

十二月四日 谷本直毅 笠井、まだ怒っておるのか？ メールも電話も出てくれんからお前が縄紐購入しとらんか心配になってきた。コンビニの店員に、「お願いですからコンビニエンスなストアに縄紐だけは置かんで下さい」と頼んだら、「そんなもん最初から置いてません」と言われたよ。日本国は何と安心安全な国家なのか。少しだけ日の丸弁当の高感度が上がったぞ。そんな弁当片手に俺は東京損保のセミナーに行ってきた。まずは十一年目の社員さんの話を聞いた。なにやら十年で三つの部門を経験するのが基本らしい。保険の内訳としては、六割くらいが車で、海運は七%程度なんだと。こりゃ間違いなくリーメンショックの影響受けるぞ。損保業界の先行きが楽しみだ。仕事のやりがいは、お客様に接してニーズに直接触れられる点、チームワークを感じられる点、お客様から感謝を与えられる点。辛かったことは、お客様に認めてもらわなければならんから、経験と知識、相手企業の理解、など様々勉強することがある点、仕事の性質上ミスが許されない点、を挙げてらっしゃった。もちろんその分やりがいもあるそう。この人が東京損保を選んだ理由は、リーディングカンパニーであること、自由闊達な社風が気に入ったこと、なんだと。なんか、どこの企業も自由闊達というフレーズが出てくるのは気のせいかな？

もしや今年の流行語か？ お次は二年目の人事の女性社員さんに話を聞いた。利益のためでなく国益のために働けることが魅力的だと言っていました。企業目標として今後十年で収益三倍を目指すとおっしゃられておったが、そいつはたぶん無理ですぞ。下方修正必至です。学生ながらにそう思った。福利厚生はどこでもそうだがしっかりしてる。女性にも、少しでも長く働いてもらいたいというスタンスらしいから、働く環境としてはいいんじゃないかな。あとは、面接で何を見ているのかということも教えてくれた。取り組んだことや成績の大小ではなく、物事に対する取り組み方と考え方を見てるそうだ。入社してから仕事ができる人なのか、社風に合ってる人なのか、ということを考えながら選考してるんだって。学生には、自分が活躍できるフィールド、自分ができると、を考えてきてね、とおっしゃっていました。具体例を織り込むと説得力が出るそうです。みなさん、積極的に参考にしましょう。なお、自己分析は必須だそうです。 今日の話聞いて思ったんだが、笠井、お前このまま就活本番に突入しても、たぶんどこも受からんぞ。俺が言うのもなんだが、企業が新卒採用に臨む姿勢ってのは、なかなかシビアだきつと。おまけに今年はリーメンショック。もしかしたらお前のトンネルベクトルはマントルに向かって直進しておるのかもしれない。気付いた時には何もかもなくなるとるかもしれないわけだ。爆発するなら今しかないぞ。俺たちやべつにお前がどうなろうが知ったこっちゃない。いい意味でも、悪い意味でも、人は人だ。だから、お前が暴れようと気になんてせんさ。出すもん出しとけ。吐くもん吐いとけ。そしたらきつと地盤が固まる。どんだけ奇形だろうが驚きやせんせん。火噴いて地固まる。金ゼミ幹事より。（追加） 笠井 言いたいこと言ってくれるじゃないか馬鹿幹事。山井もありがとう。選考頑張れよ。俺だっていろいろ吐き出したんだけど何を吐き出せばいいのか全然分からんのだ。役に入り込むのは得意でも、自分を客観的に見つめるのはあんまり得意じゃないらしい。今は悩むことしか出来んのだよ。これもまた青春であり人生なのだと粛々と受け止めるしかないな。時間が解決してくれるようなものだとは思わんが、時間がなければ解決できん

のもこれまた事実。いずれにせよ俺はちゃんと前向いてるから、本番までには解決してみせるさ。俺は俺を裏切らない！ 十二月五日 山井里央 今、ビー・アンド・シーの選考結果見ました。落ちてた……。めちゃくちゃショックです。マーケも営業もどっちもすごいい雰囲気面で面接できたのに。ケースワークだって自分なりに頑張ってる、手ごたえもあったのに。なんでダメだったのか分かんないよお。全然分かんない。もう、イヤだよ〜。自分の全部を否定された気がするの。だってそうでしょ？ 筆記通ったってことは、後は人物評価で判断するってことだよね。だったらなに、うちは人間的に魅力がないってこと？ ねえ、どうなの？ 面接官の人もすごいい感じで面接してくれてたよね？ あれは嘘だったの？ 嘘つきなの？ みんな嘘なの？ 最後に逆質問させたのは、うちにもう興味無かったってこと？ うちそんなに魅力がない人間ですか？ 必要ない人間ですか？ 分かんない。もうなんにもわかんないよ……。就活が怖い。面接が怖い。面接官が信じられません。面接官の笑顔が怖い。自称弱小サッカーサークルのエースさんへ。何でこういう時に電話でてくれないの。メール返してくれないの。教室にいないの。大学にいないの。愚痴聞いてくれないの。心配そうな顔してくれないの。大丈夫だよって言うてくれないの。励ましてくれないの。気分転換だよって買い物連れてってくれないの。たまには里央のそばにいてよ……。十二月六日 田中麻美 みんなの言った通り、この前の件は断りました。せっかくのお誘いをメールで断るのも悪いと思ったので、バイトの時に直接言ったの。そしたら先輩、「何で？ いいじゃん？」って何度も繰り返してきて、「家が駄目なら映画はどうよ？ 映画ならいいでしょ？」って言うてきたんです。これ以上断り続けるのもなんだか悪いような気がして、映画ならまだ大丈夫かなって思ったから、映画と一緒に観る約束をしました。約束の日は昨日でした。赤い観覧車が目印のファッションビルの前で待ち合わせをして、映画を観たんです。暗い雰囲気の映画だったので、館内が真っ暗になることも数回ありました。お話が中盤に差し掛かったくらいの頃合いだったと思います。先輩が私の肩に手をまわしてきたんです。私、びっくりして先輩の方を向いたら、「びっくりした？」って先輩笑ってました。私はどうすればいいのか分からなかったし、大声出すのも恥ずかしかったから、何もなかったかのようにスクリーンの方に向き直りました。私の動きに合わせるように、肩にある手ももぞもぞ動いたので、先輩が手をどかしてくれるのだと思いました。でも、違いました。

先輩の手はもぞもぞ私の背中を移動して、私の腰というかお腹というか、すごく微妙な位置で手を止めたんです。そこからちょっとずつ変な感覚が近付いてきたので、私は席を立ててトイレに行きました。正直すごく嫌だったけど、また席に戻りました。先輩は、「じょーだん、じょーだん」と言っていました。さすがに私もこれ以上一緒にいるのは嫌だったので、映画が終わるとすぐに家に帰りました。そしたら携帯の着信音が鳴って、「今日のお詫びに、今度のバイト終わりにでもカラオケ行こう」というメールが届きました。このメールには写真が添付されていて、私が先輩を待ってる時の写真や、いつ撮ったのか、私と先輩が同じ画面に写ってる写真がありました。メールの終わりには、「もしかしたらバイトの奴ら、勘違いしちゃうかもね〜」という一文が添えられています。前にも書いたけど、私は今のバイトを辞める気はありません。それに、ここで辞めたらなんだか負けた気がします。だから、先輩の誘いに乗ってカラオケに行こうと思います。そこで言おうと思ってます。私は先輩が嫌いです、もうメールとか送るのやめてください、って。こういうの、自分の中にためとくとよくないと思ったので、書きました。なん

だかスッキリした気持ちです。そして、ちゃんと決心できました。私、負けません！（追加）

二条院 いやはやその男とんでもない野卑ですな。つまりは映画館の暗闇に乗じて麻美さんに二人三脚を仕掛けたと。これはけしからんけしからん。二人三脚とはこりゃもう立派な共同作業であり、共同作業は夫婦最初の作業でなければならんわけで、夫婦たるためには相思相愛でなければならんわけで。こりゃもう二人三脚とは通過儀礼をイチャイチャ通過するための儀式なわけです。それを猿の一方向的な好意で麻美さんを巻き込もうとはいい度胸。おまけにカラオケ的ボックスに誘うなんぞ笑止千万。俺のサダマサシで返り討ちにしてくれる。麻美さん。俺も一緒に熱唱してもいいですか？（追加）

中林洋平 あさみん。昨日は俺の隣でお姫様が不機嫌そうな顔しててごめんね。あいつはあいつであさみんのこと心配してるから、変な風には取らないでね。昨日見せてもらった男からの写メだけど、一枚は、「俺たち付き合ってるんだぜ」みたいなことを言いふらすつもりで、もう一枚は、「この女、尻軽なんだぜ」という根も葉もないゴシップを流そうとしてるんだと思う。あさみんがナンパされてるところをあえて撮影するその男の神経が理解できないね。だいたい、あの赤い観覧車の辺りは、ホストみたいなやつらがうようよしてて、あんまし治安がいいところじゃないだろ。そんなところであさみんを三十分も待たせるなんて。全然あさみんのこと考えてない最低の男だよそいつは。映画だって、あさみんが嫌がってるにもかかわらず強引にホラーを選んだところがいやらしいね。館内でのことだって、卑怯極まりない。ポップコーンのキャラメル味と塩味をそれぞれLサイズで購入して、それを二つともあさみんに抱えさせてたんだって。ポップコーン二つも抱えてたら抵抗できないじゃん。あさみんが何もできない状態にしておいて、触ろうとするなんて、男じゃないよ。恥の塊だね。あさみん。昨日も言ったけど、カラオケボックスには行っちゃ駄目だよ。バイト終わるのって夜でしょ？ 危ないってマジで。せめて他のバイトの人も誘うとかした方がいいって。場所さえわかれば、俺たちがほかの部屋で待機してるから、ホント一人はダメだって。あさみんにメール送っても返ってこなくなったのでここに書きました。頑固さんもほどほどにしないと怪我するぞ。正直、すっごく心配です。返事ください。十二月七日 谷本直毅

ここ二、三日で色々あったようすな。今俺が言えることと言えば、あさみんの件は俺も力貸すぞってことくらいでしょうか。この雰囲気ですら就活日記をするのもあれだが、就活日記こそがこの体験記を始めたきっかけである。ということで臆することなく綴るとしよう。積友商事と二井物産のセミナー行ってきた。両方とも現役社員の話をして直接聞けるやつ。少人数制で実に満足だった。積商の方では三人の社員さんの話を聞いた。まずは自動車の担当してる人の話。輸出する手続きとかそういう煩雑な作業を自動車メーカーの代わりにやってるんだって。エクセルの作業が多くて辛いとぼやいてました。働く中で、外部の人と接する時間と数字と格闘してる時間は五分五分だそう。もうちょっと人と接しながら働ける部門に行きたいなってのが俺の本音です。でも、仕事や取引が完了した時の達成感はハンパないって言ってました。出向して上の方の地位にいるからなおさらだそうです。責任感との格闘だそう。二人目はメディアと流通を経て人事をやっておられる方の話。積商は映画関係もやっているという話を耳にしていたので聞いてみた。社員さんいわく、やることはやってるらしいのだが、映画を買い付けてくるのは子会社の人たちなんだと。積商の人たちは、その管理をしているだけだから、メディアは結構地味だよ、とおっしゃってました。こ

の人が積商に入ろうと思った理由は、オービーが素敵だったからだそうだ。他の商社からも内定もらってたそうなのだが、どうせ働くなれば気が合う人が多い所がいいと思ってここを選んだんだそう。長いこと働いてるけど、当時と印象変わらないからいい人間がたくさんいるよ、と言っていました。失敗とかしても上司が責任とってくれたりするらしい。人間的にデカイ人が多いんだと。三人目は航空宇宙の社員さんで、見るからにアメフト部って感じの人でした。航空宇宙はたまたまだが、体育会系の人が多いそうだ。毎日飲み会らしい。この人はまだ若めの人だったから、仕事の話というよりはプライベートな話が多かった。だから割愛します。誠真誠意を合言葉に、全体的に元気いい人が多かった。明るい人が多くて好印象です。お次は二井物産。「挑戦と創造」を頭上に掲げ、社会に新たな価値を創造しようと日々奔走しておられる方々だ。「人が仕事をつくり、仕事人が人を磨く」とも言っていたかな。ここでは二人の社員さんの話を聞いた。一人目はコンシューマ・サービス部門で働いてる人でした。この人はもともと外銀行きたくて、内定ももらってたんだが、ためしに受けてみた面接で二井物産に対して好印象を抱いたらしく、そのまま外銀蹴ってここに就職したんだと。二井物産を選んだ理由は、「人」だそうだ。商社の人みんなこういうよな。やっぱり流行語なのかな。仕事は、繊維の担当をしていて、産業内向けのブランド力だけでなく、生活者に向けてのブランド力をつけることが今後の目標だと語っておられた。ブランド力をどの層に向けて発信するのかというブランディングの興味深い話も聞けてかなり満足だった。二人目は穀物の流通を担当してる社員さん。個人的に食料部門に興味があったから、いろいろ質問ぶつけてみた。米を使ったビジネスの話とか、今後の農業のことについても議論することができた。改めて思ったが、日本の農業は課題山積だ。しかしそこにビジネスチャンスがあるはず。俺は諦めませんよ社員さん。それにしても二井物産の人たちは議論好きだなと思った。俺みたいな何も知らない学生相手でも本気で議論してくれる。結構ケチヨンケチヨンにされたが、全然嫌じゃない。むしろ、満足感の方がでかい。改めていい会社だと思いました。ところでところで。俺としては、この辺で、毎年恒例(らしい)金ゼミ諸君を対象とした、「年忘れクリスマス会」の開催を提案したいところなのだが、そんな雰囲気じゃないのかな？ まあ、場所はいつもゼミやってる教室でやるつもりだから、予約とかの心配はないんだけど、なんかこう、諸君があまり乗り気でない時に開くのもどうかと思ってさ。一応、開催日は二四日を予定してます。開催の是非、あるいは、参加の有無を伝えてくれるとありがたいです。メールでもここでもいいから教えてねん。それじゃ、みなさんよろしく。(追加) 田中麻美 谷本君。もちろん参加するよ。みんなで楽しく盛り上がりたいたいです。二条院君、中林君。心配してくれてありがとう。でも、私一人で何とかします。そうじゃないと、私、悔しいんです。自分でもよく分からないんだけど、こういうことには負けたくないです。どうか、こんな私を理解してください。十二月八日 谷本直毅 あさみんが参加してくれるみたいでなんかほっとしました。でも、あさみんしか返事くれないなんてお前らにしてはノリが悪いな。特に笠井。一人で悶々と考え込んだって出ないもんは出ないんだからあきらめろ。なんとなく便器に座った時のことを思えば、阿呆のお前でもわかるはず。だから悶々とするな。飲むぞ。そして吐いちまえ。お前は強制参加決定だ。今日は昨日に続いて商社デー。二菱商事のセミナー行ってきたんで書きます。食料部の中堅社員さんと三時間くらいしゃべってきた。忙しいはずなのに本当にありがたいことだ。最後の方は学生三人しかいなかったから、かなりフランクな会話ができたとする。

食料は三菱商事が強い分野の一つで、特に、水産、酪農、コーヒー、果汁が強いのだそうだ。川上の分野とアメリカにも強いとおっしゃってた。食品のいいところは売り買い両方できるところで、食べるのが好きな人ならだれでもできる、とか言ってたぞ。ちなみに商社の中ではこと佐藤忠が食料に強いのだそうだ。三菱商事はいい意味でも悪い意味でも慎重で、「どっちかって言うと腰が重い印象かな」とこの社員の方はおっしゃってました。新しいビジネスを実行するにしても説得させるべき人が多いんだと。でもその分慎重にリスクを見極めることになるから、企業としては安定した成長を遂げられるというわけだ。もちろんしっかりと練られたビジネスモデルならちゃんと通してもらえるから、要はその人の頑張り次第だとも言っておられたよ。いつでもどこでもどんなときでも物事は自分次第なんだなって改めて思った。未来を掴むためには今をコツコツ努力せにゃならんわけだ。帰ってから英語の勉強でもするとしよう。ところで笠井。一つ気になったんだが、前に書いてた、「役に入り込むのは得意でも、自分を―――」っていうのは冗談だよな？ いやあ、どうしても確認しときたくて。分かっていると思うが、お前は立派な大根だから心配するな。そこに疑いの余地はないから安心してくれていい。お前は三木森に対する愚痴を飽きもせんと日々吐露しておるが、三木森のお前に対する評価はあながち間違いじゃないから気を付けろ。お前がマントルに向かってトンネル掘り続けておる理由は、己を客観視できぬせいではないかとふと不安がよぎったので御節介さんしてしまった。気を悪くしたなら平謝りくらいはしてやるから泣くんじゃない。人生の鏡は百円ショップじゃ売っとらんから大人しく耳を傾ければいい。参考にするかせんかはお前次第だ。お前の人生、お前で決めろ。鏡よ鏡、鏡さん、世界で一番大根なのは、ハジメカサイ。おろしハンバーグ食ってくる。ほいじゃ。十二月十日 田中麻美 一昨日の夜、勇気を出して、アルバイト帰りにカラオケに行ってきました。先輩と私だけだったけど、繁華街は夜でも人がたくさんいてそんなに怖くなかったです。夜道でも全然暗くないのがすごく心強かったです。でもその割に先輩が入っていったカラオケ屋さんにはこじんまりしていて、私はずっと携帯電話を握りしめていました。店員さんに案内された部屋は、二人でもちょっと狭いかなって言うくらいの広さで、また映画館の時みたいなことされないか不安でした。私は言わなくちゃいけないことだけ手短かに伝えて、すぐに帰ろうと思ったの。だから、「なに歌う？」って聞いてきた先輩に向かって、私が言いたいことを思い切ってぶつけました。先輩は何も言わずに私の話を聞いていました。聞き終わると、先輩は煙草に火をつけて、「帰るんだったらワンドリンクくらい飲んでからにしなよ」と言いました。緊張していたのと、大きな声を出してしまったのとで、暑かったから、私はウーロン茶だけ飲んで帰ろうと思いました。言いたいことを言い終えていたので強気だったのかもしれませんが。とにかく、すごく清々しい気持ちでした。でも、やっぱり先輩と二人きりで狭い部屋の中にいるのは嫌だったから、私はトイレに行くことにしました。廊下の照明はちょっと暗めだったから、お酒飲んでないのに頭がぼんやりしてきました。トイレの鏡の前で、家に帰ったらすぐに寝よう、なんて考えていると、部屋に置きっぱなしにしてきたバッグのことがすごく心配になってきました。興奮しすぎてそういう細かいことを忘れちゃってたみたいです。部屋に戻るために廊下を歩いていると、グラスを二つお盆に載せた店員さんが私の前を歩いていました。その店員さんは女の人だったのですごく安心したのを覚えてます。やっぱり店員さんは、私がいた部屋に向かっているみたいで

、私は店員さんと同じタイミングで、もといた部屋に戻りました。そしたら、部屋の中には先輩しかいないはずなのに、他の男の人の声もしてきたんです。私の心拍数は一気に上がりました。そして、バッグを部屋に置き忘れてしまった自分にすごく腹が立ちました。私の前にいる店員さんが部屋のドアを開けました。それに続いて私も個室に入りました。咳き込みたくなくらい煙草の煙が充満した部屋の中には、四人の男の人がいました。そのうちの一人は先輩で、「タイミング悪いよ～、店員さ～ん」って言ってました。残り的人たちは、みんな知らない人でした。なぜだかみんなタンクトップです。とても失礼な言い方をすると、できれば知り合いになりたくないです、っていう雰囲気の人たちでした。「申し訳ございませんでした」と言いながら店員さんがウーロン茶をテーブルの上に置いているうちに、私は自分のバッグを探しました。幸いなことに、バッグはもとあった位置に荒らされた様子もなく置いてありました。私が自分のバッグを取ろうと男の人たちの前を横切ると、その人たちが、「ヒューヒュー」という意地悪な声をかけてきて、すごく恥ずかしかったです。そのうちの一人は、おしりを触ってきました。スカートをはいてこなくて本当によかったと思いました。私がバッグを掴むと、店員さんが、「失礼しました」って部屋を出ていきそうになったので、私は思わず、「ちょっと待って！」ってすがりつくような声を出してしまいました。あ那时的店員さん、ごめんなさい。そのままウーロン茶を飲むことなく、逃げるようにしてカラオケから出てきた私は、一目散に家に帰りました。最寄りの駅について、一人で歩くのが怖かったから、里央に電話しながら帰りました。里央、本当にありがとう。元気出してね。家についてからも、髪についた煙草の臭いがカラオケボックスを連想させたので、すぐにシャワーを浴びて、時間をかけて髪を乾かした後、ベッドに入りました。今までの嫌なことが全部終わった気がしてすごく気持ちよかったです。その後、先輩からメールが来ることもありませんでした。やっぱり思いきって言いたいことを言うのは大事なんだなってつくづく思いました。それから一日間を置いた今日、私は大学の図書館を利用しました。そこで気付きました。私の学生証がどこにもありません。普段はお財布の中に入れていて、最近を取り出した覚えもないから、どこかに置き忘れたなんて事あるはずがありません。一応、教務に行って落し物として届けられていないか確認してきたんだけど、学生証の落し物はありませんよ、って言われました。そうすると、心当たりは一つしかありません。先輩に確認してみたいけど、先輩の携帯に連絡を入れるのが嫌だった私は、バイト先に連絡をして、先輩がシフトに入っているかどうか店長に聞いてみました。そしたら私、泣きそうになりました。先輩はもうバイト辞めてました。さっき先輩にメールを送りました。向こうから送られてもないのに、こっちからメールするのは初めてのことです。そしたら、先輩の下宿先までの道案内付きのメールが返ってきました。本文には、「待ってるから」という一文だけが添えられています。恐いです。でも、学生証は取り返さないといけません。あれだけカラオケには行くなって言われてたのに、先輩の誘いに乗ってしまっでごめんなさい。みんな協力してくれるって言ってたのに、意地張って一人で何とかしようとしてしまっでごめんなさい。中林君に至っては、メールに返事すらしませんでした。ごめんなさい。全部自分がまいた種だし、みんなには全然関係ないことだし、これを読んでいるはずの後輩の皆さんにはもっと関係のないことだと思います。この文章を書きながら、私はどうしようもないくらい自分勝手だと思い、手が震えてきました。一人で騒いで、一人で苦しんでると思うと、馬鹿馬鹿しくて唇が震えてきました。私はこんな私を好きになれ

そうにありません。大嫌いです。こんな私だったらどうにでもなっちゃえって思う自分が頭の隅っこの方にいたりします。もう、いろいろぐちゃぐちゃです。でも、一昨日のタンクトップの人たちを思い出すと、一人で彼の家に行くことはできそうにありません。私は本当にわがままで、自己中で、臆病者で、最低な人間だと思えます。自分でも気付きました。わかっています。わかっているんです。でも、みんな以外に頼れる人なんていません。みんな以上に頼れる人なんていません。だから、お願いします。助けてください。（追加） 中林洋平 どうしようもないおばかさんへ。色々言いたいことはあるけど、そう言うのは全部飲み会の時用にとっておくよ。何よりあさみんが何もされてないことに安心したし、俺たちを頼ってくれること嬉しく思います。ノートに丸いシワつくってる暇があったら、いつ取り返しに行くのか日にちを教えなさい。さて、ここからは金ゼミの男児に向けて。聞くまでもないけど、お前らもついてきてくれるよな？特に三木森。お前は絶対に来い。というか、ついて来てくれ。お前がいるのといないのとでは形勢が明らかに変わってくる。俺たちが描くべき最悪のケースは、その男の家に他にも何人もの男が待ち構えてるっていう状況だ。もし、万が一、大事に発展してしまった場合を考えると頭が痛い。とにかく、こちらも人数を揃えれば何かと心強いことは言うまでもないはずだ。一応言っておくけど、俺は極力穏便に済ませるつもりでいるからそのように。（追加） 谷本直毅 あさみん、俺たちもついていくから安心してくれ。心強いかどうかは分からんが、人数多い方が不安も痛みも分散されるはず。みんなで渡れば怖くない！ところで、年忘れクリスマス会は二四日でもいいのか？先輩らが日にち教えろとやかましくてかなわんのだ。お姉さま方も、イヴに予定が入っているとなんか落ち着くそうだから、早く決めちまいたいというのがこちらの事情。お姉さま方をあんまりソワソワさせるんじゃない。というか、お姉さま方のイヴがフリーなのはなにゆえか。この大学の男どもの目は節穴節穴。もしくは、恋人はサンタクロース。俺の都合もあるから決定しちまうぞ野郎ども。（追加） 二条院 麻美さん。べつに謝る必要などありません。麻美さんは自分事を己で解決するべく奮闘したではありませんか。まずは自分で何とかしようという試み、世の中万人から評価されてしかるべきですぞ。昨今なにかあればわき目もふらず、まず他力を請い願う風潮が蔓延る中、独力独歩で現実と睨めっこしているその勇敢な姿に、俺は感涙ホルモンを分泌せずにはおれませんでした。俺の教え子たる中坊に麻美さんの爪垢でもたんまりと食わせてやりたいところです。あやつはすぐに俺の顔色をうかがうからすこぶる良くない。教師の顔に答えなんぞついておらんし、坊主に見つめられる趣味など毛頭ない。汗臭いガキの癖に、「恋愛方程式って知ってる？」と澄ました顔して恋路の方程式を説き出した時には世も末だと机上に突っ伏したのですが、麻美さんのような現実主義者が一人でもいるなら、きっとこの世は救われる。そして、麻美さんだけではどうにもならんようになってきた現状もこれもまた現実。目を閉じることなく向き合い続けた姿勢はあっぱれ称賛。こぼした涙はやっぱり本音。あなたの想い、伝わりました。上記二名。この青きプラネットから破廉恥を廃絶すべく俺も参加しよう。埋め立て処理も辞さない覚悟である。臀部に触れた野卑に明日はない！メイドさん姿にして夜な夜な駅前界隈を徘徊させてやろう。そして指名手配されればいい。行きつく果ては生き地獄。FBIに連行されちまえ。プラネット規模の変質者相手なら国境くらい越えてくれるわ！俺は自分で自分の怒り具合が恐ろしくなってきた。人体発火の二歩手前。指数関数張りに

増幅される我が怒りは、心頭に発することマグマのごとし。このままでは手元が狂う恐れがある。死人が出るといかんから俺は交渉役に回るとしよう。一人で四人分の戦力と言われるこの俺が戦に参戦できないのは残念だろうが、穏便に徹するためには仕方ない。千針を飲む覚悟で耐えとしよう。難しい小話を吹っ掛けられたら任せとけ。脳内超絶フル回転。舌の上でころんと転がしてくれようぞ。鳴らぬなら、鳴らしてみようか、そのラッパ。以上。（追加） 田中麻美 中林君、谷本君、二条院君。本当にありがとう。先輩には二二日に取りに来るよう言われています。これ以上は早くできないのだそうです。向こうには向こうの準備があるのかもしれませんが。でも、みんながいれば恐くありません。カラオケの時にいたタンクトップの人たちはすごくムキムキだったから、私も穏便に行くのがいいと思います。今は学生証が悪いことに使われないか心配です。先輩はそういうことには使わないと言っていました。信じるしかありません。みんな、本当に、本当に、ありがとう。十二月一日 谷本直毅 地中深くに潜り込むことを生きがいにしておる大根を引っこ抜いて、日経の就活イベントに行ってきた。ドーム球場で行われたイベントだったんだが、人の多さにびっくらこいたぞ。学内セミナーしか行ったことのない俺にしてみたら、就活やってる学生ってこんなにいるのかとちょっとクラクラしてしまった。たった一ドームであれだけの数がいるわけだ。日本全国で考えると途方もない数だなこりゃ。なんだか就活の恐ろしさを見たような気がする。さて、俺のお目当ては天通でした。芸術的な無造作ヘアをほどこした大根を抱えながら人事さんの話を聞いていたわけだが、やっぱり広告業界も面白そうですね。コミュニケーションをデザインするというところが無形でなんだか魅力的。技術力ではなくライフスタイルを提供提案していこうという姿勢もなんだかスタイリッシュだ。あとは、名刺の裏の色が自由に選べるとか言ってたよ。一〇〇色の選択肢があるそうな。どれにしようか迷っちゃう。求める人物像は、「個人はもちろん、チームでの作業も楽しめる人」「地道な作業にも情熱を持てる人」「多少の失敗では諦めない人」だそうだ。広告業界ではチームプレーもかなり大事だということを改めて感じました。チームプレーの経験も語れるようにしとかんと。 広告と商社を就活の軸に据えようと決意した俺の隣では、大根が、大根面して、大根垂らしながら、ピーナッツを食べてました。ピーナッツはピーナッツだけにしとけよ馬鹿野郎。飲食禁止という張り紙を目にしてないからっていい度胸だ。俺はそんなピーナッツ大根に感服して終始他人のふりに徹していたよ。それでも芸術的ピーナッツがあんまり目立っておらんかったのは、やつのベクトルがマントルに直進しておるからだろう。天通終わった後もいろいろ見て回ろうと思ったのだが、人が多すぎてやる気をそがれた。ここまで来てすぐに帰るのも何だったので、仕方ないからドームの休憩用観客席で二時間くらいボケっとしてました。そして気付いた。女子のスーツ姿は素晴らしい。あの絶妙な襟のたち具合は悶絶必死。胸元に目線が行けば即敗北です。だから俺は目線を下げんことに注力したわけだ。ところが俺の隣でジュース飲んでるピーナッツは卑猥な垂れ目でスーツを追いかけておるのではないか。俺はいろいろ心配してこやつを誘ったわけだ。マントルばっか見つめておったら視野が狭くなるから少しでも大海を見せてやろうと思ってさ。まったく、俺の良心を返してほしい。ピーナッツか大根か知らんが、まあ、元気になったのはいいことだ。もっと視野を広げてくれたらうれしいぞ。お前の今後の進路に活かしてくれればいいと思う。意を決して下に降りたら、あさみに会いました。その後は三人でまわったね。まわったって言っても東うしか見れなかったけど。でも、あさみの近況を直接聞けて

よかったです。なんか、思ったよりも凹んでないね。(笑) いろいろ吹っ切れたのかな。ポジティブなあさみらしくていいと思います。で、その時あさみんには言ったんだけど、中林と二条院。二二日は都合悪いから、俺、行けません。大変申し訳ない。土下座はせんけど許しておくれ。泊まりがけで奥飛騨にスキーしに行かねばならんだ。結構前から入ってた予定、かつ、俺言い出しっぺの旅行だから、ドタキャンするわけにはいかんでしょう。わかってくれ。わかってくれんでも、行けんもんは行けんのだから仕方ない。お前らにあさみん並みの理解力が備わっとらんだけの話だからあきらめろ。サルボボくらいは買ってきてやるからさ。ついでに業務連絡すると、年忘れクリスマス会の日程はイヴで決まりました。決定事項だからよろしくね。時間は一八時からいつもの教室です。教室と言ってもこの部屋は、もはや金ゼミ教室と化しているから、きっと誰にも怒られまい。角先輩が無駄にでかいクリスマスツリーを持ってきた時点でこの部屋の運命はきまってしまったのだ。お姉さま方が教室を素敵に大人デコレーションしてくれるそうだから楽しみにしとけ。それだけだ。ばいちゃ。十二月一七日 中林洋平 あさみんに吉報です。三木森をゲットしました。いや〜、なかなか苦労したよ。なにせコイツ授業出ないし、携帯途中で電池切れるし。いったい何年同じ携帯使ってたよって感じ。それにしても、ホントによかった。谷本が来られなくなった時はどうなることかと思ったけど、これで何とかなりそうです。三木森ゲットしたついでに天通の学内セミナー行ってきたよ。谷本がゼミの打ち合わせで来られなかったみたいだから、前回のと被らない程度に報告するね。まず、覚えて帰って欲しいと言ってたのは、「A I D M A」から「A I S A S」へと消費者の行動様式が変わりつつあるっていう天通なりの分析かな。最初の方は、アテンション、インタレスト、デザイン、メモリー、アクション、の頭文字をとったものだそうです。で、この行動様式は過去のものへとなりつつあって、今は、アテンション、インタレスト、サーチ、アクション、シェア、っていう行動様式に移り変わってるんだって。インターネット検索とか、ブログでの紹介みたいなのがこの変化の主たる原因みたいですよ。確かにアマゾンのレビューとかは、参考程度によく見るもんね。広告業界におけるインターネットの重要性は高まってきていて、四マス媒体って言われてる、テレビ、新聞、ラジオ、雑誌広告が軒並み売り上げを落としてる中、ネット広告だけは増益らしいよ。確かに最近、テレビとか見ないもんね。ラジオなんてもっと聞かないし。検索連動広告が強い理由がなんとなくわかった気がする。だから、天通もインターネットには強い意識を置いていて、今はクチコミになるような広告戦略に力を入れているそう。 「気になる」シーエムを作ったり、商品との接触機会を増やすようなキャンペーンを催してみたりね。とにかく消費者の気を惹く広告を作ることが大切なのだそうです。「自分ごと」に感じてもらうような空気作りに重点を置いてるみたいよ。あとは、知ってると思うけど、天通はスポーツ関連にダントツ強い。国内国外問わず主要な大会はほとんど天通がキャンペーンやってると思っても差支えないかも。オリンピックとかワールドカップとか。だから、スポーツ大会関連のイベントをやりたいなら絶対天通に行くべきだと思う。まあ、プレゼンの内容はこんな所でしょうか。説明終わった後に内定者の人と座談会みたいな形でフランクに話せる機会がありました。せっかくだから、三木森引きずりながら話を聞いたよ。もちろん内定者として、我らが金ゼミの乙女、堀先輩もいらっやいました。ホリ姉、三木森がセミナー来てることにびっくりしてた。就活とは無縁の男だと思って

たんだって。(笑) はっきり言って、正解です。俺が強引に連れてこなきゃ部室直行だったろうからネ。せっかくの機会にホリ姉の話ばっか聞くのももったいないから、他の人たちの話も聞いてみたんだけど、内定者に共通して言えるのは、みんな元気がイイってことかな。あとは個性もバラバラっぽかったから、こういう人が受かる、みたいな内定者像は浮かんできませんでした。社員さんの話の中にも、「あなたの個性を求めています」みたいなこと言ってたから、本当に個性的な人が多いのかもね。これはOB訪問の価値ありって感じでしょうか。はい。これで俺の報告はお終いです。話が最初に戻るけど、あさみんの件に笠井を引っ張り込むのは断念しました。あいつは只今鬱々真っ盛りだから、そっとしてあげようね。あさみんも、今は不安な気持ちでいっぱいかもしれないけど、俺たちがいるから安心してね。当日、最悪のケースでも、体張るから心配なしだよ。あさみんが辛い時は、俺たちだって辛いから。だから俺たちを頼ってくれてありがとう。言いたいことがあったら何でも言って。内側にためておくのは身体に毒だよ。(笑) 金ゼミ男児の合言葉。「あさみんのためならなんのその！」 三木森、サンキュー。

(追加) 自称弱小サッカーサークルのエースさんへ いい加減にしてよ。あさみん、あさみん、あさみんって、少しくらいうちのことも気にしてよ。会うときだって、いつも私の方から連絡してるじゃない。たまにはそっちから誘ってよ。うちにはいつだって、サッカーだの、野球だの、バイトだの、飲み会だの、いろいろ言い訳してるくせに、こういうときだけ空いてるんだね。いつもの理由は嘘なのかな。ただうちに会いたくないだけなのかな。私、分かんないよ。わかんない。分かんないから、はっきり言って。うちのこと、もうどうでもいいなら、早く言ってよ。辛いから。辛いから早く言って欲しいの。あなたのことで悩むのはもうお終いにしたいです。じゃないと、自分自身と向き合うこともできないから。全然できないの。知らない内に、私の中ではあなたの存在が大きくなっていました。それはうちにとって嫌なことではなかったから、むしろ、幸せで心地いいものだったから、気付かなかったのかもしれない。でも、面接で超へこんで、もう一回自分を見つめなおそうとしたとき、うちは自分自身を見つめなおすことができなかつたの。なんでだと思う？ 大きすぎるのよ。大きすぎるの。あなたの存在が。あなたの存在が私の全部になりかけてたの。それでもうちは、存在の大きさそのものが嫌なわけではないの。あなたの存在は、本当に大切だし、嬉しさの種だし、私を満たしてくれる幸せそのものだから。でも、でも。あなたが私のこと見てないって気付いた瞬間に、あなたの存在は重し以外の何物でもなくなって、息が苦しくなっちゃった。愛がなくても、重さって感じるんだね。あさみんと三人でご飯食べてる時も、あなた、うちのこと全然見てなかったよね。私のこと、隣にいる置物か何かと勘違いしちゃったのかな。ずっとあさみんの心配ばかりしてたよね。少しくらい私の話も聞いてほしかったのに。少しくらい慰めて欲しかったのに。私の考えてることはもう、あなたには伝わらないんだね。この前、一緒に帰ったとき、隣でうちが泣いてることに、あなたは気付きましたか？ 気付いてないよね。背、高いもんね。ミッキーと電話してたもんね。うち、あなたの邪魔にならないように、声出さずに泣いてたんだよ。えらいでしょ？ 少しは褒めてよ。少しだけでいいから。こういうこと考えてたらね、うち、自分のことが情けなくてしょうがなくなっちゃった。私、あなたに依存してたのかなあって思い始めたら、そこから先に進めなくなっちゃったの。私はあなたにいろいろ求めるけれど、あなたは私になんにも求めてないもんね。これってすごく不平等。うちばかり悩んで、あなたは、あさみん、あさみん、

って叫んでる。もう嫌になっちゃった。なんにもわかんなくなっちゃった。もうダメだよ。こんな関係よくないよ。麻美も麻美だよ。あさみは全部自分で抱え込んでる気でいたかもしれないけど、そんなの全然違うよ。もう十分みんなを巻き込んでいたんだよ。みんな麻美の心配して、みんな麻美のことばかり見て。べつにそれは悪いことじゃないの。だから麻美のことが嫌いになったわけじゃないよ。だってうちも麻美のこと心配だもん。本当だよ。本当。でも、彼だけは返してほしかった。彼だけは私の隣にいてほしかった。私のこと見ててほしかった。これって絶対、嫉妬だよ。ごめんね。麻美にこんなこと言っても仕方ないことはわかってるの。わかってる。わかってるんだけど、ここに書かなきゃ、うち、パンクしちゃうよ。もう一杯一杯なの。サッカーしているあなたが好きでした。野球をしているあなたが好きでした。バイトで忙しそうにしているあなたが好きでした。飲み会で騒いでるあなたが好きでした。常にみんなの中心にいるあなたが大好きでした。でも、今は、違います。サッカーしているあなたが嫌いです。野球しているあなたが嫌いです。バイトばかり優先するあなたが嫌いです。飲み会を理由に会ってくれないあなたが嫌いです。私のことなんて気にも留めてくれないあなたが大好きです。イブの日に約束してたユニバーサルスタジオはナシにしよう。もうダメだよ。行けないよ。チケット返すね。別の人と行きなよ。うちはゼミのクリスマス会に行くから気にしないで。もうなんにも気にしなくていいよ。気にしなくていいの。うちは、先輩たちにハグしてもらってから大丈夫。金ゼミの乙女はみ～んな、あったかくて、やわらかくて、やさしいんだよ。麻美のこと、頑張ってください。さようなら。十二月一八日 中林洋平 なんて言ったらいいのか分かりません。学校にも来てないみたいだし、電話にも出てくれないし、家にもいないから、ここに書くね。里央はきっと、読んでくれているよね。忙しいのを理由にして、里央に会えなかったのは事実だし、あさみの心配ばかりしてたのも事実です。それが里央を苦しめていたのも薄々気付いていたような気がします。それくらいのことなら、なんてことないのだろうと考えていた自分がここにいます。里央が俺の言葉を待っているのもなんとなく気付いてました。つらいんだろうなって思って見てたんだよ。でも俺、何も言ってあげられませんでした。どうして何も言わなかったのか。その答えはすごく簡単なことで、ただ単に、俺が卑怯な人間だったから。里央が何かに悩んでる時は、いつも俺のことを頼りにしてくれて、俺はそのことがすごくうれしかったんだ。だから、すぐに里央の要求に応えたら、そんな俺にとっての嬉しい時間がどこかに行っちゃう。そう思っていたんだ。それが、俺が里央のことを見て見ないふりしてた理由なんだよ。俺ってすごく卑怯なやつなんだ。デートの誘いを俺からしなかったのも、そうやって連絡しなければ、里央の方から誘ってくれるだろうと思っていたからです。たぶん、俺、里央に甘えてたんだよ。だから自分からは何もしなかったんだ。里央が何かしらしてくれるだろうって期待して。毎日忙しくしてたのだから、その方がかっこいいだろうって思っていたからだと思います。サークルやバイトは大切にしたいけど、飲み会の回数は減らせるものだったと思うもん。もっと時間をうまく使えることができたはず。今更こんなこと言っても、もう遅いのかな。色々言いたいことはあるんだ。でも、俺、うまいこと言えません。だって、俺の言葉や態度はいちいち嘘をつくから。今更何を言っても嘘っぽく聞こえるだろうし、今さら何を説明したって里央は納得してくれないと思う。だから、いや、でもね、これだけは覚えておいてほしいんだ。どうしても

、覚えておいてほしいんだ。俺はね、里央の隣じゃなきゃいやなんだよ。俺、うまいこと説明できないし、やさしい嘘もつけないし、プレゼント間違えるし、いざという時は態度も素っ気なくなっちゃうし、ホント、ろくでもない男です。でもね、これだけは言えるし、これだけはちゃんと行動に移せていたと思う。だって、これは俺の本当だから。里央の隣にいたいっていうのは、俺の本音だから。実際に里央の前にいる俺は、何を言うか分からないし、何をしでかすか分かりません。それは里央を困らせてしまうことかもしれないし、混乱させてしまうことかもしれません。でも、それでも俺は、里央の隣にいるはずだから。きっと里央の隣にいるから。だから、その時は、気付いてくれたらうれしいです。覚えていてくれたらうれしいです。里央の隣にいていう事実が、その事実だけは、俺の本音だから。最後に。気付いてたよ。里央が泣いてたこと。だって俺、里央の隣にいたんだもん。十二月十九日 谷本直毅 なんかもいろいろな大変そうで困惑です。たぶん俺の出る幕でないから何も言わんよ。明日から俺はこの大学からの逃亡をはかり、奥飛騨山籠りスキー合宿という名の旅行に行ってくるから、帰ってくるまでには何とかしといてくれたらありがたい、ということだけつづやいておくことにする。俺としては全員揃った形で年忘れクリスマス会を迎えたいんだよ。サンタさんには万事が好転するよう祈っておくことにする。もはやサンタが神様のポジションに移動しているような気もするが、そんな細かいことはどうでもいいんだよ。流行なんだよ転職が。でっかい靴下飾っておくから、イヴはみんなで盛り上がりよう。十二月二十日 ホリです 洋くん。今日、用事が終わった後でいいから、私の家において。里央ちゃん、ウチに泊まってるから。里央ちゃんは内緒にしといてって言うけど、仕方ないから教えてあげる。たぶん里央、引っ込みがつかなくなってるだけだから。昨日のゼミ休んだのも、きっとそういう理由なだけだから。君の思いが伝わるといいね。たまには洋くんの方から迎えに行つてあげなきゃ駄目だよ。これはお姉さんからの助言です。女の子はね、優しいだけじゃダメだけど、優しくされないのもダメなんだよ。もっと大切にあげて。これはお姉さんからの命令です。金ゼミの乙女は、里央や、あさみんも含めて、みんな気が強いから、一緒にいるならそれくらいの覚悟はしといてね。今度里央を泣かせたら、お姉さんたちは黙ってませんよ。許しません。メッ、です。乙女を泣かせるなんて最低だぞ。洋くんにはそんな男にはなつて欲しくないからね。それじゃあ、待ってます。十二月二一日 中林洋平 あさみんへ。明日のことなんだけど、俺、行けません。ごめん。自分勝手だつてわかつてる。でも、ホント、ごめんなさい。二条院も、ごめんよ。俺は明日行けないから、三木森と二人で何とか頑張つてほしいです。三木森がいる限り、万が一の時は大丈夫だと思うから、お前は三木森がちゃんと約束通りその場に来るように全力を尽くしてくれたらいい。あさみんのこと、頼んだぞ。よろしく！（追加） 田中麻美 中林君。大丈夫だよ。明日のことは、堀先輩から聞いています。だから、思う存分楽しんでください。私たちの事は、堀先輩たちも心配してくれて、「私たちも明日ついていこうか？」 と言ってくれたんだけど、三木森君の名前を出したら、「じゃあ、大丈夫だね」 って言われました。三木森君がなぜこんなにもみんなから一目置かれているのか気になつちゃった。（笑） あっ、でも、三木森君のことをすごくないって思ってるわけじゃないからね。本当だよ。三木森君がただものじゃないっていうことくらい、私にもわかります。お土産期待してます。（笑） バイバイ。（追加） 二条院 今宵、俺は後方支援に徹する覚悟を決めた。扉の前で敵の援軍が来ぬか見張るのだ。なかなか骨のいる役

割だが、俺は覚悟を決めている。骨身を削る所存だから抜かりはない。あさみさん、三木森は俺の弟子的哺乳類だから安心してください。俺が育てた、と言ったら過言です。しかし、裁判所から訴えられることはないでしょう。それくらいの関係です。だから、不安要素などこれっぽっちもござりません。中林がおらんくなったくらいで不安にならぬよう申し上げておきますぞ。敵は四畳半にあり！ 以上。 十二月二二日 田中麻美 先輩の住むアパートに行ってきます！ 取り返してきます！ 私の学生証！ 十二月二三日 感謝状 ありがとう。三木森君、二条院君。本当にありがとう。こわかった。すごく怖かった。たぶん私、何もしないで家に帰れないんだろうな、って思うくらいだったの。オバケとかそういう目に見えない物への恐怖じゃなくて、目に見える物への恐怖っていうやつです。自分がこの後どういうことされるのか、なんとなくわかつちゃったっていうか。だから、吐き気がするくらいぶるぶる震えてました。泣きそうになってました。それでも声が震えなかったのは二人がいてくれたからです。ちゃんと私の口から「返して」って言うことができました。本当に、ありがとう。二条院君は、アパートに行くまでの間、ずっと私を励ましてくれていました。静かになると怖い気持ちが湧き出てきちゃうから、そうならないようにしてくれたんだと思います。アパートに着いてからはずっとドアの所に立っていてくれました。後から見守られているような気がして、後ろから支えられているような気がして、とても心強かったです。二条院君のオーラが私の一言に勇気をくれたんだと思います。無言で仁王立ちしている姿、格好よかったです。三木森君はずっと私の傍にいてくれました。二条院君は後方支援で、三木森君は前線にいるっていう作戦だったみたいです。ソファに座らされた私と三木森君の前にはテーブルを挟んで先輩がいて、私たちの周りにはタンクトップの男の人たちがいました。私一人だったら絶対に雰囲気にもまれてしまっていたと思います。そんな雰囲気の中、「ぶどうジュースで」とためらいなく発言してしまう三木森君はすごいです。

「あ？」と言われても、「じゃあ、ノンアルコールワインで」と即座に切り返すところは圧巻でした。あれで雰囲気ががらりと変わったと思います。それにしても、先輩はめちゃくちゃ怒っていましたね。罵声を浴びせられた私は何も言えずに、小さくなって、ただ震えることしかできなかったけれど、三木森君は違いました。「俺はイタリア人だから仕方ない」という一言は、ちょっと意味が分かりませんでした。この一言でさらに雰囲気が変わったのだと思います。後はほとんど、私置き去りで口論してたね。私を巻き込まないようにする絶妙な作戦だったのだと思います。三木森君は、なかなか戦略家なんだなって、改めて感心してしまいました。そして、三木森君は、私が気付いた時には掴み合いの喧嘩をしていましたね。先輩たち、私の事は眼中にない、って感じでした。相手は四人もいるのに、全然臆することもなくたち振舞う姿は素敵でした。私は三木森君の後ろ姿しか見えなかったけれど、改めてみる三木森君の後ろ姿は、すごく大きかったです。私は腰が抜けたように床に座り込んでいたからかもしれませんが、それでもやっぱり大きかったです。部屋の中を怒号が飛び交うようになると、二条院君も駆けつけてくれました。三木森君を助けようと、争いの中に割って入り、次の瞬間には私に覆いかぶさり、私の盾になってくれました。床で座り込んでいる無防備な私を気遣ってくれたのでしょうか。その決意は大きな岩のように固く、二条院君はぴくりとも動きませんでした。身を呈してかばってくれていたのですね。三木森君は、相変わらず四人相手に口論してました。というか、手も出していま

した。でも、あれは正当防衛だと思います。怒号は大きくなるばかりで、何を話しているのか私にはよく分からなかったけれど、とにかくすごくうれしかったことだけは覚えています。タンクトップのうちの一人が、「俺は黒帯だぞこのガキンチョが」って言った時、三木森君も何か言い返していました。私には三木森君の後ろ姿しか見えなかったの、三木森君がなんと言ったのか分からなかったけれど、そんな強い人たちを相手にしていることを思うと、今いる状況の恐ろしさを改めて感じてしまい、不安な気持ちでいっぱいになってしまいました。だから私は、早く用事だけ済ませて帰ろう、と思い、危機感が勇気が変わって声を出すことができました。でも、三木森君たちには声が届かなかったみたいで、終いには取っ組み合いの喧嘩を始めてしまいましたね。ガラスが割れないかと私は冷や冷やでしたが、三木森君のパンチや回し蹴りはアクション映画を見ているようで、めちゃくちゃ格好よかったです。私とその優雅な回し蹴りに見とれてしまっていたせいもあって、気付いた時にはみんな寝転がっていましたね。エッフェル塔みたいにそびえたつ三木森君が、やけに眩しかったのは気のせいでしょうか。最終的には先輩のポケットから私の学生証を救出して一件落着でした。申し訳なかったので先輩たちに絆創膏をはってあげてから帰りました。私の盾になってくれていた二条院君は疲れたのか、そのまましばらくの間は眠っていましたね。途中まで三木森君がおぶってくれてたんだよ。三木森君は本当に力もちです。昨日のことを思い返すと、改めて、何からお礼を言えればいいのか分かりません。二人がいなかったら絶対取り戻せてなかったよ、私の学生証。みんなにも二人の雄姿を伝えたかったの、日記に書きました。二人のかっこいい姿、伝わったでしょうか？最後に一つ。よかったら、教えてください。三木森君って、彼女いるんですか？（追加） 谷本直毅 やっぱスキーは最高だ。キシキシいう雪の感触も抜群だった。小刻みにターンを決めてくあたりが快感なんだな。スピードとエッジのコラボレーションは天下無双。まさしく俺はゲレンデの妖精と

第三章「単位取得と、エントリーシートと、チョコレート」

二〇〇九年 一月一三日 谷本直毅 先週のゼミ紹介イベントお疲れ。企業のプレゼン何回も見てるから、二条院以外は結構スムーズにできたと思います。それにしても二条院。お前、三十秒の間に何回噛めば気が済むのだ。野鳥の会のお世話になれ。留学生でも、もっとすらすらしゃべれるぞ。聴衆はカボチャだと豪語しておったあの勢いはどこへやら。三木森がいなくてよかったな。ちなみに、学生部会の人によると、一〇〇人くらいの二年生が聞きに来ていたそうです。ゼミを真剣に選んでるっぽい熱い視線がめっちゃ新鮮だった。俺たちちやきっと素敵な先輩になれるはず！ 世間じゃセンターセンターと列島を征服しつつあるセンター試験ですが、俺たちも来月頭から世紀末的期末試験がありますね。就活で何かと忙しい時期にテストがあるのは困ったもんだが、単位揃わんと卒業できんのは絶対不可避の無情の摂理。現実逃避してみたところで所詮は大学四年のハッピーエンディングから逃避しているにすぎんです。ハムスターとかわりません。だから、みなさんをお願いします。過去問まわしましょう。シェアだ、シェア。ワークを巧みにシェアするのだ！ 遅ればせながら、あけましておめでとう。(追加) 中林洋平 あけおめ一、ことよろ一。そして、イベントお疲れでした～。過去問のことだけど、全部揃いそうだから安心してちょうだい。でも中には答えが定かでない問題もあるから、あさみんか二条院辺りと勉強するのがお勧めです。もしくは、あさみんか二条院が解答作ってくれるとか。俺としては勉強会開いてもいいんだけどね～。まあ、その辺はみんなの都合で。じゃあねん。(追加)

二条院 俺は我が教え子によくこう説いておる。自分のおケツくらい自分で拭けと。自分のことくらい自分で出来んようでは終わり終わり。自分で解く楽しさを味わってこそ未来が開けてくるのだ馬鹿もん。俺と麻美さんに面倒事押しつけようとするでない。出直せ出直せ！ 以上。

一月一四日 田中麻美 谷本君と中林君と一緒に天通仕事体験セミナーに行ってきました。内容は、「スキー人口を増やすためのプランを提案せよ」って言うテーマのグループワークでした。私たちのグループは、資料のグラフを分析して、四〇代から五〇代の人をターゲットに「青春アゲイン」っていうテーマでプランを練りました。メディアミックスとか議論が白熱して楽しかった一。最後は社員さんに提案内容をプレゼンしたんだけど、「テーマが分かりやすくて伝わりやすいし、広告を作る側にしてみてもイメージを共有しやすいから、なかなかいいと思うよ」っていう評価をいただきました。実際の現場での仕事の進め方は、課題分析、コア・アイディアの発想、シナリオアイディアの発想、キャンペーン構造の設計、実施、成果評価、という流れなのだそうです。実際に働いている人からこういう評価をされることってあんまりないと思うから、すごく貴重な経験をさせてもらいました。谷本君や中林君もまた別の評価をもらっていたみたいで、帰りにあれこれ反省しながら今日の振り返りができたことは、勉強になりました。グループワークが始まる前に、ワールド・イズ・フリーのCMが流れていました。これがずっと前に谷本君が言っていた、二新食品のCMだそうです。私も釘付けになってしまいました。すごくカッコよかったです。セミナーの中で、なぜアニメーションを使いながらこういうコンセプトで広告プランを練ったのか、ということをお話して下さいました。その理由の一つに、若者をターゲットにした、という話があったのですが、間違いありません。あれから

い私はスクリーンに見入ってました。なんだか私の中で広告会社の順位が急浮上してきた感があります。だって、実際に楽しかったんだから、この感覚信じてもいいんだよね？チームワークが大切になってくる仕事なんだろうなって思ったから、かなり好印象です。話が違って期末試験のことですが、私でよければ協力するよ。でも、私も勉強は苦手だから、一人で解答を作るのはちょっと難しいです。だから、みんなで勉強会を開きたいところなんだけど、金ゼミのメンバーはみんな忙しくて全員集まれる日というのがほとんどありません。中林君の手帳を見せてもらったんだけど、本当に余裕なしっていう感じでした。ところどころ里央との予定が入っていたところは、なんだかキュンとしちゃった。(笑) そんな感じなので、勉強会ってというのはキツイと思います。となると、解答を作るしかありません。そこで、お願いがあります。二条院君。一緒に解答作りませんか？二条院君はあんまり乗り気じゃないみたいだけど、私一人じゃどうしても無理なの。二条院君の力を借りたいです。よろしくお願いします。(追加) 二条院 是非是非。やはり人間、協力というものが大切なのです。支え合う精神が、良き心を育み、他人に指導することで、己の知識を再度深めるのです。というわけで、お力になりますぞ。以上です。一月一五日 谷本直毅 大根ぶらさげながら三井物産のワンデーインターン行ってきた。内容は商社ではお馴染みの投資ゲームだったんだが、参加人数がめちゃくちゃ多くてびっくりしたぞ。俺たちの回だけで二百人くらいいたと思う。司会者はさながらトークライブの気分だっただろう。やっぱ商社は人気だな。グループワークの出来は今までと大して変わらなかったから特筆すべきことはありません。ただ、優勝チームは二井物産が輸入してる小麦粉をもらってました。優勝景品にしてはちょっと雑なんでないでしょうかというのが俺の感想。席が自由だったので、大根と一緒にチームだったわけだが、その大根、モチ食い過ぎたせいかわらんが表情が少し柔らかかったのは気のせいでしょうか。もしかして、マントルを掘り当てたのか？帰る頃には背筋もピッシリ伸びていて、本当によく育った大根だと感心してしまうほどでした。相変わらず髪はモシャモシャでしたが、そこがまた大根ぽくてグーなのです。笠井の前世は大根で間違いないという確証を得たところで、どうなんだよ大根。商社がしっくりきたのか？もしそうなら、OB訪問とか一緒にしよう。俺一人だとなんかあれだが、二人ならやりやすい。お返事待ってます。ところで、黒報堂のエントリーシート書き終わったんだが、誰か品評会してください。広告業界のESは量が多くて大変だと聞いていたが、ホントに多くて驚いた。スペース埋めるのもなかなかしんどいもんだ。そんな力作だからお願いします。志望度高いんで、よろしくです。謝礼は出んけど気にするな。(追加) 山井里央 里央だよ～。お騒がせ里央だよ～。(笑) 青色銀行のセミナー行ってきたので書きまーす。うち、知らなかったんだけど、青色銀行は、青色銀行、青色コーポレート銀行、青色証券、青色信託、の四つでできていて、採用するときは合同採用をおこなっているそうです。なんか、グループ間の連携を強めるのが狙いなんだって。確かに、他のメガバンクとは採用の仕方が違うよね。これがいいことなのか悪いことなのかうちには分かんないけど、私的にはいろんな業務が経験できる気がしてなんだか楽しそう。飽きないって感じかな。(笑) 青色銀行の特徴としては、シンジケートローンっていうよく分かんないのが強かったり、国家プロジェクトに強かったりっていうところらしいよお。あと、ここは宝くじもやってるそうです。宝くじの裏側が見られて、なんか面白そうだよ。全体の印象としては、社員さんがすごく優しそうで、むしろ、のほほんとしてるっていう感じだった

よ～。金融のイメージと違ってたけど、印象は全然悪くありません。うちはやっぱり女性がちゃんと活躍できる職場で働きたいから、そういう意味でも銀行はありかなって思いました。英語が使える環境もあるしね。うん。また就活頑張れそうな気がしてきたあ～。みんな～。ファイトーだよ～。それと、谷本君へ。昨日、よーへいも、黒報堂のESプリントアウトしてたよお。項目は、面白そうな質問もあったけど、実際に書くととなると面倒くさそうだなあって思いながら見てたの。よーへいも、ペンくるくる回しながら悩んでましたー。仕方ないから、私なりのアドバイスしてあげちゃった。だから、うちでよかったら全然見るよ。でもうちは、ビー・アンド・シー落ちてるから、参考になるか分かんないぞお～。謝礼はいらないけど、うちがES書くようになったら、うちの品評会も開いてね。じゃあ、そういう条件で。お願いしま～す。（追加）

田中麻美 谷本君。私も黒報堂のES書いてます。私の方は、量が多くてまだ出来上がってません。谷本君のスピーディーな仕上がりが羨ましいです。もっと、テキパキできる女の子になりたいよう。書きたいことはたくさんあるんだけど、どうやってコンパクトにまとめるかってことに苦心してます。やっぱり、ダラダラ書いてても伝わらないだろうし、かと言って、端的過ぎてもやる気ないのかなって思われちゃいそうだし。難しいです。だから、私も品評会にまけてください。盗めるところは盗もうって思ってます。（笑） 二条院君。ありがとう。頼りにしてるね。今日から一週間後の二二日なんてどうでしょう？ 場所は学生食堂にするつもりです。忙しいかもしれないけど、返事待ってます。バイバイ。（追加） 二条院 あさみさん。承りました

。二二日に学生食堂ですな。俺としては事前に問題があった方がやりやすいので、今度どこかで麻美さんを見かけた時に、声をかけてもよいでしょうか。その時に過去問を渡してくれると助かります。最善の策を講じた上で取り組みたいので。よろしくお願いします。あと、谷本。俺も参加させてくれ。批評の申し子と名高いこの俺が、お前の履歴書バッサバッサと改稿してくれる。そしてお前の作品、反面教師として我が記憶に刻み込んでくれる！ 以上。（追加） 田中

麻美 二条院君。分かりました。了解です。頑張ろうね。 一月二十日 谷本直毅 お知らせです。今日、キム先生の所へES見せに行きました。忙しいにもかかわらず時間とってくださったキム先生に感謝感謝。大変ためになるご指摘をいくつか受けました。俺の中では、結構いけんじゃね？ って思ったESだったのですが、まだまだひよっここと知ってややがく然。そこで、駄目もとでお願いしてみました。今週のゼミをES勉強会にしてくれませんか。ゼミ論文も佳境に入っておるこの時期にこのお願いはずいぶんわがままで、さすがのキム先生も嫌な顔をなさると思ったのだが、やっぱり先生は仏の子でした。オーケーだそうです。形式的にはゼミは休講ということにして、先輩方も任意で参加してくれるそうです。というわけで、二四日のゼミは、金ゼミ就活勉強会となりましたのであしからず。お知らせ終わり。 一月二二日 田中麻美

二条院君、今日はお疲れさまでした。そして、みんなー。模範解答できたよ～。 やっぱり二条院君はすごいです。改めて、頭いいなあ、って感心してしまいました。ドリンクバーを飲みながら勉強してたんだけど、私はもう数式が出てくるとダメダメです。難しい数式を使う問題は全部二条院君が解いてくれました。ちなみに私は論述担当です。ノートだけはばっちりあってあるので大丈夫です。（笑） 関係ないけど、私もブラックでコーヒーが飲める大人な女性になりたいと思いました。なんだか二条院君、雰囲気出てたよ。さながらオフィスって感じでした。まずはコ

ーヒーを飲めるようになるところから始めたいと思います。(笑) そして、途中から笠井君も合流しました。たまたま、お昼ご飯食べに来てみたい。あんなにおいしそうにカレーうどん食べる人、初めて見ました。あれで服汚さないなんて、ほとんど奇跡です。笠井君って奇跡です。それにしても、久しぶりに笠井君とお話ししたなっていう感じです。ゼミにも顔出ししたり出さなかったりっていうのが続いてたから、心配してたんだよ。本当に、笠井君の演劇論を聞くのは久しぶりでした。すごく楽しかったです。笠井君は、まだ少し進路のことで悩んでるみたいだけど、ゆっくり考えた方がいいと思います。就活本番までそんなに時間があるわけじゃないけど、焦っちゃ駄目だと思います。後悔しないためにも、ゆっくり、ゆっくりです。私もそうなんだけど、こんなに自分自身と対話してる時間って、今までの人生の中で初めてだと思うの。だから、この時間は大切にすべきです。笠井君が納得のいく進路が見つかることを祈ってます。それじゃあね。バイバイ。(追加) 二条院 あさみさん。お疲れさまでした。あさみさんの端的でロジカルな論述に惚れ惚れ致しましたぞ。俺は小さい頃から算数が得意で、その流れが今でも続いているというだけの話です。だから、金ゼミの中で俺が一番数字に明るいと言っても、それは全然大したことではないのです。それに比べて麻美さんのロジカルシンキングの何と美しいこと。論理で整列させられた文字列は、もはや神秘の対象です。あのような美しき論述を目にした教授どもは、一秒と待たずに満点の成績を献ずることでしょう。そもそも、字が綺麗です。字は書き手の心を映し出す鏡だと聞いたことがあったりなかったりするのですが、麻美さんの美しき文字はまさしくそれですな。清らかな心がせらせらと俺の前で流れておりました。そんな美しき文字を書く手を休めてはオレンジジュースを飲まれる麻美さんの姿はまるで絵画。ルーヴルが全力で探し求めているのではないかと思う程のひと時でした。ちなみに俺がいささかキョロキョロしておったのは、ルーヴルの手先がおるのではないかと警戒しておったがゆえですのであしからず。ブラックの話がありました。べつにコーヒーを飲む必要などないのです。俺は香りと苦みにうるさい男ですからブラックイズベストなだけで、学食がオフィスに感じられたのも、俺が偶然着ていたジャケットがそれっぽかっただけでしょう。まあ、俺はよく落ち着いていると周りから言われますが、それは性格なので仕方ありません。つまり、あさみさんの明るい性格からいえばオレンジイズベスト。これは不変の真理で絵画の奇跡！ ところで笠井。お前はつくづくどろっとした黄色が似合う男だ。なんだ、あれか、貴公は邪魔しに来たのか。返せ、俺の集中力。返せ、あのひと時。タイムイズマネーで、マネーイズインポートだ。要するに、タイムイズインポート。そんな大切なひと時を、貴公の大根論議で花を咲かせるとは何事か！ 発声の極意とか、指先の角度とか、そんな細かいこたあどうでもよいよい。なこと気にする暇あるなら己の毛先を気にしろくるくる。そもそも舞台やりたいなら、その道に進めばいいだけの話。「将来のこと考えると――」とか、「俺の演技力で――」なんて話するなら辞めちまえ辞めちまえ。所詮お前は、大根、大根。漬けられるか、おろされるか、味噌汁なんだから諦めろ。「でもやっぱり――」とか、ウジウジ方向転換するなら余所へ行け。麻美さんの素敵オレンジに付け込んで頭撫でももらえるなんぞと思うでない。大根なら大根らしく真っ直ぐ生きてみろ。うん。いいこと言った、いいこと言った。こころで打ち止めだ。 にはともあれ、俺の数字とあさみさんのロジカルシンキングが詰まった過去問解答は、会心の出来だから誰も単位を落とすまい。いや、三木森は例外か。むしろ特例。ま、頑張れ。以上。(追加) 山井里央 麻美、

二条院君、ありがと〜。まだ見てないけど、二人が作った解答なら間違いないよう。メッチャ感謝です。お礼に、あさってのゼミにお菓子作ってくね。堀先輩にコーヒーゼリーの作り方教えてもらったんだあ〜。こんなことしかできないけど、食べてくれたらうれしいです。麻美にはオレンジゼリー作ってあげるから大丈夫だぞ。応用もできちゃう里央でしたあ〜。じゃあ、またねー。

一月二四日 谷本直毅 お疲れ〜。そして、あさみん、二条院。解答配ってくれてありがとう。こりゃもう鬼に金棒です。テストっていうのは、ある意味、モチベーションが大事なのだ。俺は行ける！ みたいな。そういう意味でも俺たち勝ったも同然です。やりきったという自負が良い結果を生むのです。みんなで期末を乗り切りましょう。へい、へい、ほー。

さて、今日の金ゼミ就活勉強会いかがだったでしょうか。いろいろ興味深い話が聞けたが、一番驚いたのは、キム先生の経歴だ。元天通社員だったとは知らなかったな。どうりで化粧品とかキム先生とは接点なさそうなもんもよく知っておられたわけだ。おかげでマーケティング職の話があれこれ聞けたからOB訪問の手間が省けたね。「忙しい時期はよく会議室に閉じ込められたものだよ」と言っておられたが、そんなときでも、「まあ、僕はドミノで遊んでましたがね」という余裕発言お見逸れしました。まるで企業に使われてない。最終的にキム先生は自分がやりたいことを極めるべく現在の職につかれたわけだから、なんかかっこいいではないか。企業のお尻を追いかけてまわしてる俺とはえらい違い。俺も、企業を選ぶくらいの高い意気込みになりたいなあ。

珍しく笠井も来てたな。ES対策の時に、「私の長所は役に入り込めるところです」と書いていたのはどうかと思うが、後はなかなか無難にまとめているようで感心感心。長いこと自己対話続けてただけのことはある。俺ももっと練らねばならんと危機感感じたぞ。大根に負けるようでは世も末だ。世紀末的期末試験はもうすぐだ。それにしても三木森は就活に無関心だな。「俺の短所は解放的になりたがるところです。脱がない！脱がせない！喜ばない！」ってなんじゃそりゃ。お前は就活なめすぎだ。黒報堂組は今日の反省点を修正して、ES提出というところでしょうか。なんか、提出後に性格試験をウェブ上で受けんと駄目らしいのだが、堀先輩いわく、これは本当に性格テストだけなんだと。SPI的な対策はしておかんでもいいそうだ。ただし、黒報堂は筆記試験があるからその対策は必要だとのこと。広告業界は堀先輩とキム先生がいるからずいぶん頼もしいな。この際、頼れるもんには頼ってこう。藁じゃないから心強い。来週はテスト勉強でみんな引きこもりがちだと思いますが、鬱にならんよう気をつけてください。慣れない勉強してると無駄にテレビ見てしまったり、ネット動画にハマってしまったり、普段せんようなことに時間を費やすようになりますが、現実逃避は極力少なめで行きましょう。皆の健闘を祈る。でわ！

一月二八日 笠井 テスト勉強頑張ってるか？ 気晴らしに三菱商事のワンデーインターン行ってきたから書いてやる。内容はグループワークで、CDM事業のビジネスモデル提案をせよというものだった。俺はグループワーク初体験だったわけだが、なかなか楽しかったぞ。一人院生の人が出て、その人がバッチリしきってくれたから発言する機会も平等に与えられたし、おかげで、はじめはよく分からなかったCDM事業とやらも薄らと理解することができた。だったらCDM事業を詳しく説明してみろとお前ら言いそうだから宣言しとく。文章で説明するのはむつかしいし面倒臭い。知りたきゃ蝶のように学内を飛び回るこの俺をつかまえてみる。俺はさながら不死鳥だ。帰りにお土産として、某アニメ映画のハンカチもらった。ぽに

よぽによしてて気持ちいい。明日からの毎日がちょっとだけ明るくなりそうだ。さて、気晴らしもこれくらいにしとこうか。俺も勉強せにゃならん。とりあえず今は単位だ単位。 二月七日

谷本直毅 諸君、無事テストの嵐を切り抜けられたでしょうか。残すところ、大学の行事は一六日に開かれるゼミの発表会だけとなりました。懸賞論文に出した人も、そうでない人も、発表会にはこの一年間の成果をギュンギュンに詰め込んで、実り多きプレゼンにすればいい。その後は盛大に打ちあがろう。今回は食べ放題付きだから期待してよし！ ところでところで。ブシテレビの面接行ってきました。今週の頭にES通過の連絡があって、嬉しさこらえながらテストしてたんよ。やっぱテレビ局受けてみたいじゃん。気付いた時にはもう選考終わってるキー局もあったから、喜びもひとしおです。ちなみに、ディレクターで受けました。番組作る人な。せっかくのテレビ局で営業するのはちょっともったいない気がしたからさ。そういう単純な理由。気になる面接の内容ですが、学生四人対面接官二人の集団面接だった。志望動機は？ とか、最近のテレビや映画で面白かったの何？ とか無難な感じだった。あと、俺はドキュメンタリー作りたいって書いたから、どんなドキュメンタリー撮りたいの？ って聞かれたよ。最後に二〇秒自己PRしてお終いだった。全体で二〇分くらいかな。意外だったのは、面接官がかなり真面目な印象だったのと、社会情勢を絡めた答えにくい質問されたところかな。待ち合い室担当の社員さんがかなり面白トークしてただけに、そのギャップが印象的。ブシテレビだから面接も面白おかしかったら大間違い。先入観はいかんね。いかんよ。後悔してる点も若干あるから、明日までに修正しよう。しかし手応え無いなあ。俺の隣だったアメフト優勝殿が通ってそうな気がする。初陣だったのに残念無念。まあ、まだ結果は出てないから切り替えていこう。ちなみに明日はテレビ旭。おら、東京さ行ってくるでよ。お土産希望はメールでのみ受け付けます。買うかどうかは気分次第。まだ自己紹介シート書き終わってないから帰ります。夜行バスの中で書くことになりそうな予感。酔い止め買っとこ。 ほしいじゃ、ばいびー。 二月八日 谷本直毅 さながら弾丸ツアーな一日だった。朝一でテレビ旭の面接を受けてその後ちょっくら観光して帰りは新幹線使って帰宅し今に至ると。結論から言おう。テレビ旭一次面接通過しました！ いやあ、仕事が早いとはこのことだ。即日結果出るとか最高にスリリング。しかし、三分程度の短い面接でどうやって合否つけてんのかちょっと疑問。やっぱ第一印象なのかね。よく分からんが通ったから何でもいいか。面接が一对二の個人面接だったのは好印象だが、並んで待ってる時間はさながら動物園。スーツの列をなす俺たちに向けられる好奇の視線は六本木の厳しさがあったりなかったり。要するに俺はアウェーの雰囲気呑まれ気味だったということだ。そういう時はおしゃべりに限るなまったく。隣の女の子が優しい人でよかったよかった。帰りにお茶すりゃよかったと後悔が走るのは煩悩本能。二次面接で再び会えることを神様に願うのみですな。ああ。こんな下心を就活に持ち込んでいいのだろうか。我迷う、故に我あり。 質問内容はブシテレビの時と大して変わらなかったから夜行バスの中で一人反省会したかがありました。だから、みんなにも面接後の一人反省会を激しくお勧めします。備えあれば患えなし。世の中努力が勝つようにできてんだよきっと。あと、お土産のことですが、緊張してたのと観光楽しかったのとで忘却の彼方へと遊覧飛行してしまったので謝ります。手ぶらだ手ぶら。しかし、十二日にまた東京行くんでそれまでにメールか前日までにここに書き込んでくれれば対応できるんで落ち込むな野郎ども。ちなみに今のところ東京バナナとなめらかプリンを買ってくつもり。それ以外でよろしく。

んじゃ、こんな所で。バイ。（追加） 田中麻美 谷本君。テレビ局の選考進んでるなんてすごいです。ES通るのも難しいくらい倍率がすごく高いって聞きました。どんどん進んでどんどんアドバイスしてください。お願いします。ちなみにお土産なんです。（笑） チョコレートがいいなあなんて思ったりしてます。あっ、もちろんお金は私が払います。東京にしか売ってないチョコがあるらしくて、食べてみたいなあ。最近の雑誌はチョコレートばかりで、すごくおいしそうなんだもん。個人的なお土産でごめんなさい。もし時間があればいいので、ちょっと気にしてくれたらうれしいです。就活で東京行くのに、なんだか私だけ観光気分でごめんね。とにかく、テレビ旭、頑張ってるね。応援してます。じゃあね。バイバイ。（追加） 二条院 谷本。東京バナナじゃない。東京ばな奈、だ馬鹿もん。こんなことも知らんとよくテレビ局の面接通ったもんだ。マスコミの眼力も大したことないなまったく。ところであさみさんはチョコレートがお好きなのでしょうか。俺は好物です。しかし、自分では買いません。近頃スーパーやお菓子会社なんぞが文化的スケールでチョコレート販売の戦略を展開しておりますが、俺はその手には引っ掛かりません。べつにチョコ嫌いなわけではありませんぞ。商業的香りがぶんぶんするので手を出さなだけです。ご存じとは思いますが俺は甘いものが好きですからな。糖分補給なくして頭は働かんです。最近チョコを食べておりませんが、チョコの話をしていたら急にチョコレートが食べたくなってきました。まさしく雑誌を見た時の麻美さんと同じ状況。ああ、チョコの話せんけりゃよかったと、ビターな後悔が渦巻いておりますが、だからと言って俺がチョコ嫌いになる筈もなく。結局のところ、俺は、チョコが大好きであるという結論に到達するわけです。麻美さんがチョコを欲するお気持ちよく分かります。以上です。 二月九日 山井里央 西日本ガスの人とお茶してきましたあ〜。うちの大学のOBさんからお誘いがあったの。なんか、プレエントリーするときも向こうから「エントリーして下さい」って電話がかかってきたから、ここは採用に積極的なのかも。うちらにしてみればありがたいです。OBさんは一年目の女性社員さんでした。内容は全然かしこまなくて、ちょっと高級な喫茶店で普通にお茶してるって感じ。女の人が、ちゃんと活躍できるっていう話が聞いてよかったです。でも、英語があんましいらないみたいだから、ちょっと残念。本エントリーするかどうかはまだ決めかねてます。インフラかあ〜。地域がある程度限定されてるっていうのは、魅力的といえば魅力的なんだけども。う〜ん。決定打にはならないって感じかなあ。今まで選択肢に入れてなかったから、少し時間をかけて考えてみようと思います。あと、二条院君。ゼミ発表会の日楽しみにしててね〜。うちの努力と愛情を形にしてみんなにお届けするから。（笑） うちのじゃ不満だなんて言わせないぞー。ほった落としちゃうから覚悟してて。谷本君のお土産も楽しみにしてま〜す。ギブアンドテイクだよお〜。（笑） 面接もそこそこ頑張ってるね。（笑） ちなみに今、よーへいも頑張ってるんだよ。うち、ほかりっぱなしにされてます。（涙） なんか、結果出るまでここには書かないんだって。変なところでプライド高いんだから。うちは、早く落ちちゃえ、って思ってます。（笑） だってよーへい遊んでくれないんだもお〜ん。（涙） うちはその寂しい毎日を過ごしてます。でも今日は金ゼミ女子会の日です。堀先輩の家で鍋なの。金ゼミの乙女限定です。楽しみいー。行ってきま〜す。 二月一日 田中麻美 二井積友銀行のセミナー（？）に行ってきたんだけど、急すぎます。昨日、堀先輩の家でお鍋食べてる時に

急に電話がかかってきて、「ちょっと明日来てくれませんか？」って言われたの。私、お酒飲んでたからうまく対応できなくて、場所とか時間とかあやふやなまま行ったんだけど、ちゃんと会場に着けて一安心でした。昨日はそのままお泊りしたから、朝は堀先輩に起こしてもらっちゃった。先輩、ありがとうございます。おまけにスーツまで貸してもらって。朝ごはん抜いたおかげでばっちり入りました。(笑) 堀先輩はスタイル良すぎです。セミナーの内容はOB訪問会でした。一年目と三年目の社員さんと少人数でおしゃべりする感じです。私たちのテーブルは学生四人でした。仕事のやりがいとかそういう話を聞いたんだけど、社員さんがすごく爽やかで好印象でした。時間が短かったので、すぐに終わってしまったっていう感じです。それだけ楽しく過ごせたのかもしれませんが。報告はこれくらいです。突然だけど、私、最近ちょっと不安です。今はゼミの発表会がまだ残ってるから、みんなと顔を合わせる機会があるけれど、それ以降はみんなと顔を合わせる機会が減っちゃうのかなと思って。私にとっては、この日記を書くことも、読むことも、すごくかけがえのない時間なの。リラックスできたり、参考にさせてもらったり、時には笑っちゃったり。だから、顔を合わせる機会が減ったとしても、この日記だけは変わらずにいてほしいなって思ってます。少なくとも私は書き続けるから。この教室に通い続けるから。だから、たまにはみんなと連絡取り合おうね。まだ発表会が残ってるのにこんなことを書いてしまつてごめんなさい。今日はこんなところですよ。バイバイ。(追加) 二条院 通いますとも、通いますとも、実家から。たとえ火の中水の中。どんなに忙しかろうがこの日記だけは、いや、あさみさんの日記だけは見逃すつもりはござりませぬ。日経より日記。これまさに、我が順位優先の法則なり。以上です。(追加) 谷本直毅 あさみん。俺もちゃんと書き続けるつもりだから大丈夫だよ。他の奴らもたぶん書き続けてくれると思うし。顔合わせるのだって、グラウンドとか体育館の方行けば、誰かしらいるんじゃないかな。中林、三木森あたりは有力だよ。特に三木森は間違いないってレベル。授業出ないくせに、稽古には毎日顔出してるらしいから。あと、金ゼミは下宿生が多いから、会おうと思えばいつでも会える。近いって最高。一人暮らし最高！さて、そろそろ俺は、夜のハイウェイを探検してこようと思う。ドキドキワクワクが止まらない。言わずと知れた、夜行バスです。銭がないんだからしょうがない。でも帰りは新幹線。気分はさながらリッチマン。そろそろ行くんで、この辺で。打倒テレビ旭！バイ。二月一三日 谷本直毅 最近の就活は本当に便利になったと思う。資料請求も、エントリーも、全部インターネット。テストや面接予約だってみんなウェブ上。ホント便利な世の中になったもんだ。しかし、その便利さと引き換えに失ったものもあると思う。あれだよ。人間同士のコミュニケーションってやつだよ。文章って冷たいんだよやっぱ。声がいいんだよ声。感情こもったボイスが聞きたいんだよこの野郎。結論から言おう。テレビ旭二次面接。落ちました。昨日受けて、昨日のうちに結果出た。悔しいなんて言わないつもりだったのに。だって、記念受験のつもりだったから。テレビ局なんて受かるわけないと思ってたから。だがしかし、昨日は猛烈に悔しくて泣きそうだった。六本木で働く自分を少しだけ想像してしまつたがゆえなのか。はたまた、三分面接の手応えがバッチリだったせいなのか。答えはわからん。いや、むしろ全部かも。落選者全員一様に送られる決まり切った定型文なんぞ見たくなかつた。いやはや。こんなにショックがでかいとは想定外。それゆえ昨晩は深夜近くにもかかわらず、飲み屋行きました。大学近辺は飲み屋が充実してて便利です。付き合ってくれたあさみん、ありがとう。中林の捕獲に失敗し

、快方に向かいつつある笠井には俺の負オーラを感染させてはならんと判断したので、二人だけになってしまいました。俺の中ではマリアかあさみんかって感じです。あさみんのおかげで、だいぶ落ち着いたよ。感謝感激です。しかし昨日は飲みすぎた。俺のあやふやな記憶の片隅に、今日だけ俺の抱き枕になってください、と言った覚えがあるのだが、これは夢だよな？ 拒否られて、かわりに頭撫でられてた記憶があるのだが、これも単なる現実的夢だよな？ 俺が愚痴こぼして、それに対するあさみんの考え方とか聞いて、んで、たまには逆になって、俺からあさみんにアドバイスしたりして。俺の中ではそれ以降があやふやなのです。もし現実ならごめんなさい。土下座します。はい。なんかもういろいろひっくるめて昨日はありがとうございました。以降教訓。激しく推奨。酒は飲んでものまれるな！（追加） 田中麻美 谷本君。昨日の事は私もあんまり覚えてません。（笑） だから、気にしなくてもいいよ。でも、私も飲み始めのことは覚えているの。谷本君からのアドバイスというか、情報、活かされるといいなあ。なんだかもう、今からドキドキしてます。昨日も言ったかもしれないけれど、頑張ってる人に対してこれ以上「頑張れ」とは言えません。でも、話とか愚痴を聞くくらいのことだったら私にもできるから、また何かあったら付き合うよ。もちろん、私が落ち込んでるときはよろしく願います。

（笑） ギブアンドテイクって素敵です。じゃあね。バイバイ。 二月一四日 二条院 今日、大学で麻美さんを見かけました。俺は相変わらず図書館の三階で高尚な紙束と睨めっこしておったわけですが、麻美さんは何をされていたのでしょうか。たしか、体育館なんぞがあるグラウンド方面から出てきたようにお見受けしたのですがいかがか。確かに俺は、一見スポーツ万能型人間に見られがちですが、残念なことに体育会には所属しておりません。この事実お伝えしておらなんだ己の何と浅ましいことか。汗臭き野獣どもの巣窟と化しておるあのあたりで、健気な一輪の花がおろおろされている姿は、満員電車で迷い込んだありんこのごとく。如月の風が覗かせた林檎色の耳たぶが印象的です。きっと、息を白ませながら探しておられたのでしょうか。申し訳ございませんでした。俺は図書館におるのだと言いそびれ、誠に申し訳ありませんでした。悔やんでも悔やみきれませんが、発表会の日があるから心配なさらぬよう。俺は日にちとか気にする小さき男ではありません。用件はこのくらい。 以上です。（追加） 中林洋平 久しぶりにフットサルしたよ～。やっぱスポーツって最高！ スーツとか着なれないもの着ると、なんか落ち着かないね。シャキッとするけど、その分無駄に緊張しちゃうみたい。最近はずっと着ることが多かったから、からだ動かすのが楽しくて仕方無かったよ。さて、最近発表準備に一切顔を出さなかった俺ですが、今日は班の打ち合わせに行きました。いやあ、知らないうちにゼミも大詰めて感じで、全く話について行けなかった。（汗） 来年は先輩たちがいないから、俺たちだけでちゃんとやれるか心配だなあ。とりあえず、三木森とだけは同じ班にならないようにしようと思ってまーす。三木森は今日も打ち合わせに来ませんでした。あのテコンドー馬鹿と俺が共存してるにもかかわらず、この班が成り立っているのは、諸先輩方のおかげです。特に、堀姉。頭が上がりません。関係ないけど、里央もお世話になっているようで。重ね重ねありがとうございます。そう言えば、今日はバレンタインなんだね。バタバタしてて気付きませんでした。ちなみに、堀姉からのチョコはお預けされちゃった。面倒臭いから発表会の日全員分渡すんだって。男子は期待して待つてようね。（笑） 特にこれといった話題もないけど、久しぶりに大学に

来たので書きました。まだ里央からもチョコもらってない中林でした。それじゃあ、アデオ
ース。二月一五日 谷本直毅 チョコもらえて喜んでる人も、思わず自分でチョコ買ってしま
った人も、明日は平等に金ゼミ最終発表会がありますね。この一年間の成果を三十分のプレゼン
にぶつけてやりましょう。巷の噂じゃ明日チョコもらえるそうだから、野郎どもは泣かんでよろ
しい。俺も泣かんでいいのだよ。ゼミやっててよかったよかった。明日は平等世界の創立日にな
りそうな予感。めでたいこっちゃ。三木森を抱えることで、今世紀最大の不利との下馬評が高か
った某班も、なんとか間に合ったようであり。明日の打ち上げは、朝まで騒ぐとの見方が大
勢を占めているから、みなさん今日は早く寝ましょう。寝る子は育つ！ ブシテレビ落ちた！ ビ
バ☆金ゼミ発表会！ お返事 三木森 やっほー。ここ一週間はバレンタインデーの雰囲気
を個人的に盛り上げるため、プロテインはチョコレート味限定という俺ルールを健気に守ってたミ
ッキーだよー。うん、偉い偉い。発表会でも俺の声が一番でかかったもん。そこらへんでは誰に
も負けないね。それにしても、みんなニュースキャスターみたいにすらすらスマートに発表して
るのを見て、あらためて発表うまくなったなあと感心してしまいました。二条院以外。お前らも
成長したもんだ。二条院以外。笠井も舞台上であれくらいすらすら話せるといいのにな。そうす
れば、拍手三パチパチくらいはしてやるぞ。パワーポイントも見やすく飽きさせない内容になっ
ていましたね。おかげで俺はちょっとしか寝なかったです。鬼門は自分たちの発表が終わった後
の時間。勝てませんね。やっぱ睡魔はラスボスだ。気付いた時には発表会終わったもん。たぶ
んね、俺、タイムマシンに乗せられてたんだと思う。じゃなきゃ説明できないもん。世の中まだ
まだ不思議がいっぱいだ。不思議ちゃんもいっぱい。世界はまだ魅力的。さて、発表会後
はチョコチョコパーティーでしたね。教室中甘い匂いでいっぱいでした。持って帰ってゆっくり
食いたかったんだけどなあ。先輩方の顔見ると、「今食べて」みたいな雰囲気醸し出してたも
んなあ。食うしか無かったよなあ。生まれて初めてチョコだけでお腹ポンポンになりました。ク
ッキー焼いてきたあさみんは大正解。クッキーめちゃくちゃうまかったー。バター味最高！ 二
条院がクッキーばっか食ってたから、ちょっと腹たちました。あの場でのクッキーの大切さを、
お前はわかっちゃいない。最後の方は、クッキーかじってからじゃないと、チョコきつかった
もん。なんならお前にせんべい買いに行かせたいくらいだった。非常時の乾パンくらい大事だっ
たもん。あ。あと、里央を怒らせたのは俺みたいな空気になってるけど、べつに俺が悪いわけじ
ゃないから。俺はみんなの声を代表しただけだから。「しょっぱい！」って言うただけだから。
ちなみに里央の言い分は、「甘さを引き立てるためにソルティーにしてみたのお」だそう。里
央に質問です。お砂糖は入れたのでしょうか。ソルティーに意識行き過ぎたのではないでしょ
うか。そもそも、責めるなら里央を甘やかした洋平を責めろよな。どうせ、「うまいよ。里央は
天才だ」てな風にヨイショしてたんだろ。洋平、かわいいからって何でも許すんじゃない！ 被
害は思わぬところに飛び火するのです。ところで、里央のチョコはなかなかポリューミーだっ
たわけだが、あのサイズで義理チョコなわけで。本命をもらった洋平は、いったいどれほどのチ
ョコレートを食したのでしょうか。興味あります。あのレベルの味で安定していたとすると、洋平
は頑張ったんだな。うん。褒めてやる。お前は頑張った！ 男だ男！ お腹がタルンタルンにな
ったところで、打ち上げまで時間空いたから、みんな外出て仲良しバレーをしましたね。円陣
組んで、落としたら負けルールのレクは久しぶりで、なんか若き日々を思い出しました。汗臭い

青春に戻りたいよう。ピーターパンになりたいよう。あれだけほっこりした雰囲気にもかかわらず、弾丸スパイクで洋平を狙い続けた角先輩には脱帽です。なんか恨みでもあるのでしょうか。そして、それをレシーブし続けた洋平にも脱帽です。帽子ないから服脱ぎます。やっばお前は運動できるな。球技じゃ洋平に勝てる気がしません。負ける気もしないけどね。打ち上げは、相変わらず大人な雰囲気が微塵も感じられないノリで、超楽しかった。焼き鳥とか食べ放題だったから、店の鳥を枯渇させる勢いで食いまくったね。お店の人の態度がだんだん悪くなっていったよね。それでも注文のペースを変えなかった俺たちは間違っちゃいないはず！ だって、食べ放題売りにしてる店だったんだもん。そりゃあ、食べ盛りが集まるさ。もうほとんど物理の法則だから仕方ありません。体育会をなめたらあかん。金ゼミをなめたらあかん。お姉さま方もいつもにもまして楽しそうでよかったです。「今日でバイバイだから、最後にもう一度だけミッキーの腹筋が見たいよう」というご要望にお応えして、脱いでしまいました。そして後半は、先輩方がいなくなるのが寂しくて泣きながら酒飲んでました。あんまりゼミに顔出さない俺でしたが、一年の節目節目には必ず先輩方と何かしら楽しいイベントを経験してきたように思います。そう思うと、涙が止まらなかったのです。俺はこの一年間先輩方に支えられながら今日まで来たんだなああと回想を交えながら、おいおい言わせてました。先輩方は、そんな俺を、温かいまなざしで見守って下さいました。感謝感謝です。本当に心の底からうれしかったのです……。追いコンが後日あると知らされるまでは。返して下さい。俺の涙。誰だ、バイバイ、とか紛らわしいこと言ったやつ。なんかちょっと恥ずかしい。べっ、べつに、寂しくなんてないんだからネ！ その後終電を逃した俺たち自宅組は、下宿組とともにコンビニでお酒を買い込み、つまみとともにキム先生の研究室になだれ込みました。ここまで付き合ってくれる先生そうはいないよね。奥さんに、「今夜は帰れません」と電話してたキム先生、めちゃんこ可愛かったです。で、さすがに研究室で騒ぐのもどうかということで、いつものゼミ教室に移動しました。もはや男女関係なく、床のごみとか、砂とか、細かいことを気にしなくなったみたいで、冷たい床にゴロリンチョしてましたね。たくましくなったなみんな。ちょっと感動した。二条院は生意気にも机の上で寝てたから、蹴り飛ばしてやりました。特に悪意はありません。ただ二条院にもたくましくなってほしかっただけ。珍しくかたくなに飲酒を拒否ってた洋平は、その腹いせか知らんが、里央と無駄にイチャイチャしてました。だから、俺も角先輩とイチャイチャしてみました。谷本は笠井とモチャモチャしてました。金ゼミは変態ばかりです。最低です。趣味は睡眠といっても過言ではない俺ですから、途中で力尽きました。寝るときは出来るだけお姉さま方に挟まれながら寝ようと思っていたのですが、目覚めた時には洋平のおケツが目の前にありました。なんか腹たったから、里央の隣で二度寝しました。里央はさぞかしハーレム気分だったことでしょう。ところで洋平は、発表会の翌日、つまり、みんなでおはようした日に最終面接があったらしいのですが、間に合ったのでしょうか。禁酒の成果も虚しく里央に起こされてましたね。あの慌てようから言って、遅刻でしょうか。最終面接で遅刻ってのはよくないんだろ？ 俺でも知ってるぞ。どこの会社だっけ。飛行機会社だっけ。よく分からんが、結果が楽しみです。洋平君。必ず報告なさい。それにしても、もう最終面接とかあるんだな。さすがにそろそろ就活やらないとまずいかも。最短期間で内定ゲットしようと思ってるんだけど、エントリーってどうやってするの？

とりあえず、まずはスーツか。ああ、もう。就活って面倒臭い。 さて、ここまでは、思い出すだけでも楽しい金ゼミの話ばかり書きましたが、今日の本来の目的はそんなところありません。だから、ここからが本題。あさみんなに向けてね。この前の話だけど、いいよ。オーケーです。いやあね、俺もなんか足りないと思ってたんだ。テコンドーばっかしやってるせいもあったかもしれない。こう、視野が狭かったというか。学生生活、さらには、今後の俺の人生をもっと楽しむためにも、それは不可欠なことだと思う。むしろ、俺も心のどこかで望んでいたのかもしれない。今まで何かしっくりこなかったのは、一つのピースが欠けていたからなのかもね。その最後のピースをあさみんなが満たしてくれたっていう感じ。なんか、言われた瞬間にすごくしっくりきたというか、電気が走ったというか。テコンドーばかりやってたから、俺には向いてないんじゃないかって思ったところも正直ある。テコンドーを言い訳に、避けてきた部分も正直ある。でも、あさみんなに言われて気付きました。気付くことができました。これからの俺は少しでも変わることができるかもしれません。むしろ、変わりたい。何だかんだで、俺は、保守的だったのかもしれません。変化を好まない人間だったのかもしれません。ありがとう、俺に気付かせてくれて。ありがとう、俺にそのきっかけを与えてくれて。そういう意味でも、あさみんなは俺にとって特別です。だから、オーケーです。一緒に観に行きましょう。ミュージカル。最近、谷本とこの話よくしてたのですが、それを見越してのあさみんなのお誘い、感服に値します。俺もその洞察眼ほしいよー。これで笠井にうまいことダメ出しできるはず！ ありがとう、あさみんな。生チョコうまかった。じゃあ、また今度ね。 お返事お終い。

第四章「面接と、リクルーターと、魔法の言葉」

二月一九日 中林洋平 遅刻ギリギリで最終面接に間に合った中林だよ～。面接の時間中汗だけで、「今は冬だよ」と笑われたくらいです。絶対落ちたと思った。で、今日、その企業から電話がありました。全日本航空です。俺、合格なんだって。合格っていう意味が分かんなかったから、「どういうことですか？」って聞きなおしちゃった。そしたら、「内定です」って言われた。そこでやっとわかったんだよね。俺、内定もらいました！ やばいくらいに嬉しいよ～。めっちゃくちゃうれしい。そして、里央。お守りありがとう。手作りだったよね。ところどころ雑なお守りだったけど、そこがまた里央らしくてよかったよ。俺にとって里央の存在は大きかったと思います。もちろん、金ゼミのみんなの存在も。もう、感謝、感謝です。俺の周りにいる人すべてに感謝です。ここからは後輩のみなさんに向けて。俺は全日本航空の、自社養成パイロット、ってところにエントリーしてました。なんでパイロットなのかというと、カッコいいからです。面接ではそんなこと言わなかったけどね。（笑）でも、それが正直なところ。俺は、就活を通して入りたい業界とか見つけられなかったんです。べつにどこでもいって感じだったの。でも、一つだけ自分の中に就活の軸があって、それは、海外と繋がっている職場であること。これだけでした。海外旅行とか好きだからかもね。採用の全体の流れとしては、テストセンター、身体検査から始まって、面接をこなしていくって感じでした。細かい面接の内容は人によって違うだろうから書かないけど、学生時代頑張ったこととか、志望動機とか、オーソドックスな感じでした。特に困った質問もされなかったし。「体力大丈夫？」って聞かれたけど、俺は全く問題ないから、「余裕です」って百パーセントスマイルで答えたよん。そしたら、「だろうね」って返されちゃった。（笑）こんな感じで雰囲気の良い面接でした。途中から、俺はこの会社と相性いいかも、って思っちゃうくらいだったよ。もちろん最後まで、爽やかスマイルと、好青年演技は忘れなかったけど。アドバイスするとすれば、やっぱり笑顔が大事ってことくらいでしょうか。後輩のみんなも、相性とか、受けてみないと分からないことってたくさんあるだろうから、最初からダメだとか決めつけずに、いろいろ受けてみることをお勧めする。俺だって、まさかパイロット受かるなんて思ってなかったもん。知識とか全然ないし。これはマジだよ。せっかくだから覗いてみよう、くらいのノリだったもん。でも、今思えば、逆にそれがよかったのかも。自然体でのぞめてさ。さて、俺の就活ですが、これでお終いにしようかなって思ってます。まだまだ見てない企業とかあるから、気になるといえば気になるんだけど、やっぱ一番最初に内定くれたところは印象がいいし、何より今の俺はパイロットとして働く自分の姿を想像してしまっています。就活っていう独特な雰囲気から早く脱出したいって気持ちもあるし、遊びたいって気持ちもある。だから、今後の俺は金ゼミ就活生から金ゼミ応援団長にジョブチェンジしようかなって思ってます。一足早いけど、みんなを激しく応援する側に回るね。（笑）はっきり言って、後悔はありません！ みんなこれから就活忙しくなると思うけど、何かあったら俺に連絡頂戴。何もなくても連絡頂戴。つまりは俺を、一人にしないで頂戴。お前らなら絶対第一志望受かるから、気合い入れて行けよ。自信持って行けよ。なんなら、里央が作ってくれたこの縁起がいいお守りの糸を一本ずつ解いてミサンガ作ってあげるから。だってもうほとんど解けかけてる

から。(笑) そんなこんなで、報告はお終い。俺の就活もお終い。お祝いメール、待ってます。

(笑) アデオス！(追加) 田中麻美 中林君おめでとう！金ゼミ内定第一号だね。実は私、里央から中林君内定の報告メールを受けていました。里央の喜びようがハンパないの。たぶんもう先輩を含めた金ゼミ全員が、中林君の全日本航空内定を知ってるんじゃないかなあ。

(笑) 私たちとしても、この勢いに乗っていきたいと思います。もう、いいイメージしかできません。パイロットかあ。いつか私も中林君が操縦する飛行機で海外旅行したいです。そのときは、おまけしてください。(笑) 私も就活頑張るぞー！あらためて、おめでとうでした。

でわでわ。バイバイ。(追加) 中林洋平 三木森。就活についての質問攻めはやめてくれ。とにかく聞きたいことがあるなら、ちゃんと自分の中でまとめてから電話してほしい。着信履歴がお前に埋め尽くされちゃって気持ち悪いから、一時的に着信拒否します。あと、スーツはちゃんと貸してあげるから心配すんな。ネクタイは赤しか持ってないよ。嫌なら百均で買っておいで。

あさみん。ありがとう。俺も頑張っただけで応援するから。(笑) あと、ここにも書いたけど、三木森が就活を始めるそうだから、いろいろ教えてあげてよ。俺、なんだかんだ言っても一つの企業しか受けてないから、あんまり偉そうなこと言えないんだよね。だから、よかったら三木森の面倒見てやって。(笑) 最後に。メールくれた皆、ありがとう！それじゃあ、またね。

(追加) 田中麻美 了解です。三木森君、私でよかったら何でも聞いてください。あっ、でも、まだほとんど何も分からないかもしれないけど、それでも私なりに応えるので、何でも質問してください。待ってます。(追加) 二条院 いい気になるでないぞ三木森。麻美さんの優しさに付け込んで調子に乗るとは何事か！いいか、貴様に対する全ての事象施しは、ボランティアである。お前の昨今全ての経験はみな寄付金でできておるということ忘れぬよう。米的舞踊劇なぞなんのその！コメコメコメコメ！以上。二月二一日 谷本直毅 昨日の追いコンお疲れ。涙ちょちょぎれる感動的な会でした。改めて言いましょ。金ゼミ先輩方、一年間本当にありがとうございました。そして、これからも連絡取り続けましょ。素敵な先輩方のままでいてください。ハチャメチャな先輩方のままでいてください。さらには残り少ない大学時代、研修課題等でお忙しいようですが、悔いの残らんよう、俺たちを全力でサポートしてください。俺たちは先輩方を頼りにしております。べったりです。なにとはともあれ、ちいとばかし早いですが、覚えとるうちに言っときます。無事なご卒業、おめでとうございませう。さてさて。三菱商事のセミナー行ってきた。OB訪問したおじちゃんが俺のこと覚えてくれてたから嬉しくて、ホクホクしながら帰ってきました。商社でもそろそろESの話が出始めたね。本番が近付いてきたって感じです。そんなこと考えながら歩いてたら西日本電力の人から電話かかってきた。来週ホテルの喫茶店でお話しましょだそうす。何やら大学のOBらしく、就活の相談から西日本電力の紹介まで幅広い話題を提供してくれるとのこと。採用とはまったく関係ないからと強調されておったが強調するところがまた怪しいというデフレスパイラル。なんですか。これはもしかしてあれですか。リクルーターってやつですか。都市伝説かと思っただがそんなこたあないらしい。お言葉に甘えて大人しくタダ茶してくるからよろしく。ところでところで。来週は黒報堂の筆記試験がありますね。中林はおめでただから、受けるのは俺とあさみんオンリーです。三木森君。お前はES出してないから受けられません。ご愁傷様。噂じゃボーダーがすこぶる高いと聞く。しかし、先輩らの話を聞く限りじゃ、筆記で落ちた人が見当たらんのはなにゆえか。

とにかく今は自分を信じて筆記対策するしかない。あいまい掲示板にはお目をふさぐことにする。今できることは今やろう。明日できることも今やろう。行きつく先は不眠不眠。決戦まであと四日！さらば！（追加） 田中麻美 谷本君。黒報堂の試験頑張ろうね。私の中では広告業界が第一志望だから、なんとしてでも筆記を突破したいです。私、ドキドキワクワクするようなお仕事がしたいです。たくさんの人にメッセージを伝えられるようなお仕事がしたいです。何より自分が楽しいと思えるお仕事がしたいです。忙しいのなんてへっちゃらです。だから、なんとしてでも合格したいの。頑張ろうね。絶対合格しようね。なんだか今から緊張してきました。（笑） 企業からの電話の話なんだけど、最近非通知でたくさん着信があったのは、リクルーターさんだったのでしょうか。気味が悪かったので着信拒否設定してしまっていました。前かかってきた時はちゃんと通知だったから、非通知でかけてくるなんて知らなかったの。慌てて解除したけど、まだ電話かかってきません。もう愛想尽かれてしまったのでしょうか。どこの企業だったんだろう。気になります。でも、今は黒報堂に集中しなきゃ。切り替えていこうと思います。じゃあね。バイバイ。（追加） 山井里央 リクルーターの話で思い出したんだけど、うちがこの前会った西日本ガスの人もしクルーターだったのかなあ？うち、私服で行っちゃったよお～。そういうところもチェックしてるのか気になるね。あと、麻美の非通知は、もしかしたら二井積友銀行からかもよお。うち、来週末に来てって電話あったから、たぶんそれだと思う。相手が男の人だったから変な電話かと思って警戒して話してたんだけど、名前聞いて調べてみたら金ゼミOBの人だった。（笑）先輩、すいませんでしたあ。でわでわ。二人とも筆記頑張ってるね。応援してるからね～。（追加） 二条院 麻美さん。筆記試験頑張ってください。応援しておりますぞ。貴女ならば必ず合格できるはず。さもなくば黒報堂の見る目がなかっただけのこと。そのような企業は未来永劫発展せんでしょうから行かんで正解。つまるところ、麻美さんは素敵乙女だという結論。谷本は空気読んで落ちればいい。お前一人落ちたところで麻美さんがどうなるわけでもなかならうが、それでもやっぱり落ちればいい。お前はその身を捧げて偉大なる踏み台となるのだ。誇れ未来に。そして自慢しろ跳び箱に。恋せよ人類！求めるべきは愛しのラヴラヴ！ところで山井さん。俺も二井積友銀行から呼ばれたのですが、やはり服装はスーツでしょうか。何も言われなかったのが気になったのです。教えて下されば幸いです。以上。（追加） 山井里央 二条院君へ。スーツで行くのがベターだと思うよ～。うちもスーツで行くつもりだし。関係ないけど、最近の二条院君の日記はちょっとだけテンション高めだね。（笑）何かいいことでもあったのかなあ？気になるう～。よかったら教えて～。（追加） 二条院 山井さん。ありがとうございます。俺もスーツで行こうと思います。それとそれと。重ね重ねのお願いで申し訳ないのですが、中林に、俺と一緒に飯を食いたがってやるよ、と伝言して下さらないでしょうか。あやつは就活終わったくせになかなか連絡取れんから困りもの。山井さんの日々の苦労も容易に押し量れるというものです。それでは。よかったらお願いします。以上。（追加） 中林洋平 里央から聞きました。何の用事か知らないけど、二七日だったら空いてるぞ。（追加） 二条院 助かる助かる。お前を甘ったるいゴディバと見込んでのことだからよろしく。以上。 二月二五日 田中麻美 黒報堂の筆記試験受けてきました。会場がすごく大きくてびっくりでした。おまけに、受ける人もたくさんいて、あれだ

けの人数からほんの一握りの人しか内定もらえないんだなあって考えると、ちょっと弱気になってしまいました。でも、私なりに勉強の成果は出せたと思います。人数多すぎて逆に開き直っちゃったのかも。落ち着いて解くことができました。内容は普通のSPIとクリエイティブテストだったよ。クリエイティブ試験は、「最近あったイタイ話」「泥だらけのTシャツが洗濯してもらうために言った一言は？」「ファミリーレストランの接客に対する苦情で二番目に多かった苦情は？」っていう内容でした。クリエイティブ試験はめちゃくちゃ楽しかったです。先輩から、量を書けば大丈夫って言われていたから、全然困りませんでした。それよりも問題はSPIの方です。う～ん。一応手ごたえはあるんだけど、あの難易度だとみんないい点数とれそうな気がするの。だから、ボーダーは高いのかなって思います。でも、学力だけで選考するわけではないはずだから、結局のところ詳しいことはわかりません。人事さんのみぞ知るっていうところでしょうか。結果発表は三月上旬だそうです。来週までドキドキです。試験の終わりに、「今日の内容は掲示板等には書き込まないでください」って言ってたけど、これは日記だから大丈夫だよ。ね。(笑) 報告はこんなところ。帰りは、谷本君とご飯食べて帰りました。いろいろアドバイスくれてありがとう。ゆっくりでもいいから、一步步ずつ着実に前進できたらいいと思います。コツコツ頑張るね。それじゃあ。バイバイ。 二月二十八日 谷本直毅 西日本電力のリクルーターさんに会ってきました。なかなか真面目な方のように、俺にはちょっと合わなさそう。まあ、経理の人だったからしょうがないのかも。三木森みたいな人がお金の管理してたら嫌だもんな。絶対潰れるもんな。他の部門の人にも会ってみたい気がしたが、それでもやっぱり商社を超えるまでの好印象は得られず。むこうも選考してるんだろうがこっちも選考しとるわけで。電力だったら商社で出来る。というわけで、電力会社にES送るのはやめました。インフラに興味がありません。でもまたリクルーターに誘われたら行こうと思う。だってさ、ホテルのコーヒーとかおごりでないと飲む機会ないじゃん。俺は味とかよく分からんが、少なくとも値段だけは高いから自分で払う気にはなれんし。しかし雰囲気だけは高級だからちょっとリッチな気分が味わえる。こりゃ経験しなけりゃ損でしょきっと。電話こい！ 電話よ来い来い！ ところで笠井。よくない噂を聞きました。何やら最近、現実逃避に夢中らしいですね。この時期は大学もなく、ひきこもるにはもってこいの時期なのはよくわかる。しかしまあ、あえて三年のこの時期にひきこもることはないはずだ。お前の人生設計に響きます。一生大根な人生でよいはずがありません。金ゼミ幹事は心配してます。悩みがあったらここに書きなさい。悩みがなくても書きなさい。つまりは何か書きなさい。一人ぼっちでぼっちぼっちが一番良くないのです。幹事さんは心配してます。むしろ、幹事さんしか心配してません。ほいじゃ、笠井君。よろしく。(追加)

笠井 誰が引きこもりだこの野郎。レンタルショップから出てきたところをたまたま中林に目撃されただけのこと。動画を見ることの何が悪い。これが引きこもりなら世の中大半の人が引きこもりだぞ。謝れ世間に。そして映像娯楽に土下座しろ。 三月一日 山井里央 二井積友 銀行に行ってきたよ～。この前電話があったやつです。麻美もいたから、ちゃんと電話かかってきたんだね。よかったよかったあー。内容は、一年目の社員さん一人に学生二人でおしゃべりっていう感じでしたあ。うちのテーブルは一緒にいた学生さんがすごくよくしゃべる人で、私、ほとんどしゃべれなかったの。その人、下敷き代わりに某経済雑誌を取り出して社員さんにアピールしてるんだもん。正直、ちょっとひきました。おまけに、時間のほとんどをその人のES添削

にとられちゃったし。涙目って感じだよ。だから、会が終わった後社員さんに、「今日はあんましお話しできなくてすいませんでした」って謝ったら、「そんなことないよ。雰囲気だけでもどういふ学生さんかっていうのは伝わるものだから、全然心配しなくて大丈夫」って言ってくださいました。すっごく嬉しかったし、安心しました。なんか、無理に自分を作る必要ないなって思えたの。これは今後の就活にとってプラスになりそうです。 お昼ご飯食べた後は、本日生命に行ってきました。これも電話がかかってきたの。会場に行ったら、笠井君もいました。テーブルは違ったけど、笠井君がひきこもりじゃないことは、うちが証言するよ〜。セミナーの内容は普通の会社説明と、社員さんとの交流会でした。銀行の人も言ってただけど、本日生命の人も、「会社が大きすぎて何をやっているのかよく分からないんだよね」って言ってました。うちは最近、大きな会社で働いた方がいいんじゃないかって思い始めたの。その方が福利厚生も整ってると思うし、女性社員も多いだろうし。だから、うちにとっては興味ある会社になりそうです。もしかしたらうち、金融をメインに回るかも〜。金ゼミで金融メインの人っているのかなあ？ 谷本君は商社で麻美は広告でしょ？ よーへいはもう決まっちゃったし、ミッキーは最近就活始めたばかりだし。二条院君と笠井君はどうなのかなあ？ 今日も見かけたし、もしかして金融かな？ もしそうなら、情報交換しながら頑張ろうね。チームプレイで就活を乗り切ろうとしている里央でしたあ〜。またね。（追加） 中林洋平 里央へ。二条院は金融らしいよ。日銀に行きたいんだって。この前、一緒に飯食ってる時に言ってた。俺としては、あいつは公務員向きだと思うんだけどね。二条院へ。五日なら空いてます。（追加） 二条院 ゴディバ。助かる助かる。あと、一言追加。確かに俺は就職万能型に見えるやもしれん。それはあながち間違いではないと思う。べつに自分でそう思ってるわけじゃない。周りがそう囁き立てるだけのこと。官民問わぬこの適応力に皆が恍惚の視線を交えるのも無理はない。なに、否定はせんさ。俺は頭ごなしに否定するような野暮な男でないからな。物事事象を寛容に受け入れるだけの器をもって。だからゴディバが俺の事を公務員向きだと考えるのも無理なきこと。でも、だが、しかし。俺は公務員試験を好いておらんのだよ。べつに解けないわけじゃない。ただ好いとらんだけの話。なんかこう、試されておるようで不快なのだ。試験という選抜形式が。俺の能力は、学力だけでなく、この対人適応能力にもあると自負しておるからな。左様然ればパピルス試験に重きを置いておる公務員試験は、俺の真なる能力を見抜いとらんことになる。そんな節穴どもの巢窟に、俺のこの才能、預けたくは、ござらん、ござらん。これこそ俺が公僕を目指さぬ理由なり。金融行きたいのは、俺が大学で学んできた経済学の知識が生かせるからにほかならぬ。俺のきらめく大学生活、一ミリたりとも無駄にはせんぞ！ このような心構えであるから書いてみた。

以上。（追加） 笠井「俺のきらめく大学生活一ミリたりとも無駄にはせんぞ！」か。笑っちゃうな。笑っちゃうけど、不覚にも二条院に同意。俺もそう思う。だからさ、俺、決めました。今日で俺の就職活動お終いにしたいと思います。思うというか、お終いにします。いろんな業界のセミナー行ったり、リクルーターの人と話したり、自分の中で探り探り就活してきましたが、なんか違います。ノ〜って感じだ。今まで俺の事を心配してくれてた人が、もしいたなら、ありがとう。そういうわけで、俺は金融志望でも何でもないので。あえて言うなら、役者志望だから。んじゃ、そういうことで。 すずめ百まで踊り忘れず。されどたれか笑わんや。 三月三

日 谷本直毅 黒報堂試験突破しました。まだ選考が始まったばかりだということあわかつとる。わかつとるけど嬉しいもんは嬉しいさ。はっきり言って、激しく嬉しい。テレビ局の時に味わった悔しい思いを一次面接に思い切りぶつけてやろう。これは俺の決意なり。連絡してみたら、あさみんも通過してるって。二人揃って内定もらえるのがベスト。そのためにも頑張らにゃ。決戦は一二日！ ところで笠井。冗談書くならもっと笑える内容で頼む。一ミリたりとも笑えんぞ。嘘っぱちこくなら四月一日まで待っとくれ。エイプリルフールは今日じゃない。今日は単なるひな祭りだ。どっかから内定もらったんならちゃんとそう書け。おめでとうメールくらいは送ったる。というわけで、書きなおせ。(追加) 笠井 冗談じゃないし、嘘じゃないし、内定もらったわけでもない。書いたまんま、就活終わる。そういうことだ。だから、書き直すまでもない。これが俺の出口だったわけだ。いやあ、太陽は明るいねえおい。最近は空気がうまくてかなわんわ。娑婆はいいよね、シャバダバダー。雛祭りが俺を祝ってくれてる気さえする。進路決めるってたぶんこういうことをいうんだな。迷って、迷って、迷って、迷って。でも今はめちゃくちゃ気持ちいい。めちゃくちゃ清々しい。スッキリしたぞこの野郎！ 悩みまくってた俺、お疲れさん。悩みまくってた俺、ありがとう。きっと世界は好転するはず。目下の俺は、素敵に無敵。怖いんだけど、怖くない。後悔しそうで、後悔しない。嗚呼、偉大なる二律背反。アンチノミーに、コッチノミー。言いたいことはただ一つ。自分自身と対話する機会を与えてくれた就活よ、ありがとう。じゃあ、そういうことで。バイチノミー。 三月五日 中林洋平 二条院へ。嫌だ。断る。お前は三木森が屈するほどしつこいから、教訓的意味合いも込めてここに書きます。自分のことは自分でしなさい。応援することはできるけど、俺は二条院の代わりにはなれないの。わかってくれよ。それに、そういう大事な場面から逃げちゃ駄目。今後のお前の人生のためにも、自分自身でなんとかしなきゃ。俺ができるのは応援までです。 話がかわるけど、笠井、就活やめるって本当なのか？ 俺としては、進路で悩みまくってるお前を見てきたから、就活を終えて現実逃避に浸ろうだなんて思ってるわけじゃないことくらいわかるさ。お前がそんな弱い人間じゃないってことも知ってるつもりだし。よければもうちょっと詳しいこと聞かせてちょうだい。たぶん、俺だけじゃなく、金ゼミメンバー全員が同じこと思ってるはずだから。この体験記に書いてくれると嬉しいな。みんな、笠井が一人で考えたがるタイプだってこと知ってたから、あんまし何も言わなかったけど、そろそろ俺たち、お節介さんになってもいいタイミングではないでしょうか。面倒臭いかもしれないけどお願いします。それじゃあ、よろしく。(追加) 笠井一 まあ、べつに隠すようなことじゃないから書いてやる。しかし、決して面白いわけではないし、ためになる話でもないから、興味ない人は読まんでよろしい。冷やかしかいらんし、冷やっこもいらんからそのつもりで。はてさて。書けと言われたから書いてやろうと思ったわけだが、いざ書こうとすると何を書いていいやらわからんのが世の定め。愛しき人を愛する思いを言葉に表そうと努力してみても、好きだ、とか、大好きだ、なんぞというありきたりな定型文ができ上がってしまうのと同じだな。かといって、君は野に咲く花のように健気ではかなく美しい、とかいう机上の文面ぶちまけたところで、それはある種の自己満足。相手に伝わるかどうかより、そんな甘っちょろい台詞を垂れ流しておる自分自身に酔っているにすぎんのだ。アスファルトの上を闊歩する多くの人たちは、自己陶醉をひどく嫌うし、周りを気にする集团的個人という立場からも自己陶醉は推奨されるべきものではない。俺はそう思うし、そ

う思ってきた。つまるところ、多勢の潮流に乗っておれば間違いないと思っておったのだ。そして、その流れから弾かれんよう、必死にしがみついとったという始末。就活するのが大学三年生の主流だろうと思ったし、大企業に入れば安定した暮らしができるだろうと思ってた。こりゃ間違った進路じゃないし、大企業に入れりゃ親は喜ぶ。おまけに周りのやつらからは、凄いなお前、ともてはやされるやもしれん。それが悪いことかといえ、答えは否。誰だって大企業に入れるわけじゃないし、そもそも俺は親の金で大学通っておるという身分。大学だって誰しもが入れるわけじゃない。だから俺は、己の学歴を総動員して就活に臨もうと思っておったわけだ。この物づくりの国を支えるべく働こうと思とったわけだ。だから企業セミナーにも行ったしリクルーターにも会ってきた。そして気付いたのだよ。俺は舞台が好きだって。死ぬほどステージの上にいるのが好きだって。リクルーター面接の時に聞かれるじゃん。「学生時代頑張ってきたことは？」とか。俺さ、自己分析すると、舞台のことばかり浮かんでくるのだよ。テレビ見ながら笑ってる時も、頭のどこかで、「今のこの自然な笑い方を覚えておこう」とか、三木森に対して腹を立ててる時も、「この自然な苛立ちを記憶しておこう」みたいに、日常生活全部が演じることに向かってるわけ。べつに俺のベクトルはマントルに向かってたわけじゃなかったのだ。舞台に、演じることに向かって矢印が伸びていたんだよ。しかしまあ、トンネルの長いこと困難極まりなかった。なんであんなに真っ暗なのかよく分からんままに就活続けておったわけだが、二条院のおかげでようやく気付いた。きらめいてなかったんだな、きっと。舞台が生活の一部でなくなっちゃう将来は、全然輝いてなかったんだよ、俺にとって。まあ、お前らが、「働きながら舞台続ければいい」と言いたいのはよくわかる。俺もそれは考えた。でもな、俺ってそんなに器用じゃない。自分で勝手に境界張ってるとか、そういうんじゃなくて、働くことがメインになる生活が嫌なんだ。俺の生活の中心が舞台でなくなるのが嫌なの。嫌なもんは嫌だし、わがままといえればわがままだ。然れどもこの世の中には、自己責任、なる大変便利な言葉があるから儲けもの。そう思い始めたら、気分がずいぶん楽になった。こいつはきっと魔法の言葉だ。魔法を手に入れた俺はホント無敵に無双。世間体とかこうあるべきとか言う、ベキの法則、も俺には通じない。俺の中では世界は俺を中心に回ってるんだから通じようがないだろう。自分が何をしたいのか、どうありたいのか、そのためには何をすればいいのか。これが俺の全部になった。俺はようやく自分に正直になれたのだ。そしたら世界が明るくなった。そして、自分が今できることをやってみようっていう気分になれた。この前レンタルショップで動画を借りてきたという話をしたが、あれはミュージカルや、お芝居や、アニメなんかの動画を借りてきたのです。一口に演じることが好きだと言っても、その進路は様々あるらしいというのを最近知った。舞台舞台、演技演技と言うておたくせに、その道に進むにはどのような進路があるのかすら、今までの俺は知らなかったのだ。だから俺は、今日から少しずつ前進しようと思う。オーディションとかも受けてみるつもり。笑いたきゃ笑えばいい。俺の中心は俺自身だから少しも気にしない。しかし、進むと決めたのだから、進むぞ絶対。結果的に何年棒に振ることになるのかは分からんが、とにかく気が済むまでやってみるつもり。いや、つもりじゃなくて、やってやる。とにかくやると言ったらやってやる。これ以上書くことないからこれでお終い。最後に。俺がこんな英断出来たのも、金ゼミに入っていたからだと思う。お前らも、先輩らも、自由奔放すぎるから、ちまちま

悩んでる自分が馬鹿みたいに思えてきたのだと思う。俺、本当は怖かったんだ。世間から弾かれるのが怖かったし、自らレールを下りるのも怖かった。でも、お前らなら一生一緒にいてくれそうな気がしたんだ。これは依存とか馴れ合いとかそういう意味じゃなくて、見ていてくれそうな気がしたのだ。何も言わずに、静かに見ててくれそうな気がするんだ。べつに手を貸してくれとかそういうことじゃない。見られていることが大切なんだ。だって、俺は舞台の上が好きだから。はっきり言おう。少しも後悔してないぞ。俺は全然後悔してない。そして、金ゼミDNAが大好きだ。納豆に混ぜ込みたいくらい大好きだ。このゼミ入ってホントによかった。二度は言わんからよう聞いとけ。それじゃあ、皆様。ありがとうございました！（追加） 田中麻美 笠井君。笠井君の日記を読んで、あらためて、就活ってなんだろう、って考えさせられました。本当、こちらこそ、ありがとうございますっていう感じです。笠井君が出した結論は、きっと、誰にも笑われなと思います。だって、みんな笠井君が悩んでること知ってたし、私たちにに見守ってきたつもりだから。だから、誰も笑いません。自分に正直になるっていう感覚。今の私にそういう感覚があるのかといえば、正直、自信がありません。自分で決めた目標に対して無我夢中で走ってるだけのようにも感じるし、周りの雰囲気自分を鼓舞しているようにも感じるからです。自分自身に、私は働きたいの？ と質問してみても、曖昧な答えしか返ってきません。どちらかという、このままずっと学生生活を送っていたいような気さえしてきます。笠井君が言う、多勢の潮流、に乗っているだけなのかもしれません。でも、そんな私でも、一つだけ言えることがあります。それは、今の私は確かに走っているということです。就活っていうのは確かにシステムのようなものなのかもしれません。そういう機械的なものなのかもしれません。でも、そういうのって、私にとってはきっかけになるの。そう、きっかけに。大学キャンパスっていう名前の大きな水槽は、すっごく気持ちよくて楽しいことばかりです。だから、この中で泳いでいようと思えば、私、いくらでも泳いでいられます。あと十年くらいは飽きないと思う。でもね、私が思うに、それじゃ駄目なの。えっと、正確に言うと、それだけじゃだめなの。水槽の中だけじゃだめなの。もっと広い世界を見なきゃ駄目なの。ううん。違う。見てみたいの。私は、広い世界を見てみたいの。だから、広い世界を見るための流れに乗って泳いでいるっていう事実が、私にとっては大事なの。走ってるっていう現実が、大事なの。だから私は後悔してないし、後悔したくない。十年後、二十年後の自分が、ちょっと疲れて立ち止まって、振り返った時に、「私、頑張ってきたね」って言えるような生き方をしたいの。だから、今はとにかく走り続けます。無我夢中で走り続けます。未来の自分に失礼のないよう頑張りたいです。うん、私、頑張るの。あっ……。途中からわけ分かんない文になってしまいました。ごめんなさい。これ以上書くと、また意味不明なことを書きそうになるから、この辺で終わりにするね。笠井君の今後の活躍が楽しみです。じゃあね。バイバイ。（追加） 二条院 麻美さん。決して意味が分からぬ文章ではございませんぞ。貴女の思いというか、決意というか、そのような熱きものがひしひしと伝わってきました。俺ができることといえば、麻美さんの就活がうまくいくよう願うことくらいでしょうか。もし他に出来ることがあればなんでもおっしゃってください。馬車馬のごとく働く所存ですからそのように。暇人になるそうだから笠井も手伝わせます。助けあってこそ金ゼミです。そこを忘れちゃいかんいかん。 ところで中林。困る困る。それは一方的に困るからやめとくれ。まあ、落ち着け。落ち着くのだ。そして考えを改めろ。ここはひとまず妥協案。八日

に飯食おう。助けあってこそその金ゼミだ。そこを忘れちゃいかんよ。いかん！ 以上。（追加）

山井里央 笠井君。うちの的には、やっぱりなあ、って感じだよ。だって、笠井君が演劇大好きなこと知ってるもん。よーへいとも、そういう話、たまにしてたんだよお。それでね、そういう話すると、いつも最後は、笠井君が羨ましい、っていう風にまとまるの。だって、うちにはそこまで本気になれるものってないもん。そこまで真剣にアツくなれるものにまだ出会えてないんだもん。だから、笠井君のことが羨ましいの。そういうのって、考えれば気付けるってものでもないでしょ？ だって、うちはどんなに考えてもそういうの浮かんでこないから。浮かんできても、すぐ就活に負けちゃうから。負けちゃうってことは、大事なものじゃないってことでしょ？ うち、分かんないけど、たぶんそういう大切なものって、身体の中から湧き出てくるみたいな感覚なのかなって、勝手に思ってるの。うまく言えないんだけど、きっとそういう感覚だと思うの。なんかすごく断定的だね。（笑） でもね、正直言うと、そうじゃなきゃ困るの。もちろん、困るのはうちだよ。（笑） だって、そうじゃなきゃ私、就活続けられないよ。続けられないの。あのね、うちもいろいろ考えたりすることあるんだあ〜。意外かな？ でも、本当なの。いろいろ浮かんでくるんだけど、最近思うのは、もっぱらよーへいとのことばかりです。なんていうか、学生生活終わっちゃったら、私たちどうなるんだろうとか、そういうの。（笑） 笠井君と比べたらちっぽけな話です。でもね、うちにとっては大事なことなんだあ。それでね、そういうこと考えてると、うち、就活できなくなっちゃうの。よーへいはパイロットになるんだなって考えると、私はどこに住めばいいんだろうって考えちゃうでしょ。そういうこと考え始めると、業界もすごく狭まっちゃうし、地域も限定されちゃうの。これってホントに悪循環。だからうちは、頭の中にポツポツ浮かんでくるものは、全部考えないようにしてるんだあ。考えないっていうか、無理やりプラス思考に切り替えるってカンジ。切り替えようがないじゃんなんて言わないでえ〜。こんな私だから、笠井君の決断を見た時は、焦りました。こういう決断してもいいんだっていう、驚きみたいなものかもです。うちの頭の中に一瞬だけ、就活しないで、よーへいのお嫁さんになるっていう選択肢が浮かんだの。一瞬だけだよ。一瞬だけ。もちろんすぐに消えちゃった。だって、前もどこかで書いたかもだけど、そういうのって不平等でしょ？ 依存しちゃってる。それじゃあだめなの。絶対にダメ。だから、身体の芯から湧き出るような、うちがまだ経験した事のない感覚で主張してくる何かじゃない限り、就活を犠牲にしちゃダメだって考えるようにしてるの。それがうちのルールなの。だから断定的になっちゃうんだあ。うちが就活してるのは、ある意味、よーへいに負けたくないためでもあるの。だって、平等でいたいから。うちばかりがもたれるのって、嫌だもん。よーへいにももたれかかって欲しいもん。な〜んて。書かなくていいことまで書いちゃった。（笑） でわでわ。笠井君の進む道が決まってよかったよ〜。うちはうちで就活頑張るからねー。できれば団体戦で頑張るからねー。（笑） またねー。ばいば〜い。 三月六日 谷本直毅 笠井。お前が決めたことだから文句は言わんさ。だが、アドバイスクらいはしてやらんこともない。今言えることはただ一つ。お前がどんなに英断したところで、お前の演技力は大根レヴェル。こりゃ満場一致で間違いない。だから、まあ、その、なんだ。とにかく努力しろ。行き詰った時は、近頃ミュージカル観ることが趣味だと言いつけてやまない三木森に辛口評価でもしてもらえ。ちなみに、三木森がミュージカルに感動す

るポイントは、声がでかいところだそう。まあ、それくらいの評価基準だ。恐れることない。とにかく自分のペースで宇宙を好転させればいい。べつに頑張れとか言うつもりはないから言いません。ほどほどにやればいいんじゃないかな。うん。それだけ。ところで。広告会社ディー・ケイ・ツアのES通ったぞー。何か滑り出し好調でいい気分。このままの調子で就活ハッピーエンディングを迎えられたらいいなあ、なんぞと夢見心地でフワフワお空に飛んでいかんよう気をつけねば気をつけねば。面接からがスタートライン。気を引き締めていませう！

ほなほな。ばいちゃ！（追加） 中林洋平 そっか～。役者か～。何か改めて、いろんな進路があるんだなって思ったよ。俺たちの大学って無難に就職していく人が多いじゃん。俺もだけどさ。だから、笠井の決断は新鮮に映るし、何でかわかんないけど、俺たちも頑張らなきゃって思えちゃうから不思議。いい刺激になりました。笠井の日記は、きっと、来年就活やってるであろう後輩君たちにもいい刺激になると思う。だから、笠井も役者っていう道で結果出して、金ゼミのレジェンドになってくれよ。ちょっとだけ期待してるからな。（笑）ここからは里央へ。日記読んだよ。そんな話一度もしてくれたことなかったから、なんていえばいいのかな。俺から言えることはホント一つしかなくて、俺のことなんて気にしなくていいよ、っていうことくらいです。う～ん。なんか上っ面だけのセリフって感じだね。でも、ホントに気にしなくていいから。なんていうか、全部終わってから考えよう。就活が終わってから考えるの。それじゃあもう遅いかもしれないけど、まだ間に合うかもしれないし。内定もらった時にも書いたけど、俺ってそんなに働くことに対してこだわりとかないんだ。働きたくないとかそういうことじゃないよ。もちろん働きたい。でも、内容にそれほどこだわりはないんだ。だからね、俺、思うんだ。進路のせいで俺たちが駄目になるかもしれないんだったら、俺たちに合う進路を見つけられればいいって。里央は英語が得意でしょ。だから、小さな町で小さな英会話スクールを開くんだ。二人のペースでゆっくりゆっくり進めばいい。チビっ子たちに囲まれながらのんびり暮らすのも悪くないよ、きっと。それで、俺は里央が英語教えてる間、地域のスポーツ少年団のコーチやってるの。あれ？俺、働いてないね。（笑）まあ、これはたとえばの話だけど、こういう進路も俺の中ではアリだから。だから、里央の好きなように就活やって頂戴。そうじゃないと、俺もなんかスッキリしないからさ。うん。それだけ。これからはゆっくりこういう話でもしようよ。結構楽しそうな気がするなあ。盛り上がるよ。きっと。それじゃあ、アデオース。三月一日 谷本直毅

ディー・ケイ・ツアの一次面接行ってきた。二対三の集団面接。三が俺たち。聞かれたことは一分自己紹介と、ESに沿った質問だった。しかし一つだけユニークな質問があったから書いておく。「干支に新しく一匹加えるとしたらなんですか？理由とともにお願いします」というものだ。これは、浮かんだ人からの挙手制でした。ちなみに俺が一番最初にネコと答えました。理由は、気ままなスローライフの提案とか言ってしまった。なんちゅ一つまん理由であろう。少々落ち込んだが言ってしまったもんは仕方ないと即座に切り替え、残り時間を万事つつがなくこなした。はっきり言って自信あり。少なくとも他の二人よりは出来がいいと思う。若干早口になってしまった気もするが、悪い印象与えるまでには至ってないはず。明日までになおしとこう。何せ明日は黒報堂。やるっきゃない！ここでやらんと男でない！んじゃ。今日の反省して明日にのぞむわ。その前に豚キムチ食ってくる。バイチャ。（追加） 田中麻美 谷本君。私は、ディー・ケイ・ツアはESで落ちたから、面接まで言ってる谷本君が羨ましいです。でもその

分私は明日の黒報堂にかけてます。私なりに対策してきたつもりです。だから、準備万端です。二人ともいい結果が出るように頑張ろうね。それじゃあ。ばいばい。（追加） 二条院 麻美さんなら絶対、受かりますとも、受かりますとも。谷本は空気読んで遅刻しろ。ところで麻美さん。一四日は大学におられるでしょうか。ご返事くださればご幸い。以上です。 三月一二日

田中麻美 黒報堂の面接を受けてきました。すっごく緊張したよう。学生四人対面接官二人の集団面接でした。内容は、ESと全然関係ないことばかり聞かれて、一分自己紹介の後、「好きな言葉とかモットーってある?」「最近のトラブルとその克服方法は?」「最近気になるニュースとその理由」「親から言われた自分の欠点は?」っていう感じでした。会話の中で、「私は嫌いな人がいません!」って言っちゃったのをすっごく後悔しています。(涙) 面接官の人が即座に、「それって嘘だよ」って切り返して来て、私にしてみたらそれは全然嘘じゃないから、「本当です!」って言い張りました。こんなやり取りを三往復も……。本当なんだけど、証明のしようがないもんね。こういうことは言わない方がいいです。ものすごく反省してるし後悔してます。このやり取りがあったせいもあって、後半は全然笑顔じゃなかったの。焦っちゃって……。めちゃくちゃショックです。できることならやり直したい……。谷本君は、ディー・ケイ・ツ一の時みたいに、ほとんど完璧な手応えだそうです。テレビ旭のときに培った自分を売り込むためのコツが役に立っているそうです。谷本君。よかったらそれ、教えてください。 二条院君へ。一四日は、夜以外なら空いてます。だから、大学に行けるよ。夜はバイトなの。ごめんね。それでもいいかな? お返事待ってます。じゃあね。バイバイ。(追加) 二条院 麻美さん。お忙しい中ありがたいです。それでは、十五時くらいに図書館の前でお待ちしております。できればでよいので、来て下さればうれしきかな幸せ。合唱合掌ナムナムナム。俺は紺色のマフラーしていくつもりですから見つけやすいはず。是非是非見つけてやってください。そんなに人いないだろうから、見つけやすいと思います。それではそれでは。 以上です。 三月一三日 谷本直毅 結果来ました黒報堂。通ってた! 俺とあさみんしかいないパソコン室は歓喜の絶叫に包まれましたよ。もちのろんだがあさみんも二次進出! よっしゃ! とりあえず叫んどこう。金ゼミ最高! 二次面接も頑張ろう。ちなみにあさみんが書いてた、コツ、の話ですが、こりゃまあごく簡単なお話で、デカイ声で話すという、まあ、どこの就活本にでも載ってそうなコツですよ。インパクトを残すっていうか、たぶん面接官は一日に何人もの学生を見てるわけで、お疲れだろうから、俺の時くらいは目を覚ましてもらおうかという、そういう魂胆。なんか、ありきたりですいません。でもこれが、俺が学んだコツの全貌だからさ。でわ。バイチャ!(追加) 中林洋平 緊張するなとは言わない。でも言うべきことはちゃんと言おうね。それが俺からのアドバイス。肝心なところでナヨナヨするのが一番良くない。あと、砂糖の量を間違えないでね、という伝言を預かってるから、ちゃんと届けました。以上、心に刻んでおいて欲しい教訓でした。 三月一四日 田中麻美 二条院君。ありがとう。二条院君が言った通り、人が全然いなかったから見つけやすかったです。二条院君は、まだ本格的な面接に入っていないんだね。私の経験から言うと、面接はすっごく緊張するから、いきなり本命の面接を受けるのはお勧めしません。社会人の人に会う機会を何回か作ってから受けた方が、後悔することも少なくなると思うよ。 今日のことだけど、本当にありがとう。人生初体験です。二条院君

って、ホント何でもできるんだね。尊敬です。今日は寒かったから二条院君はちょっとだけ震えていました。私が、「寒い？」って聞いたら、「いやいやむしろ暑いです」って言って、コートを脱ぎだした時は、おかしくて笑ってしまいました。ごめんね。だって、服脱いだのにホッカイ口握りしめてるんだもん。最近はあるまりホッカイ口見てなかったのもあって、ほっこりしてしまいました。二条院君って癒し系です。お鼻が赤くなっていて、ピエロさんみたいだったの。就活の合間のホッコリは効果抜群です。明日からまた頑張れるような気がしてきたよ。ほっこりな二条院君に感謝です。いい報告ができればいいなって思います。二条院君も頑張ってるね。私、応援してます。私も今度何か作ってくるね。それじゃあ。ありがとうございました。バイバイ。 三月一五日 山井里央 またまた本日生命のリク行ってきたよー。でもでも、仕事と関係ない話ばかりだったから、選考とどう関係あるのかさっぱりだよ。これで次呼ばれなかったらショックです。やっぱり就活って不透明な部分が多いなあって思うの。だって、大学ごとにリク面するフロアが違うんだもん。なんだかちょっと複雑だよ。 二条院君へ。麻美の日記を読む限り、言い出せなかったみたいだね。でもでも、大丈夫だよ。そういうのって、もっと時間かけてもいいものだもん。本気だったら本気なだけ言い出せないものだもん。だから、落ち込まないで。昨日言えなかったからお終いっていうものでもないでしょ？ うちらが頑張れ頑張れって応援しちゃったから、それが逆にプレッシャーになっちゃったんだよね。ごめんね。二条院君のペースでいいから。今度は、二条院君のペースでトライしてみようよ。一回で諦めちゃうのが一番ダメだよ。自分に正直になることが一番大事だと思うの。形式と違って全然関係ないから。だから、だから、二条院君の気持ち、大切にしてくれ。里央でした。（追加） 二条院 山井さん。ありがとうございます。中林。飯食おう。 以上。 三月一七日 谷本直毅 黒報堂の二次面接行ってきました。二対一の個人面接だった。内容は、半分ESでもう半分はES外から。困ったのは、「OB訪問しましたか？」という質問だ。まあ、会話の流れからこうなってしまったわけで、今後はこの質問がこないようなトークをせにゃならんと思った。ちなみに俺はOB訪問してなかったから、その代りに説明会の際にプレゼンしてた人の名前を出してOB訪問したことにしました。深掘りされたら即アウトだったろうが今回は名前を出したら、「そうですか」といって次の質問に切り替えてくれたから助かった。冷や冷やもんだ冷や冷やもん。しかしこういうスリルはある意味病み付き。面接とはまさしく駆け引きだなと実感した瞬間でもある。言ったもん勝ち、というのが今日の収穫。他にも、「他の人と比べて友達の数が多いと思う？」とか、働きたい職種なんかを聞かれました。全体の印象としては、面接官の反応が微妙で終いには面接途中で思いっきり背伸びされたからあんましよくない。されども、あくびされんかっただけまだましと思える俺はたぐいまれなるポジティブシンカー。言いたいことはだいたい言えたから悔いはない。そう言い聞かせる夕方三時。世間じゃきつとおやつの時間だ素敵な時間。素敵な時間といえば、昨日深夜にディー・ケイ・ツーの一次面接結果が届きました。問題なく通過です。手応えと結果が正比例してるから気分がいい。明日には黒報堂の結果がわかるだろうからこのままの調子でいきたいもんだ。ほいじゃ。ばいちゃ。（追加） 中林洋平 二条院。里央はダメです。「山井さんを俺にくれ」ってなんだよ急に。里央の優しさに触れたからって心変わりするのはルール違反でしょ。そもそも里央はモノじゃありません。凹んでるのはわかるけど、だからって現実逃避するのはよくないよ。そもそもお前が凹んでる理由ってのも、言えなかったっていう

だけの理由なんだから、もっと気持ちを強く持たなきゃ。二条院は、「今の思いを内に秘めたまま就活にのぞむのはなんだかギコチナイ」って言ってたよね。その気持ち、なんだかわかるような気がします。今の二条院は何やっても手につかないんだろうなあ。見事なまでに青春ってわけだ。（笑）里央も言ってたように、もう作戦とかなしにしようよ。二条院のペースで行くのが一番いいよ。背中を押された一歩じゃなくて、二条院自身で踏み出した一歩は、きっと、どんな一歩よりも力強いはずだから。これは先週、笠井と飲んだ時に、笠井が言ってたことなんだ。だから、この言葉はきっと本物だよ。二条院にとっての魔法の言葉になればいいと思います。当分一緒に飯食うのはやめよう。大丈夫だから。焦らなくてもいいから。とにかく、一歩を踏み出してみよう。二条院自身の一歩を。そこからすべてが始まるはずだから。ここら辺でお終いです。じゃあ。アデオース。 三月一八日 谷本直毅 黒報堂二次通過！ よし。順調順調。来週は東京に乗り込むぞー。英気を養うため新幹線を使うつもりだ。お金が風船の如く軽やかに飛んでいくが仕方ない。俺の飛翔の糧となってくれるならそれもまたよきかな、よきかな。最近いろいろ触れたいことがありすぎて自制するのに必死だが、まあ、こう、抑えて抑えて選考の場で昇華させてやろうと目論んでおるから案ずるこたあない。触れへんよ。触れやせんから自由にやってくれ。俺から言えるのはただ一つ。金ゼミ生徒なら金ゼミ生徒らしく、後悔せんよう思い切りやれということだけだ。以上、幹事からの一言でした。バイチャ。（追加） 田中麻美 谷本君。選考頑張ってください。私はまだメールきてないから、二次面接は駄目だったみたいです。すごくショック……。でもまだ選考が始まってない広告会社もあるので切り替えていきたいです。というか、切り替えるしかありません。四月からはほかの業界の選考も本格的に始まるから、広告業界だけじゃなくて、他の業界の勉強もし始めようかなって思ってます。今日の悔しさをばねにしたいの。だから、今日だけは深く沈みこもうかなって思ってます。（笑） たまにはこんな日があってもいいよね？ 今日はゆっくりしたいと思います。谷本君、私の分まで頑張ってください。絶対内定獲得してください。じゃあね。ばいばい。（追加） 谷本直毅 あさみんへ。なんか、一人で浮かれてしまっただごめんなさい。空気読めてませんでした。深くお詫びします。でも、あさみんもまだ駄目だって決まったわけじゃないじゃん。面接官の人が言ってた結果報告の期限まで、まだ一週間もある。だから、諦めないでください。たまに休憩するのはアリだと思うからゆっくり休んでね。充電して晴れやかに復活してくればいいと思います。それじゃあ。ごめんね。（追加） 田中麻美 谷本君。謝らなくていいよ。ありがとう。ひとまず昨日はとことん落ち込んでみました。自分の底が見えたような気がします。（笑） だから今日は気分転換も兼ねてお買い物に行ってきました。就活以外でお金を使ったのは久しぶりです。そしたら偶然、三木森君に会いました。テストセンターを受けに行ってたんだって。三木森君、全然解けなかったから、その腹いせにぶらぶら歩いていたのだそうです。三木森君らしいよね。（笑） 一緒にお昼ご飯を食べた後、私の用事はすんでいたので、三木森君の買い物に同行してみました。三木森君ってどんな買い物をするのか興味があったの。（笑） 三木森君が足を運んだのは、大きなスポーツ用品店でした。いろんなコーナーを見て回った後、最後にたどり着いたのがプロテインのコーナー。どうやら三木森君はこのコーナーが目当てだったらしく、私に気を使って、いろんなコーナーを回ってくれてたみたい。まさか三木森君に気を使われるなんて思っても見なかつ

たよ。(笑) 三木森君はプロテインにこだわりがあるようで、どんな成分が何パーセント入っているかということ、事細かにチェックしていました。私にはさっぱりわからなかったけど、スポーツを頑張ってる人にとっては、大きな違いがあるんだろうなって思いました。普段できない経験ができて、なんだか新鮮な気持ちになりました。お店を出た後は、せっかくだからということで、二人で赤い観覧車に乗りました。私、あれに乗るの初めてだったの。すごくうれしかったです。三木森君、ありがとう。観覧車の中では、自然と近況報告になったよね。三木森君は部活の先輩たちからよく声をかけられるそうです。羨ましいなあ、って言ったら、「そうでもないよ」と言われてしまいました。でも、ちゃっかりご飯はおごってもらってるみたいです。やっぱり羨ましいです。私が黒報堂落ちたって話をしたら、「諦められないなら、また来年受けなおせばいい」って言うてくれました。話を聞いていて思ったんだけど、三木森君は全然必死じゃないよね。もちろんいい意味で。全部落ちたらもう一年テコンドーができるっていう感覚らしいの。むしろ、落ちてしまいたい、っていう印象すら受けました。それだけテコンドーが好きなんだね。羨ましいなあ。久しぶりに三木森君とたくさんお話できたので、いい気分転換になりました。明日からまた就活頑張れそうです。ありがとう。それじゃあ、またね。バイバイ。三月二十日 谷本直毅 二井物産の社員交流会行ってきた。久々の商社だったが改めて商社が第一志望だと確信したぞ。エネルギー第一、化学第一、二人の社員さんとお話しさせていただいたのだが、とにかくスケールがでかくてカッコイイ。ロシアの大統領の名前とか出てきた出てきた。前者の社員さんは一年目の女性社員だったのだが、なんかこう、凜とした美しさのようなものを感じた。一対一じゃ絶対負けない！ みたいな。俺たちと歳も近かったから選考どんな感じだったか聞いてみた。そしたら一言、「勢い」って言われた。とにかく勢いを前面に押し出して行けば受かるんだ

四月一日 谷本直毅 疲れた～。積友商事と佐藤忠の筆記試験受けてきた。いやあ。積商はムズイね。特に英語が。時間内に終わらんかったよ。こりゃちょっとまずいかも。一方、佐藤忠は比較的できたと思う。しかし俺ができたと思うとるということは、受験した全員が手応えありと思っとるはずでして。このジレンマやいかに！（追加） 山井里央 三菱銀行のグループディスカッション受けてきたよ～。受験者の数がすごくてびっくりしたけど、平常心で受けることができました。ビー・アンド・シーで経験してたからちょっと余裕だったかも。お題は、「今後の金融業界について」という漠然としたのだったよ。だから、メンバーの話題の方向性を見てから発言しました。社員の方も頷いてくれてたから好感触だったの。そしたらさっき電話があって、一次選考突破って言われたよー。二条院君とミッキーも通過したって。この調子で頑張ろー。谷本君と麻美も頑張ってる。じゃあね。 四月二日 谷本直毅 三木森も少しくらい情報残してくれるとありがたいのだが。もしくはメール返せ。今日は九紅受けてきた。なんか、積商最初に受けたからかもしれないがそこまで難しいとは思わなんだ。しかし英語は相変わらずダメダメ。ほとんど塗り絵と化していたからパピルスに申し訳ない。そして、二井物産通過の連絡が昨日あった。おととい天通通ったテストセンターの使い回しを送付して昨日通過通知と。なかなかテンポがいいですな。やっぱしあんま関係ないかもねテストセンター。商社全般このテンポだとすると、積商と佐藤忠はあやしいな。なんだよ。いきなりピンチかよ。おい、三木森。お前の方はどうなんだ？ 少しは返信してください。（追加） 山井里央 青色銀行と三菱銀行行ってきたよ。なんかもう、両方とも学生時代の話ばっかだったから、どっちがどっちだったか覚えてません。でも、両方とも電話ありましたあ。二井積友銀行は連絡ないから多分落ちちゃったんだと思う。原因がいまいち分かんないのがつらいとこだけど、気持ち切り替えて残ってるところに全力を傾けたいと思います！ ファイトー。だよ。 四月三日 田中麻美 武畑薬品の面接受けてきました。学生四人対面接官二人の集団面接で、雰囲気はとっても良かったです。面接官の方がお二人ともすごく優しく、緊張をほぐそうとしてくださっているのがよく分かりました。内容は、ESの質問項目と全く同じことを聞いて下さって、とても答えやすかったです。その分どうやって合否を決めるのか疑問に思ったけど、そんなこと考えていてもどうしようもないよね。だから、考えないことにしました。私にとっては明日が勝負どころです。頑張ります。みんなも頑張ってる。じゃあね。バイバイ。（追加） 山井里央 三菱銀行と青色銀行行ってきました。青色銀行からは連絡あったんだけど、三菱銀行からは連絡ないの～。ヤバイ～。地域限定の募集を残してる所が何個もあるからまだ泣かなくて済みそうだけど……。とにかく残ってる所に集中するしかないよね。二条院君とミッキーはどんな感じなのー？ よかったら教えてよー。（追加） 谷本直毅 双目の面接受けてから三菱商事の試験受けてきた。これでとりあえず試験攻勢は終わったことになる。双目の方は学生二人対社員一人の集団面接。学生時代頑張ったこととか、商社で何がしたいとか、何か面白いニュースを教えてだとか、だいたい予想通りの面接だった。で、非通知のコールとったら双目からで、次の面接の予約しました。九紅も昨日の夜メールあったから、商社の仕事の速さには驚き桃の木だ。筆記の方は相変わらずです。英語が

できない終わらない。マズいな。マズすぎる。積商と佐藤忠は相変わらず連絡こんからこりゃもう諦めた方がいい。やべーな。ヤヴァイよ。俺も三木森と二条院のことが気になります。メール返さないことに定評があるこのツートップが縄紐購入しとるんでないかと気が気じゃありません。生存確認の信号くらい送れよ送れ。それでは皆さん。健闘を祈る！ 四月四日 二条院 いや最近は忙しすぎて書くにかけなんだのだ。すまんすまん。俺は三菱銀行残ってます。他の金融は全部相性悪きかな。うんともすんともいきません。まあ、相性ばかりはどうしようもないから仕方ない。合わぬようならそんなもんこっちから願い下げ願い下げ。俺の人生託してたまるか。俺の遺骨を埋めてたまるか。俺に会えただけでも感謝しとけよこん畜生。見る目がないこと後悔しとけ。そしていずれは泣き喚け。はてさて。何やら明日が大勝負。電話口で決心しとけと言われてましたが、はたして何を決心すべきか。俺は超絶多忙な男ですから日々決心の連続なわけ。無論人生が決断の連続なのは言うに及ばず。俺は生まれてこの方大小様々な決心をしてきたもんだとやや感傷にふけてみたものの、振り返ってみてもやはり後悔というのは些か程もござらんござらん。決心とは、やはり頭で考えるものであるというのが俺の信条。行動しました失敗しましたでよきははずがないのだアンポンタン。あらゆるリスクを想定し、それを脳内シュミレーションで回避してこそ安心安全な人生設計ができるはず。少なくとも俺はそうやって生きてきたし、これからもそう生きていくつもり。お主ら喚こうが、んなこと知らんよ知りません。行き当たりばったりの人生の方が楽しき幸せ、なんぞとほざく阿呆がおるがそれはそいつの趣味趣向だから知ったこっちゃあないんだよ。お前の価値観俺に押しつけるな馬鹿野郎。所詮俺たちでっかい箱の中で生きている。箱の外装が一人で、箱の形が文化で、箱の集まりが社会なわけだ。要は、隙間なくぴったり合えばいいのだこの世の中は。中身なんてどうでもいいのだ。何考えてるとか、何しようとしてるとか、そういう中身は不問な世界ということだ。秩序は外装にあるんだ、外装に。外面さえ合えばそれで世界は完成だ。なんて素敵なジグソーパズル。我が教え子たる中坊にやりたいくらいだ。勉強そっちのけで遊び始めることだろう。楽しいだろうな。楽しいだろう。我思う。そんな俺って何なのだ？ 俺が単なるピースだとしたらそれを動かすのはどこのどいつだ。中坊の指先かたまた仏の爪先か。我思う。何たる受動か何たる受け身か。成り行きというのは実に楽ちんな時間で、何もせんでも明日が落ちてくる。阿呆なら歩き方すら忘れてしまうさ、忘却の彼方。我思う。だから阿呆は頭が重いし腰が痛くなる。至るる結果は寝たきりだ。動こうとせん。されどもいつか立ち上がれると思っとる。いつか治ると思っとる。タイミングさえ合えば何とかかなと思っとる。我思う。だから想像が得意なのだ。常にイメージしとるから。毎日が練習レッスンだから。いつ本番が来るとも知らん癖に。本番を作るのは己自身だということを知りながら。我思う。変わりたいと。 たぶん明日が最終面接。その場で内定出ること期待して何が悪い。そして必ず高笑いしてやるから覚悟せい。いろいろ決めねばならんのだ。タイミングではないのだ。変わることができるか否か。おそらくきつと、それだけなのだ。うむ。良きかな決心！ 以上。（追加） 田中麻美 天通受けてきました。人生で一番緊張したよう。個人面接で、自己紹介シート通りの質問をされました。ところどころ、「その場面であなたが工夫したことって何かある？」みたいなことを聞かれたけど、全然困るような質問ではなかったよ。私の印象では、私がいることでチームにどんな付加価値を与えられるのかっていうことを見られていたんだと思います。そういう意味では私なりにうまく答えられたと思ってるの。でもやっ

ぱり、不安は不安です。残ってる企業も片手で数えられるくらいだし。天通入りしたいです。人に何かを伝える仕事したいです。今日は改めてその思いが強くなりました。明日は武畑薬品の二次面接です。落ち付いて、普段の自分を出せるようにしたいです。じゃあね。バイバイ。（追加）

谷本直毅 今日朝から晩まで面接だった。正直疲れたぞ。まずは朝一で二井物産の面接。めちゃくちゃたくさんブースがあって、一対一の面接だった。俺の相手をしてくれたのはハンサムスーツがよく似合う素敵社員さんだった。なんかESとか全然見てなかったな。自己紹介、自己PR、志望動機を合わせて三分でしてって言われて、そこで言ったことに対してどんどん突っ込まれてく感じ。前半は無難にこなしたが、後半は、「上司に提案を跳ね返されたらどうする？」（改善してもう一度提出します）「フワッとした感じでダメだと言われたら？」（周りと相談しながらもう一度）「そうじゃなくて、なんとなくダメ、みたいな。理由なくダメ、みたいに言われたら？」（飲みに行きます。本音で話せる雰囲気作りです）みたいなやり取りの応酬だった。なんかもう、掴みどころなかったなあ。でもまあ、楽しかった。OB訪問八人したのにそのことが言えなかったのは反省点だが、最後に、「じゃあ、次も頑張るって」って言われたからたぶん大丈夫だろうというのが俺なりの予測。二井物産の後はずぐさま本日放送の面接だった。遅刻しなくてよかったよかった。相変わらずディレクター職で受けてるのだが、一対一の面接官がいきなり結構齢いってる人でびびったぞ。なにやらESの内容は完全にインプットしてるらしく、ブースに入った瞬間から面接終わるまで一秒たりとも俺の両眼から視線を外してくれなかった。質問内容というか口調が若干厳しいような気もしたが、それより何より面接官の目ん玉クリクリなのが怖かった。おかげで初めて面接しどろもどろを経験しました。あんまし対策してなかったのもよくなかった。キー局みたいに声張ればなんとかなると思ってたが大間違い。なんか全部白髪のおっさんに吸収されちゃったって言う感じです。久々にテンション下がりまくりの面接だった。その次は九紅の一次面接。経費削減か知らんが蛍光灯ついてなかったから暗いイメージを抱いてしまった。一対一で聞かれたのはESの内容だった。面接官が面接始まる直前に読んでたが、あれで頭に入ってるんだらうか。聞かれたのは特にバイトの話が多かったかな。あとはいつも通りどの部署に行きたいかとかそういう話。だんだん商社の面接にも慣れてきた頃だから問題なかった。蛍光灯以外は気分もルンルンで、最後に臨んだのは天通です。本日放送の悪夢が脳裏をよぎったが、商社のテンションで声馬鹿でかくハキハキしゃべったら、眠そうにしてるお兄さんたちも起きてくれたさ。最後の方は俺が答える前に片方の面接官が誘導的に答えてくれて、俺は、「はい。その通りです」って言うだけで終わっちゃった。なんかちょっぴり拍子抜け。商社も広告もやっぱテンション大事なんだな。改めてそう思いました。あ～あ。志望動機クルクルかえるの大変だった。明日一発目から本日放送四時間耐久筆記試験だけど、どうしよう。起きる自信がありません。天通の自己紹介シート徹夜したもんな。今日の面接の感触から考えるに、本日放送のテスト受ける意味ないような気がするし。よし。決めた。起きたら行こう。そうだ。そうしよう。それがいい。んじゃ、またね。 （追加）

山井里央 青色銀行受けてきたよ。まだ電話は鳴らないけど、手ごたえはあるんだあ。うちもそろそろ大詰めかなって感じなの。二条院君も順調みたいでよかったです。ミッキーはどうなのお？ そろそろまた洋平の家で騒ぎたい頃なんじゃないのお？ 遊びにおいでよ～。そして、報告してよ～。でわでわ

。また明日～。 四月五日 田中麻美 武畑薬品の二次面接を受けてきました。今度は個人面接だったよ。自己PRと学生時代の話から始まって、志望動機、MRについてどれくらい理解してるかっていう感じの質問まで、短くいろいろ聞かれました。相変わらず雰囲気はよかったです。優しい雰囲気、やっぱり医薬品っていう人の命にかかわるものを扱っている人たちって素敵だなって思っちゃいました。印象がすごくいいの。もっと早くから、MRっていう仕事を知っていればよかったなあって思うくらいです。広告に目線が行き過ぎてました。後輩のみなさんは、こういう失敗はしないようにしてください。私はとにかく、一つ一つの面接を丁寧にこなしてください。ここは連絡来るのが早いから、今日中に連絡こないかなあって思ってます。じゃあね。バイバイ。(追加) 谷本直毅 テストは結局行かんかった。昨日あれから電話かかってきて、九紅の面接がどっかぶりで入ったからそっち優先しました。本命たる商社の方にわざわざ日程変えてもらうのもあれかなと思って。まあ、そうやって言い訳作って本日放送とはおさらばしたわけだ。もったいなかったかなって思いもあるが、もう済んだことだから仕方ない。切り替え切り替え。んで、九紅の二次面接は二対一の個人面接で、今度はちゃんと蛍光灯ついてた。(笑) 質問もESの内容ばかりで、ちょっと派生して、「環境問題について日本はどういう戦略を取るべきだと思う？」という質問がやや難しかったところでしょうか。俺は自動車産業なんかを例にとって話しました。たぶん正解なんてないだろうから、なんか話せばそれでよかったはず。今回の面接はこんな感じですぐに終わってしまいました。お次は双目の二次面接。相変わらず面接官一人、学生二人の集団面接だった。内容も特筆すべきものは何もない。ただ最後に、一緒に面接受けてた学生が面接官に、「今日の私はどうだったでしょうか」なんて逆質問をして、その評価を俺に振られたのは正直困った。だってその学生あんましよくなかったんだもん。話が長くて何言いたいのか分からんタイプ。仕方ないから正直に、「もっと端的に話せば伝わりやすくなると思います」って言ってやったさ。そしたら面接官も俺に同感だと言ってくれた。雰囲気良かったから、たぶん通過してるだろう。うん。順調順調。そういえば、落ちたと思ってた佐藤忠から昨日電話があって、明日面接入りました。いやあ。何が起こるか分からんね就活は。いい意味でのサプライズが続く事を願うよ俺は。ほいじゃ。お疲れでした。(追加) 山井里央 出たよー。合格もらったよー。ヤバイ！ ヤバイ！ 超嬉しい！ 青色銀行から合格いただきました。もう、なんにも言えないって感じ。言葉じゃいい表せないよこの感動。もう、最高です。うん。ホント嬉しい。これで一つ区切りがついたよお。内定は、就活辞めますって言うからじゃないと出ないんだって。一応また明日電話することになってるの。もちろん、うちは就活辞めましたって言うつもりだよ。うふふ。でもホントは辞めないのお〜。うち、今日、資生紡のテスト&面接を受けてきたんだあ。資生紡だけは受けたかったの。だから、青色銀行には内緒でここだけは受け続けます。テストは正直難しかったです。時事とかいろんな科目が一つのテストになって、時間配分が難しかったの。得意なはずの英語にちょっとしか時間使えなかったのは、ミスったなあって感じ。でもそこそこできました。面接は集団面接で、お菓子とか食べながら出来るアットホームな感じだったよ。もちろんお菓子なんて食べれなかったけどお。(笑) 最初から最後までいい印象で終わることができました。お土産に日焼け止めまでもらっちゃったあ。紫外線対策はバッチシです。里央はそんな感じだよー。ひとまず泣かなくて済みそう。でも、資生紡落ちたらうるうるきちゃうかもだけど、その時はなぐさめてくれたらうれしいなあ

。でわ、このへんで。またねー。（追加） 二条院 山井さん。おめでとう。そして引き続き頑張ってください。貴女なら必ず良き結果を得られることでしょう。中林の喜ぶ顔が目につかぶ。俺の方はというと、今日で就活終しまいです。俺も合格もらいました。三菱銀行で働くことにする。この際だから言ってしまうと、俺はここが最後の砦。三月くらいからちょくちょくリクレーターたるおしゃべりさんたちを受けとったのですが、いかんせん相性の良し悪し。俺の指先からするすると離れていってしまうから内心気が気じゃなかったです。まあ、受かったから何でもいいしどうでもいい。過去の産物は忘れるに限る。焼却忘却。消し去れどンドン。しかし俺は思います。合格という言葉の響きの何と素晴らしきことか。嬉しさとともに自信がみなぎります。相性さえよければポンポン内定もらえると確信しとった俺でさえ、合格と言われるとやはり嬉しきかな幸せ。俺という存在を認めてもらえたみたいで、明日からさらに胸張って渡る世間を闊歩できそう。視界が晴れやかで空も飛べよう。箱の世界から脱却できるやもしれません。いや、せんといかんのです。いやいや、脱却したいのです。自分から行動せんといかんと知りつつも未だ俺は動けずにおる。相も変わらずタイミングを待っておる。嗚呼、嘆くべきかな、受動態。恥ずるべきかな、ただ待ち人。でも、だが、しかし。まさしく今がタイミング。間違はずなきタイミング。ベストをつけてもいいほどのタイミングを前にして俺は思うのだ。今日だけは自己中心的世界に浸ろうと。バランスばかりを気にする己をかなぐり捨てようと。美しき自然も時には残酷。されば世界の balanサーたるこの俺も、時にはエゴに走ってもよかろうぞ。エゴイスティックのステッキ振り回してもよきはすよきはす。だから言います。言うのだ、言うのだ。聞いてください読んでください。あ。部外者は読まんでよいからすっ飛ばせ。リニアの如くすっ飛ばせ。言うぞ。言う。言うって決めた！俺のタイプは優しき人です。髪は肩くらいまでの黒い人が好みです。化粧も薄い方がよくて、ミニスカートなんかはどこを見ればいいか分からないので、あんましはかない人が好感です。でもスカートははいてほしい。肌は白くなくても構いません。健康的な人が良いのです。親から授かった身体を大切に人がタイプなので、ピアスなんかはあけてほしくありません。でもネックレスは気にしません。指輪なんかも、いつかおそろいのをしてみたいと思っとるくらいです。コンタクトは、あんなもん直接目に入れるのは危なそうだから、そんな危ない人よりメガネしてる人の方がタイプです。もちろん視力がいい人は言うに及びません。繰り返すようですが、健康体が一番一番。爪はほどほどで、できれば深爪くらいがタイプです。お米を研ぐことなんかを考えると、お化けのように爪長き人や、けばけばしき色つやしとる指先さんも、エヌジーです。目なんかは大きければ大きいほどいいです。視界が広い分、世間も広そうだ。二重か一重かはどっちでもいいです。間を取って奥二重がタイプということにしときましょう。困った時は真ん中です。声は高い方がいいです。その方が女性らしいし、聞いていて癒されます。毎日会話するのだから、声というのは非常に大切。手は小さめの方がタイプです。手をつないだ時に包みこめてしまうくらいなら言うことありません。守ってあげたいと自然に思わせることは大事です。平手を食らうときも面積少なくて済みますし、一石二鳥。足のサイズは気にしません。ただ、小さすぎていつもふらついているような人はちょっと困ります。でも、肩貸してあげられるから、そこまで嫌でもありません。背は気にしませんが、俺より高いと俺の方が気にします。だから、俺より低い方がいいのでしょう。できれば同じくらいが

最高です。常に同じ目線にいることは大切だと思うからです。隣を見た時に目線が合うのは素敵です。俺はそんなデートを夢見てます。俺の夢の中ではいつも隣で歩く人は決まっています。その人はひどく頑張り屋さんで、イノシシみたいに猪突猛進。危なっかしいけど、いつまでも見とりたい感じのホワホワした人です。俺は先月、その人にチョコをプレゼントしました。後日、おいしかったよ、と言ってもらうこともできました。ひどく幸せでした。俺は今まで異性を好きになったことがありません。これはやや大げさな言い方ですが、大枠は間違っておりません。なにせ、俺は、異性に相手にされることがなかったからです。学校で席隣になっても空気のように扱われるし、話しぶり雰囲気らしく、まれに交わされる会話もあまり長くは続きません。だから異性とは映像のようであったし、学校とは硝子ケースのようなものだと思っていました。全部が鑑賞で感傷なのです。だから恋愛なんぞは妄言で、人類の造語であると思っておりました。空は青いし、青色は青色です。然れども、俺にとって、恋愛は、レンアイで、単なる文字列。俺の中で生まれるはずなき言葉と思っておったのです。そんな俺は、大学三年の春、とあるゼミに入りました。金ゼミです。このゼミはとにかくやかましい輩が多く、俺は入るべきゼミを間違えたと思い、やめるべきかと悩んでおりました。かくたる理由で閉口しておる俺に向かって、野蛮人代表テコンドー馬鹿が、「何かしゃべれよそこのお前」なんぞと馬鹿でかい声まき散らしながら指さすので、こんにちは、と挨拶してみたものの、「何しゃべっとるか聞こえんわウジウジ！」などという罵声が返ってくるばかり。あの頃を思えばよく今まであやつとの関係が続いておるもんだと感心してしまいます。そう。三木森との共存の道しるべを与えてくれたのは、あなたでしたね。あなただったのです。あなたはあの時、俺に何て言ってくれたか覚えておられますか？「勝手に自分のペースに巻き込んじゃダメだよ。三木森君は三木森君、二条院君は二条院君のペースがあるんだから、お互いのペースを大事にしようよ」という言葉。今でも忘れておりません。一生忘れんことでしょう。されども俺は今までずっとその言葉に甘えておったような気がします。俺は強くない。本質的たるところで強くなかったのです。己のペースという、優しくて、心地よき言葉に、甘えておったのです。だからこれほど時間かかってしまいましたし、このようなタイミングになってしまいました。誠に申し訳ございません。それでもやっぱり俺は変わりたい。今の俺なら変われる気がする。だから言います。最後に言います。 あさみさん、好きです。出会ったその日から好きでした。ずっと好きでしたし、ずっと好きです。貴女がよろしければ、付き合ってください。よろしく願いいたします。 以上です。 四月六日 田中麻美 こんばんは、二条院君。内定もらえたんだね。おめでとう。中林君、里央、二条院君に続けるように私も頑張ります。うん、そうだね。ちゃんとこたえるよ。二条院君の気持ちに対して、逃げたりしません。私も変わらなくちゃいけないから。今までの自分じゃダメだから。だから、ちゃんとこたえます。聞いてください。正直な私を、聞いてください。私ね、知ってたの。二条院君が私に好意をもってくれていること、知ってたの。それなのに私、知らないふりをしていました。気付かないふりをしていました。最低だよ。最低です。クリスマス前の寒い冬の日。私の学生証を取り戻そうと、バイト先の人の家にお邪魔させてもらった日。私と二条院君は、長い時間二人だけで待ちぼうけしたよね。あの時のこと、覚えてるかな？ 私、よくしゃべっていたよね。いつも以上におしゃべりだったよね。冬のイルミネーションが綺麗だねって、二人して街ばかり見ていたよね。いつも以上に笑っていたよね、私。三月の風が強い日。二条院君がホワイトデーにチ

ョコレートをプレゼントしてくれた日。震えてる二条院君を見て、私は、寒いのか？ って聞いたよね。顔が赤くなっている二条院君に向かって、ほっこりだね、って言ったよね。ホッカイロを握りしめる二条院君に向かって、風邪ひくといけないから図書館入ろうよ、って腕を引っ張ったよね。本当に、私、よくしゃべっていたよね。一人でペラペラと。この時の、その時の、あの時の私は、うまく笑えていたのかな？ 自信ないよ。私ね、怖かったの。二条院君の勇気を前にしたら、私、急に怖くなっちゃったの。だって、二条院君、今にも私に告白しようとしてたから。私が何回違う話にもっていかうとしても、二条院君の気持ちは全然揺らがなかったから。決心している男の人の顔だったから。告白されることが怖かったわけじゃないの。二条院君のことが嫌だったわけじゃないの。私の中の金ゼミが終わっちゃう気がして怖かったの。二条院君の事を信じられない私自身が嫌だったの。弱いのは私だよ。二条院君は強いよ。すごく強いよ。私が何度、二条院君の一言を遮っても、二条院君は告白しようとしてくれた。それでも最後までそれを言わせなかった私は、本当に、ただの弱虫です。この日記を通してしか告白できない状況を作った私は最低です。本当に私は私が大嫌い。だから、私も変わらなくちゃいけないの。ううん。私が変わらなくちゃいけないの。私は金ゼミが大好きです。だから、金ゼミの全部をなにも変えたくなかったの。告白されることで、何かが変わっちゃうんじゃないかって思っていたの。変わることが怖かったの。それってつまり、私は私しか見てなかったってことだよ。だって、変わらない毎日なんてないんだもの。変わらない金ゼミなんてないんだもの。みんな誰だってちよとずつ、毎日変わってるんだもの。それが金ゼミだよ。変わり合いながら関わり合うのが金ゼミだよ。だから思うの。私たちはずっと金ゼミだし、何があっても金ゼミでい続けることができるはず。二条院君の思いに、私の思いでこたえます。私、二条院君とは付き合えません。ごめんなさい。私には好きな人がいます。その人は、めちゃくちゃで、大雑把で、声が大きくて、パンチが強い。あんまいいところが浮かなくてないけれど、それでも私はその人に惹かれています。たぶんね、その人の世界に、私なんて映っていないの。でも、それでも、私は少しずつその人に近付きたいです。私を見てもらえるようになりたいです。あっ。こんな返事でごめんなさい。すごく失礼な返事だと思います。でも、やっとなです。やっとな私も二条院君の勇気に正面から向き合うことができました。そして、私なりの勇気を持つことができました。こんなことを言っているのか分かりません。分かりませんが、どうしても言いたいです。だから、言わせて下さい。ありがとうございます、二条院君。（追加） 二条院 あさみさん。こちらこそありがとうございます。そして、このような時期に申し訳ありませんでした。俺は超絶打たれ強い男ですから大丈夫。むしろ気分が晴れやか快晴。きっかりスッキリ致しましたぞ。重ね重ね。本当にありがとうございました。俺の人生、一片の悔いなし！ 以上。 四月七日 谷本直毅 昨日はタイミング的にあれだったので書かんかった。まあ、佐藤忠の一次だけだったから特筆すべきこともないけど。ちなみに大きな声でハキハキ臨んだら面接官に爆笑されて即通過の雰囲気。開始十秒でこりゃいけたと思ったさ。案の定いけました。そして今日は二井物産と佐藤忠の二次面接。二井物産は一対一でいつも通りの感じだった。ここでも声でかいことを褒められた。ハキハキしてるから気持ちいいんだと。そんな感じで手応えあり。一方佐藤忠は撃沈ムード。二対二の集団面接だったのだが、バイトの話で売り上げ目標達成率とか前月比とか細かい数字を求められて、「

わかりません」と答えたら、「数時も把握してないくせによくやりがい感じられるね」と言われて挙句の果てに、「そんな人とは一緒に働きたくないなあ」なんぞと言われる始末。腹たったから面接の残り時間中ずっとその人の目見てたけど、「ん？」みたいな感じで愛想笑いかまされタイムアップでノックアウト。一発逆転あったらいいなあ。とまあこんな感じです。俺も早く内定欲しいです。明日は天通の結果発表日。頼むから電話よなってくれ。非通知でイタ電とかは無しの方向でよろしく。あと。二条院へ。今度一緒に飲みに行こうや。それじゃあ。バイチャ。（追加）

田中麻美 私は武畑薬品の最終面接に行ってきました。初めての最終面接です。それなのに全然緊張しませんでした。昨日のことがあったからかもしれません。もうずっと素のままの私でいようと思ったからかもしれません。そう思えたからかもしれません。面接では他社の選考のことも聞かれました。私は素直に現状を話して、できれば広告会社に行きたいという旨のお話もしました。就活では、「第一志望です」と言うのはある意味マナーだっていうのも知っています。知ってるんだけど、ありのままの自分を話しました。そうしたいって私が思ったから。だから、後悔はしてません。もしかしたら結果を聞いて後悔することがあるかもしれないけれど、でも、少なくとも今の私は全部話せてよかったって思っています。うん。また結果が出たら報告します。じゃあね。バイバイ。 四月九日 谷本直毅 物産の三次行ってきた。相変わらずの一对一面接に加えて、英語試験と小論文がありました。ここにきての英語はなかなかこたえた。もちろん精神的に。人事の偉い人は、「テストはオマケだよ」と言っておられたが、はたしてそれは真実か？ 考えたら考えただけ結果悪くなる気がしたから何も考えんと受験した。そしたら、「縁」という字と「緑」という字が頭の中でごっちゃごちゃ。くだらん次元で悩みまくったぞまったくもう。これで落ちたら泣くしかない。ところで。帰り際に学生と話してて知ったんだが、九紅はもう最終始まってんだな。俺、連絡貰ってない。つまり、落ちたってことか……。ヤヴァイ、マズイ、まずすぎる。冷静に考えれば考えるだけ冷静さをなくしてしまうという悪循環。ことによっては発狂するぞ。とりあえず中林の家行ってくる。酒飲むわ。強制的に体温上げるわ。んじゃ、そういうこって。（追加）

田中麻美 武畑薬品から結果がきました。携帯電話を持つ手が震えてしまいました。今こうして日記を書いている手も震えています。合格しました。素直にうれしいです。最終では広告に行きたいっていう話もしました。それでも私を合格にしてくださる武畑薬品の方々にはどうやって感謝すればいいのか分からないくらいです。本当にうれしいです。内定を受けるかどうかの返事も、もう少し延ばして下さるそうです。私のわがまを聞いて下さり、本当にありがとうございます。もう、誰に向けて書いているのか分からなくなってきちゃった。でも、それくらい感謝しています。ありがとうございました。今週末は東京で天通の面接です。今の私は気持ちの面でも結果の面でも充実しています。なんだかうまくいくイメージしかできません。とにかく頑張ります。谷本君も里央も三木森君も頑張ってください。じゃあね。ばいばい。（追加）

二条院 あさみさん。おめでとうございます。この調子で天通も行けるはず。大切なのは平常心。 以上。 四月一〇日 田中麻美 二条院君。ありがとうございます。今日は、太広ってという広告会社の面接行ってきました。やっぱり私の第一志望は広告会社だから。合格をもらっても、そこがぶれることはないみたい。面接は学生四対面接官三人の集団面接でした。自己PRと志望動機をセットで話した以外は、一つの質問しかされませんでした。「あなたは友人からどんな人だと言われますか？」っていう質問です。これだけで面接

終わっちゃいました。人数の加減もあると思うけど、今までで一番短い面接でした。あれで私の何を見てくれたのかは疑問だけど、とりあえず、ベストは尽くしたよ。明後日は天通です。気を引き締めていきたいと思います。でわでわ。バイバイ。（追加） 谷本直毅 あさみん。おめでとう。あさみんの誠実な性格が評価されたんだと思うよ。だから、この調子で天通もがんばろう。はてさて。ということは。ついに俺だけ残ってしまった。三木森はどうなんだろう。あいつも内定もらってたらちょっとショック。正直、喜べん。でも、だが、しかし。俺もとうとうラストステージまでやってきた。明日、二井物産の最終だ。翌日の天通もあるから東京泊まります。時間空くから観光でもするつもり。おまけに新幹線は二井物産から回数券もらったからタダときた。マジこれ最高。帰りの新幹線までに内定出てたならエクセレント。気持ちばかりが高鳴ります。佐藤忠の悪夢は無理やり忘れるに限る。この際全部プラス思考でフラフープ。待ってる東京！ 待ってる物産！ もってけ地図を！ 追ってけタクシー！ 道に迷わんよう気をつけよ。んじゃ、バイバイチャ！ 四月一日 中林洋平 谷本。帰ってきたら俺の家において。三木森が大変なことになってる。んじゃ、待ってるよ。 四月二日 山井里央 資生紡のグループワーク&個人面接を受けてきたよ。相変わらずここはいい雰囲気だし、受けてる学生もいい人ばっかだよ。やっぱし出会って大事だよ。うちにしてみたら、出会った人によってその会社のイメージ決まっちゃうもんね。そういうのも含めて縁なのかな。最近そう思うよになってきたの。内定もらって余裕が出てきたのかもです。そうそう。あさみも今晚よ一へいの家来なよ。三木森君が、三木森君が一、って感じなの。なんだかある意味悩ましいよ。そんなこんなで、待ってるからね。（追加） 田中麻美 天通行ってきました。三対一の個人面接。内容は自己紹介シートそのまま、面接官が気になったところを深く掘り下げるっていう感じでした。面接官が明るい人だったので、楽しみながら終えることができました。絶対受かってほしい！ 谷本君にバトンタッチ。（追加） 谷本直毅 俺からは二井物産について。役員面接は雰囲気がすごかった。だいたいフロアが全部じゅうたんってどうよ？ 明かりもランプオンリーってどうよ？ 歩くたんび気持ちがふわふわして仕方なかった。待ち合い室は社員さんもいてさながらOB訪問という感じで雰囲気をほぐしてくれた。学生もそんなにピリピリしてなくて救われた。肝心の面接だが、部屋が二つあって、俺たち受験生の間じゃ、天国の部屋、地獄の部屋、って呼んでいた。俺が呼ばれたのは天国の部屋。マジでホントに助かった。めっちゃダンディーボイスな役員二人に、「東京と大阪の違いってなに？」みたいなよう分からん質問しかされなかった。しかし、「もっとコアな回答を」とか、「君のコアをみたいんだ」と言われた時には正直困った。こういうやりとりを四回くらい繰り返したから、俺の回答はかなり主観的。まあ、全体的な雰囲気はかなりよかったから、俺の中では相当いい感触。結果は少し時間がかかるかもとか言ってたから、まだ大丈夫だろう。とにかく俺の中では一区切りついた感じ。勝手に落ち着いてんじゃねえよって思った？ まあ、確かにそうだけど、至少くらは落ち着かせてくれお前たち。実は俺も一〇日の夜内定もらったのだよ。デルタっていう小さな会社。誰も受けないし興味ないだろうから書いてなかった。すまんすまん。俺としては滑り止めのつもりで受けたんだけど、面接で変わった質問とかされて案外難しかった。フェルミ推定みたいなやつ。まあ、何事も対策しといて損はないってことだ。そんなことより俺は二井物産行きてえよ！ 商社で働

きたいんだよ！ 早く電話が鳴って欲しい。んじゃ。今からあさみんと中林の家に突入だ。どうせ三木森のことだから全滅して洋平に泣きついとるんだろう。ほいじゃ、ばい！ 四月一八日

田中麻美 天通に行ってきました。緊張というよりも、むしろ、やっとここまで来たんだってという感動の方が大きかったです。とは言ってもまだ最終じゃないんだけどね。(笑) でも、限りなく最終に近い選考なの。だから、前日に堀先輩に電話しました。その時もらったアドバイス通り、グループの中でも、そうじゃない時も、とにかく自分らしくい続けることだけを心がけました。無理に何か話そうとしなかったし、自分を繕おうとも思いませんでした。私が見せたありのままの自分。天通に通じるかどうかは分からないけれど、通じてほしいという思いだけは誰にも負けないつもりです。武畑薬品にはもう少しだけ返事を待ってもらえるようお願いしました。いろいろな人に迷惑をかけながら私は私の進路を掴もうとしています。あともう少し。あともう少しだけ頑張りたいと思います。谷本君の分も、絶対に内定ゲットしてみせます。お願いだから、電話が鳴ってくれますように。お願いします。(追加) 谷本直毅 電話が鳴らない。携帯壊れてんのかな？ ちょっとお店に行って修理してもらってくる。 四月二二日 山井里央 資生紡の最終受けてきたよ～。おまけによ一へいと二人で東京観光してきたよ～。聞かれたことは相変わらず学生時代の事ばかり。あと、「本当に英語は問題ないの？」って聞かれたから、少しだけ英会話もしたのお。最終なのに雰囲気も良くて、心の底から資生紡で働きたいと思いましたあ。結果が待ち遠しいよお～。あと、谷本君。よ一へいからの伝言です。大企業だけが会社じゃないよ、だって。歯車の一部になるより、会社から必要とされる方が価値があると思うよ、とも言ってました。うちは、後悔しないように決断してね、としか言えません。苦しいのも決断するのも谷本君だから、とにかく納得するまで悩んでください。でわ。またね。 四月二三日

田中麻美 電話きました！ 天通から電話きました！ 五月一日に最終です！ がんばります！(追加) 山井里央 麻美～。うちも電話きたあ～。資生紡合格したあ～！ もう、嬉しすぎて、速攻で、「よろしくお願いします！」って言っちゃった。(笑) やったよお一。でも青色銀行に断りの電話入れなきゃだよ一。気不味いよ一。でも、もう、何か、いろいろ、どうでもいいよお一。怒られても悪い気しないよお～。それくらい嬉しいよお～。そして私、お疲れさまだよお～。(追加) 谷本直毅 山井さんおめでとう。あさみんも、ほとんど内定もらったようなもんだね。あともうひと踏ん張り。頑張っ。俺はと言うと、諦めきれんよ。まだ納得できとらん。ベンチャーで働かないかんという状況は正直想定外。ここにきてようやく俺は、働くことって何だろうって考えるようになりました。これはなかなか難しい。俺はずっと商社で働きたいと思って就活してきた。しかしどうやらこの願い叶わぬらしい。もう一年就活すればなんとかなるもんだとも思えんし。「お前は商社に向いてないってことだよ」という中林の意見も確かにその通り。六社受けて全部断られたんだから、俺にその適性がないと考えるのは妥当だ妥当。俺にとっては商社と広告、それ以外、って括りだから、腹を決めやすいといえれば決めやすい。そもそも内定一個しかもらっとらんのだから話は早い。しかしよりによってベンチャーって。どうせならもっとでかいところがよかったぞ。なんでだろ？ 安定してるから？ 給料がいいから？ 親が喜ぶから？ お前らに自慢できるから？ 今こうやって自分自身を説得してる段階になって思うのは、俺が商社を目指してた理由ってのは、結局のところ、後半二つの理由が重きを占めてたんだってこと。ようは、商社に入ることがかっこいいと思ってたし、俺自身のステータスに

なると思っていた。でも、よく考えろ。ステータスって何なのだ。会社の名前、すなわち名刺か？

はたまた谷本直毅個人の存在か？ おそらく答えは前者だろう。大企業の社員と聞けば、無条件でスゲーと思っちゃうのは世間の反射。世間の一部たる俺もその反射反応を違和感なく受け入れられちゃうから困ったさん。まったく俺は、誰のために就活やってきたんだろう。就活すればするほど世間の一部、社会の一部に埋まっていったのではなかろうか。社会に飛び出て、きらめく個性を発揮してやろうと思っと思ったのに。こうやって無垢な少年少女は企業社会に飲み込まれ、社会の溜め池で泳ぐことになるのだから。人口過密で大半が沈んでいく。指先だけでも出てりゃまだましな方。うまい立ち泳ぎを教えてくれた企業文化が生き残りつつも、最後まで浮いていられるのは誰なのか。そりゃもう答えは簡単で、体力ある奴に決まってる。体力ある奴が強いのはなぜなのか。これももう答えは簡単で、最後まで足動かせるからに決まってる。あらためて問おう。ステータスって何なのだ。エスカレーター、はたまた階段。これはちょっと難しい。学生の俺にはわかりやせん。わかりやせんけど、一つだけわかることもある。それは簡単。両者とも足を動かした方が早く上がれるということ。最後に勝つのは体力ある奴。つまりは自力。そうなのだ。まあ、俺だってここまではわかってる。ここまでは。でも、ここまでわかっていながらなお、ベンチャーがためられるのはなにゆえか。やっぱり、名前知られとらんのが怖いのだ。世の中に認知されとらんのが怖いのだ。承認されんのが怖いのだ。たぶん、俺の中では、企業＝自分、になっとる。だから認知されとらんのが怖いのだ。自分が認められとらん気がして怖いのだ。つまるところ、自信ないのだ己自身に。企業に守ってもらわな生きてく自身がないんだきつと。これはちょっと決定的。何が決定的かという、こんなんじゃどっこも受かるはずないってことが決定的。もう一年就活したところでダメだと思ふのもここに起因してるみたい。駄目だなこいつ。デルタが内定出してくれたのだから、たぶん学歴がものを言っている。気付いちまったよ。俺と三木森の大きな違い。三木森にあって俺にないもの。それはきっと揺るぎなき自信。三木森は、三木森であって、三木森以外の何物でもないんだきつと。それは正直、傍目から見ていてもわかるくらいだ。ほんと三木森は三木森なんだよ。それに比べて俺の半分は大学の名前でできている。なにせ俺にはないからな。自分自身を埋め尽くすほどの経験と実績が。根拠のない自信だけならあるが、それが俺自身の全部を埋め尽くすことは出来んのだ。だから俺は怖くなる。俺は谷本直毅百パーセントじゃないんだから。それ相応の何かに埋めてもらわなきゃ立ってられんのだから。ああ、俺も百パーセントジュースになりてえよ。まざりっけなしで勝負してみてえよ。俺だけの力でどこまでいけるのか試してみてえよ。ここまで書いてきてふと思うことは、俺の中では、最初から結論出たのかもしれないってこと。ただ、なんだか言い訳してみたかっただけな気がする。素直にベンチャーいくのが悔しかっただけのような気がする。だって俺は俺なりに就活頑張ってきたから。それなりに努力してきたつもりだから。だから、言い訳したかっただ。前向きな言い訳を。働くことって何だろうという疑問は、解決してないし、今のところ解決しそうにない。でも、何のために働くかってのは見えてきたような気がする。俺は、俺のために働くんだきつと。企業のためじゃなく、百パーセントジュースになるために働くんだきつと。そう思う。いや、そう思えるようになってきた。金ゼミ新入生諸君も、来るべき時にはそれなりの自己弁明を用意することをお勧めする。なにせ時間は止まってくれない。人事の人も待つて

はくれない。俺が言えることはただ一つ。人生まだまだ入り口だ。数年後には転職してるかもしれんし、留学してるかもしれんし、資格取って独立してるかもしれん。何が起こるか分かりはせんせん。一步ずつ足出しながら、その瞬間、瞬間、を納得してればそれもまた正解なはず。大切なのは、そう思えることと、そう思わせてくれる仲間がいること。ありがとう。相談に乗ってくれたみんな。ありがとう。金ゼミに入ったあの日の俺。そして、ありがとう。金ゼミ就活体験記。そうだ。三木森。お前もそろそろ何か書け！ んじゃ。バイチャ！ 体験談 三木森 傷心 幹事さんが書け書けうるさいから書いてやる。面倒臭い就活終わって洋平亭に入り浸ってるミッキーだよ〜。里央が最近プンプン怒ってるよー。お前らさっさと結婚しろ。さてさて。京天堂落ちました。あ〜あ。イケると思ったのになあ。ちょっと調子乗りすぎたかなあ。俺の中では一番興味ある会社ただだけに残念。でもまあいいや。俺も就活終わりです。内定もらったのは、二井積友銀行、二菱銀行、朝日硝子、ピーソニック、二菱商事、積友商事、です。まあまあもらえた。寝坊しなけりゃもうちょいもらえてたかも。洋平と相談した結果、俺は二菱商事に決めました。年収がいいし、ブランド力もあるらしい。二菱商事なんてブランド見たことないけど、まあ、洋平が言うんだから間違いはない。なんかみんなして、なんでそんなに内定もらえたんだ、と激しく聞かれるんだが、そんなこと俺に聞かれたってわからんよ。人事の人に言われたのは、声がでかくてハキハキしてるね、くらいなもんだ。英語もさっぱりだし、単位もまだまだ全然揃ってない。それでも内定もらえたんだから仕方ないだろ。俺が面接で話してたのは、もっぱら部活の事ばかり。勉強の話振られた時は、正直に、よくわかりません、と言いました。この潔さが逆によかったのかもね。人生裏の裏に行くのがいいのかも。まあ、大体そんなところかな。谷本が書いてることはあんまし意味が分かんないけど、俺が、性格上、他人をあんま気にしないってのは確かにその通りだと思う。だってそんなの当たり前じゃん。俺は俺だもん。理屈っぽいことは書けないから書く気ないけど、俺が常に自信満々なのは、まあ、正確に言うと、そう見えるのは、やっぱりテコンドーのおかげだと思う。何せ中学時代から今まで九年間もやってきたからさ。自信にならないわけがない。というか、俺にはそれしかない。まあ、それなりに優勝してるし、強化指定選手にも選ばれたし。テコンドーだったら誰にも負けない自信がある。これだけは胸張って言えるね。努力と、結果、両面からさ。俺なりに就活の印象を言うと、ようは学生時代どれくらい何かに打ち込めたかどうかってことだと思う。どんだけ必死になって物事に取り組めたかを見られてたんだ。ホントそれだけ。実に単純。社会人は、学生が勉強できるだなんて思っていないから。遊んでるに決まってるって思ってるはずだから。だから、頭じゃないんだよきっと。ハートでもない。その人から溢れ出る自信なんだよ結局のところ。なんか後輩に役立つこと書けて言われたけど、大したことしてないからこれ以上書くことがない。あえて書くなら、漢字間違えないように気をつけようねってことかな。あと、本番で会社名間違えないように気をつけようね。本気で怒られたから。おそらくそれが原因で落とされたところもあるくらい。ホント、普段から漢字使った方がいいよ。あと、面接では「御社」ね。これだと間違えようがない。激しくお勧めする。最後に俺が言いたいことは、ただ一つ。就活のテクニックだとか、面接のマナーだとか、そんなのいちいち気にしてる暇があったら自分を磨け。とりあえず国体かなんかで優勝するとか、オリンピック強化指定選手になるとか、そういう努力をすればいい。俺はそうした。そうすりゃ馬鹿でも内定もらえる。そういうことだ。何だかんだで、就活ってのは実に単

純なんだよきっと。そんなもんだよ社会って。楽に考え、楽に生きよう！ そうすりゃ人生楽しいぞ！ 以上！ 報告文お終い！ 五月二日 谷本直毅 金ゼミ四年生へ。もうすぐこの大学ノートも終わりになる。金ゼミの家宝となるべく最後に一言ずつ刻んどけ野郎ども！ 目指すはレジェンド！ 頂を頂け！（追加） 田中麻美 昨日天通の最終で、昨日の内に内定もらいました。私、泣きました。まさか就活で泣くななんて思ってなかったよ。それくらい嬉しかったというよりは、それくらい苦労したんだと思います。今思えば短い数カ月だったけど、この数カ月には本当にたくさんの思いや経験が詰まっていると思います。こんなに自分自身について考えたのは初めてだったし、こんなに自分自身の将来について考えたのも初めてでした。それ以外にもいろいろな初めてを経験して、焦ったり悩んだりしたこともあったけど、それでも今まで真っ直ぐ歩いてこれたのは、金ゼミのみんなのおかげです。本当にありがとうございました。本当に、ありがとう。みんなと一緒にいられるのもあと一年かと思うと、また泣きそうになってしまいます。内定もらって安心したからなのかなあ。私、すごく寂しいです。すごく空虚な気持ちなの。みんなと一緒にずっといたいです。社会に出てからも、みんなが集まろうね。連絡取り合おうね。その時はキム先生も一緒です。みんなみんな一緒です。金ゼミみんな一緒なの。この日記を読んでくださっている皆さんも、私たちに負けなくらい大切な仲間を見つけてください。そうすればきっと、毎日が充実して、就活も充実するはずですよ。これが私の体験談。かけがえない大学生活の、就職活動っていう時期だけを切り取った、ほんの少しの体験談。それでは、最後に。 三木森君、今度一緒に映画を観ましょう。（追加） 二条院 麻美さん。内定おめでとうございます。昨日は、山井さんと、中林とともに、どんちゃん騒ぎをされたと聞きました。できれば俺も行きたかったというのが隠せぬ本音。麻美さんが心の底から喜んでおられる顔。三秒でいいから見てみたかった。俺はというと、相も変わらず我が教え子に付きっきり。年が明ければ受験という名の戦争が待ってるような。俺の手書きのテスト攻勢で何とか乗り切る所存です。当の本人はますます携帯電話と仲よしこよし。なぜだか俺が孤軍奮闘意気消沈。俺は去年と変わらぬ超絶多忙な日々を送っております。麻美さんも来週くらいにはゼミに顔を出してくれたら嬉しきかな幸せ。俺は最近携帯電話を変えました。機種変更というらしい。されども俺はネバーギブアップ。車線変更すらしません。諦めわるし、は褒め言葉。秋降るもみじはそれ葉っぱ。夢見るわらしはワラジ履き。馬乗る弓矢は的を射る。弾ける笑いが野にあれば。始まるでしょうな我らが宴。これだけは言わして下さい。麻美さん。交換しましょう、アドレスを。アドレス万歳！ せっかくなので、いつぞやの写真群を後ろの方に張っときます。金ゼミに幸あれ。 以上！（追加） 中林洋平 まとめの感想ね〜。俺は結構早い時期に内定もらって、それで就活やめちゃったから、持ち駒なくなって焦る気持ちとか、この面接は絶対に落ちられないとか、そういう追い込まれた状況を経験してないんだよね。うん。だから、俺から言えるアドバイスは、早い時期からいろんな業界受けてみなよってということかな。所詮俺たちは、大学キャンパスの中で生きてる単なる学生で、どんなに頑張っても自分に一番合ってる業界なんて見つけることは出来ないんだよ。きっとね。だから、食わず嫌いせずに、いろんな業界に手を出すことをお勧めします。そうすることが、自分の可能性を広げることにもなると思うんだ。一社しか受けてない俺が言うのもなんだけど。（笑）後輩に向けてのメッセージはこれくらいで許して

頂戴。さてさて。あさみん。昨日は珍しく、結構飲んでたね。(笑) よっぽど嬉しいんだらうなって思いながら見てたよ。でも、そのまま俺の家で寝ちゃうのはどうだろう。里央と二人して俺の寝る場所占領してるんだもん。なんだかいろんな意味で悲しくなりました。(笑) 寝顔の写メ取っておけばよかったな～。ちょっと後悔。でも、そんなあさみんの寝顔見てたら、俺たちの関係はずっとこのまま変わらないんだらうなって思ったよ。きっと、ずっと金ゼミです。変わることが大切、なんていう日記をちらほら見たような気がするけど、俺は、変わらないことの方が大切だと思う。だって、変わらないことって、案外難しいじゃん。いろんなものが変わっていく世界の中で、変わらないっていうのは簡単なことじゃないはずだよ。俺たちってまだまだ周りに流されやすいから。何がいいことで何が悪いことなのかもまだ分かってないだろうから。だから、変わらないことって大切なんだよ。少なくとも、俺にとってはね。就活終わって、あと一年で大学卒業して、みんなばらばらの企業に就職して。やっぱり変わりたくないよ。色々なものが変わって欲しくない。だから、俺、思うんだ。変わらないように、刻んでみるのもありかもしれないなって。里央、結婚しよう。(追加) 山井里央 里央だよ～。うちなりに就活を振り返ってみて思うのは、やっぱり就活は楽しんだもの勝ちってことです。最初の内定もらうまでは、なんか、就活全体の流れに乗っていただけのように思うんだけど、一個内定もらえると、今度は落ち着いて自分のペースで就活や進路のことを考えられるようになるの。だから、誰かさんが言うように、いろんな企業を受けて見て、まず一個内定もらうことが、結構大切なことだと思います。やっぱり面接とかで大事なものは自信だと思うのお。資生紡を受けた時にそう思いました。あと、冷静に振り返ると、やっぱり英語ができるのは有利だったかなあって思います。有利っていうか、選択肢が広がるの。そういう意味で、英語ができるにこしたことはないと思います。繰り返しになる